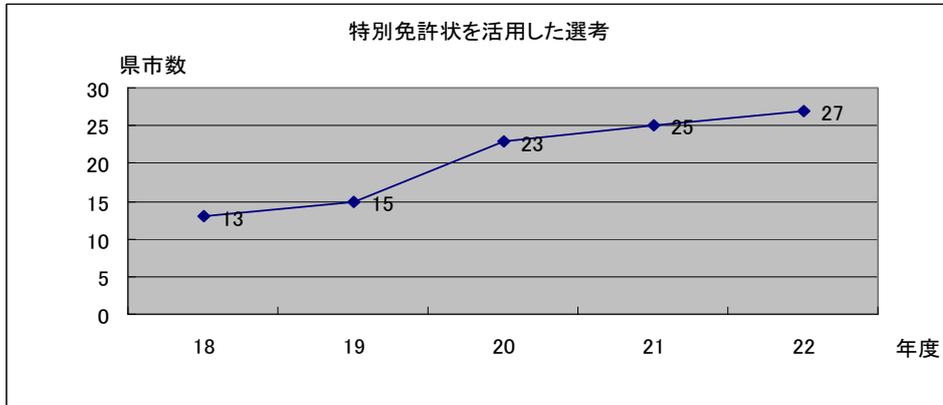


Ⅲ. 試験免除・特別選考等

試験免除及び特別選考の実施概要

平成22年度選考試験において、特定の資格や経歴等を持つことによる一般選考における試験免除や特別選考をしたのは64県市であり、うち試験免除は46県市(前年度50県市)、特別選考は57県市(前年度50県市)で実施した。また、特別免許状を活用した選考は、27県市(前年度25県市)で実施した。



1 特定の資格や経歴を持つことによる試験免除

特定の資格や経歴を持つことによる試験免除のうち、

- 英語の資格によるもの……………24県市(前年度27県市)
- 教職経験によるもの……………31県市(前年度35県市)
- 前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによるもの
……………17県市(前年度15県市)

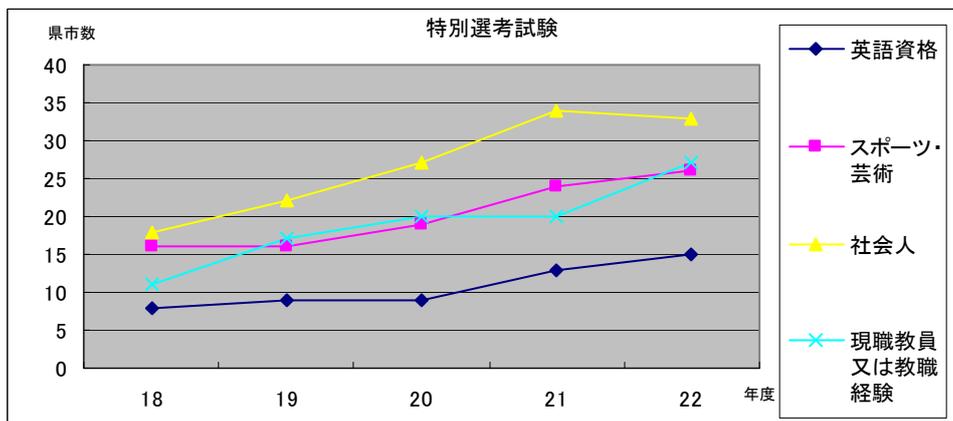
など、その他特定資格を有する者について免除を実施する県市があった。

2 特別選考

特別選考のうち、

- 英語の資格によるもの……………15県市(前年度13県市)
- スポーツ・芸術での技能や実績によるもの……26県市(前年度24県市)
- 社会人特別選考によるもの……………33県市(前年度34県市)
- 教職経験によるもの……………27県市(前年度20県市)

など、その他特定資格を有する者について特別選考を実施する県市があった。



資格や経歴等の例	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除・特別選考																特別免許状を活用
	選考方法	一部試験免除・特別選考	何れかの一部試験免除		何れかの特別選考		英語の資格		スポーツ・芸術での技能や実績		国際貢献活動経験		社会人経験		教職経験		
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			参照ページ	参照ページ	82ページ参照	134ページ参照	93ページ参照	140ページ参照	96ページ参照	180ページ参照	124ページ参照	151ページ参照	98ページ参照	167ページ参照	200ページ参照		
1 北海道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 青森県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 岩手県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 宮城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 秋田県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6 山形県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7 福島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9 栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10 群馬県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11 埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12 千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14 神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15 新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16 富山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17 石川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18 福井県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19 山梨県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20 長野県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21 岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22 静岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23 愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24 三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25 滋賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26 京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27 大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28 兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29 奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30 和歌山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31 鳥取県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32 島根県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33 岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34 広島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35 山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36 徳島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37 香川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38 愛媛県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39 高知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40 福岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41 佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42 長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43 熊本県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44 大分県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45 宮崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46 鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47 沖縄県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

資格や経歴等の例	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除・特別選考																特別免許状を活用		
	選考方法	一部試験免除・特別選考	何れかの一部試験免除 ※	何れかの特別選考 ※	英語の資格		スポーツ・芸術での技能や実績		国際貢献活動経験		社会人経験		教職経験		200 ページ 参照				
					一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考	一部試験免除	特別選考					
					82 ページ 参照	134 ページ 参照	93 ページ 参照	140 ページ 参照	96 ページ 参照	180 ページ 参照	124 ページ 参照	151 ページ 参照	98 ページ 参照	167 ページ 参照					
48 札幌市	○	○	○	○	○		○				○	○	○	○		○			
49 仙台市	○	○		○	○				○	○		○	○	○	○				
50 さいたま市	○	○	○						○		○			○		○			
51 千葉市	○	○	○	○	○									○	○				
52 川崎市	○		○						○		○	○		○		○			
53 横浜市	○		○	○		○		○	○		○	○	○	○		○			
54 新潟市	○		○			○		○			○		○	○		○			
55 静岡市	○		○											○		○			
56 浜松市	○	○	○											○	○				
57 名古屋市	○	○	○	○	○		○	○						○	○				
58 京都市	○	○	○	○	○				○		○	○	○	○	○	○			
59 大阪市	○	○	○						○		○	○		○	○				
60 堺市	○	○	○						○		○	○		○		○			
61 神戸市	○	○							○	○		○	○	○	○				
62 岡山市	○		○	○		○		○						○		○			
63 広島市	○	○	○											○		○			
64 北九州市	○		○											○		○			
65 福岡市	○	○	○	○	○		○		○		○	○		○	○	○			
	64 (62)	46 (50)	57 (50)	39 (40)	24 (27)	15 (13)	31 (28)	6 (6)	26 (24)	18 (16)	5 (4)	13 (13)	39 (39)	7 (6)	33 (34)	56 (51)	31 (35)	27 (20)	27 (25)

(注) 1 下線は前年度から変更のあった県市を表す。

2 ()は前年度の数値である。

※ 「何れかの試験免除」「何れかの特別選考」は、上記「英語の資格」「スポーツ・芸術での技能や実績」等以外の資格や経歴等による試験免除、特別選考を実施しているものも含む。

1 特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除

	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除									特定の資格や経歴等を持つことによる加点制度	
	試験免除のための資格や経歴等 参照ページ	一部試験免除	英語の資格	情報処理に係る資格	スポーツ・芸術での技能や実績	国際貢献活動経験	教職経験	前年度の採用候補者名簿登載者であること	前年度第1次試験(第2次試験)合格者であること		その他
			82ページ参照	91ページ参照	93ページ参照	96ページ参照	98ページ参照	115ページ参照	118ページ参照		124ページ参照
1 北海道	○	○	○				○		○	商業に係る資格	
2 青森県	○						○				
3 岩手県	○							○			
4 宮城県	○	○				○	○	○		社会人経験	
5 秋田県	○						○				
6 山形県											
7 福島県	○	○									
8 茨城県	○	○			○	○	○				
9 栃木県											
10 群馬県											
11 埼玉県											
12 千葉県	○	○					○				
13 東京都	○	○					○	○		社会人経験 前々年度名簿登載者	
14 神奈川県											
15 新潟県											
16 富山県	○							○			
17 石川県											
18 福井県	○	○			○	○	○			教職大学院在学者	
19 山梨県											
20 長野県	—										
21 岐阜県	○						○		—	教職大学院在学者	
22 静岡県	—										
23 愛知県	○							○			
24 三重県	○	○	○								○
25 滋賀県	○	○					○		○		
26 京都府	○	○					○		○		
27 大阪府	○						○		○	大学院進学者対象	
28 兵庫県	○						○		○	社会人経験	
29 奈良県	○								○		○
30 和歌山県	○	○					○		○		
31 鳥取県	○							○			
32 島根県	○						○				
33 岡山県											
34 広島県	○								○		
35 山口県	○	○					○		○		
36 徳島県	○	○						○			
37 香川県	○	○									
38 愛媛県											○
39 高知県	○	○									
40 福岡県	○	○	○				○		○		
41 佐賀県	○						○				○
42 長崎県	○	—		○			○				
43 熊本県	○						○				
44 大分県	—	—	—								
45 宮崎県	○	○					○				
46 鹿児島県	○	○		○							
47 沖縄県	○			○			○			社会人経験	

試験免除のための資格や経歴等	特定の資格や経歴等を持つことによる一部試験免除									特定の資格や経歴等を持つことによる加点制度
	一部試験免除	英語の資格	情報処理に係る資格	スポーツ・芸術での技能や実績	国際貢献活動経験	教職経験	前年度の採用候補者名簿登載者であること	前年度第1次試験(第2次試験)合格者であること	その他	
	参照ページ	82ページ参照	91ページ参照	93ページ参照	96ページ参照	98ページ参照	115ページ参照	118ページ参照	124ページ参照	
48 札幌市	○	○	○			○		○	商業に係る資格	
49 仙台市	○	○			○	○	○		社会人経験	
50 さいたま市	○						○			
51 千葉市	○	○				○				
52 川崎市	—									
53 横浜市										
54 新潟市										
55 静岡市	—					—				
56 浜松市	○					○	○			
57 名古屋市	○	○		○		○			なごや教師養成塾卒塾見込の者	
58 京都市	○	○				○		○	社会人経験 博士号取得者	
59 大阪市	○					○		○		
60 堺市	○					—		○		
61 神戸市	○				○	○			社会人経験	
62 岡山市										
63 広島市	○							○		
64 北九州市	—	—				—				
65 福岡市	○	○	○			○		○		
	46 (50)	24 (27)	5 (4)	6 (6)	5 (4)	31 (35)	9 (7)	17 (15)	13 (12)	4 (4)

(注) 1 下線は前年度から変更のあった県市を表す。
2 ()は前年度の数値である。

1(1) 英語の資格による免除

北海道

対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校 中学部・高等部の英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	中:39歳 高:49歳	歳以下				
資格要件	①実用英語技能検定1級、準1級合格者 ②国連英検特A級、A級合格者 ③TOEFL PBT 550点(iBT 79点)以上取得者 ④TOEIC 730点以上取得者							
資格要件の確認方法	資格証明書(開封無効)による確認、又は出願時に資格を証明できる書類の写しを提出した場合に第一次検査時に持参した当該資料の原本を確認。							
免除される試験科目	第一次検査:英語専門検査(I) 第二次検査:英語実技検査							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		61	72	3			136
	平成20年度採用者数(名)		32	9	1			42
	平成21年度受験者数(名)		52	75	1			128
	平成21年度採用者数(名)		22	14				36
	平成22年度受験者数(名)		47	107	1			155

宮城県

対象となる校種・教科	中学校英語・高等学校英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	①英検1級 ②TOEIC 920点以上 ③TOEFL(-PBT) 615点以上 ④TOEFL(-CBT) 260点以上 ⑤TOEFL(-iBT) 105点以上 ※英検以外の資格については、平成19年5月8日以降に取得したものに限り。							
資格要件の確認方法	資格取得証明書(開封無効)または資格を証明できる書類の写しを提出させて確認。							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験2の専門教養を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)		4	9				13
	平成21年度採用者数(名)		0	2				2
	平成22年度受験者数(名)		3	7				10

福島県

対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校 中学部及び高等部の英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級、TOEFL590点(CBT243点)、TOEIC880点以上のいずれかの取得者							
資格要件の確認方法	証明書コピー							
免除される試験科目	教科試験							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		1	5				6
	平成20年度採用者数(名)		1	2				3
	平成21年度受験者数(名)		3	13				16
	平成21年度採用者数(名)		0	6				6
	平成22年度受験者数(名)		2	16				18

茨城県

対象となる校種・教科	中学校・高等学校の英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、次の①から③のいずれかの要件を満たす者 ① TOEFL 600点以上(コンピュータ形式250点以上、インターネット形式100点以上)取得者 ② TOEIC 900点以上取得者 ③ 実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者							
資格要件の確認方法	資格を証明する書類(写し)の提出							
免除される試験科目	第1次試験のうち、英語の専門教科試験及び口述試験(英会話)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		2	2				4
	平成20年度採用者数(名)		1	1				2
	平成21年度受験者数(名)		0	5				5
	平成21年度採用者数(名)		0	1				1
	平成22年度受験者数(名)		2	7				9

千葉県

対象となる校種・教科	中・高共通英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL590点(CBTの場合240点、iBTの場合95点、ITPテストは不可)以上取得者又はTOEIC860点以上取得者のうちいずれかに該当する者							
資格要件の確認方法	出願時に合格証書・公開テスト公式認定証の写し(コピー)を提出							
免除される試験科目	専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	小論文が1題多くなり、2題となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		24					24
	平成20年度採用者数(名)		3	3				6
	平成21年度受験者数(名)		28					28
	平成21年度採用者数(名)		3	5				8
	平成22年度受験者数(名)		34					34

※受験者数は中高共通の募集。

東京都

対象となる校種・教科	中高共通／英語、特別支援学校／中学部・高等部／英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級、TOEIC900点以上、TOEFL(PBT)600点以上、TOEFL(CBT)250点以上、TOEFL(iBT)100点以上のいずれかに該当するもの							
資格要件の確認方法	第一次選考時(第一次選考免除者は、別途郵送による)に証明書(合格証等)の写しを提出							
免除される試験科目	第二次選考・実技							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							37
	平成20年度採用者数(名)		4	11	2			17
	平成21年度受験者数(名)		41		2			43
	平成21年度採用者数(名)		7	11	1			19
	平成22年度受験者数(名)		49					49

福井県

対象となる校種・教科	第2次選考の専門教科試験を英語で受験する者	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす英語免許状の所有者で、平成19年4月1日以降に、実用英語技能検定1級、TOEFL600点以上、TOEIC900点以上のいずれかの実績を取得した者。							
資格要件の確認方法	実施団体発行の資格証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							20
	平成20年度採用者数(名)							6
	平成21年度受験者数(名)							11
	平成21年度採用者数(名)							3
	平成22年度受験者数(名)							14

三重県

対象となる校種・教科	中学校教諭「英語」、高等学校教諭「英語」	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会) 1級合格者 「TOEFL」(国際教育交換協議会) PBT600以上、iBT100以上の人 「TOEIC」(国際ビジネスコミュニケーション協会) 860以上の人							
資格要件の確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出し、1次選考試験当日に原本確認							
免除される試験科目	第1次選考試験の筆答試験(専門)							
免除された試験に代わり課される試験	該当なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		7	7				14
	平成20年度採用者数(名)		3	1				4
	平成21年度受験者数(名)		4	6				10
	平成21年度採用者数(名)		1	2				3
	平成22年度受験者数(名)		3	7				10

滋賀県

対象となる校種・教科	中学校・英語および高等学校・英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL79点(iBT)または550点(PBT)以上の取得者(平成19年7月以降の取得者に限る。)、TOEIC780点以上の取得者(平成19年7月以降の取得者に限る。)は希望により免除。							
資格要件の確認方法	志願書の「資格等」欄にその資格の内容を明記し、併せて実施団体の発行する資格証明書の写しを同封させ、第一次選考の筆記試験の日に資格証明書の原本を提示。							
免除される試験科目	専門教科の試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		12	13				25
	平成20年度採用者数(名)		3	3				6
	平成21年度受験者数(名)		13	10				23
	平成21年度採用者数(名)		6	4				10
	平成22年度受験者数(名)		10	18				28

京都府

対象となる校種・教科	中学校英語、高等学校英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	TOEFL580点(CBTの場合は、237点)以上取得者、TOEIC860点以上取得者又は実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会)1級合格者のいずれかに該当する方							
資格要件の確認方法	資格を証明できる書類を第1次試験(筆記試験)当日に持参させて確認している。							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		7	14				21
	平成20年度採用者数(名)		3	3				6
	平成21年度受験者数(名)		7	24				31
	平成21年度採用者数(名)		1	3				4
	平成22年度受験者数(名)		11	19				30

和歌山県

対象となる校種・教科	中学校(英語)・高校(英語)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	過去2年間に、実用英語検定1級、TOEIC800点以上、TOEFL570点(CBTの場合は220点)以上							
資格要件の確認方法	得点等を確認できる書類の写しの提出							
免除される試験科目	第一次検査の筆答検査(校種・教科専門)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		9	6				15
	平成20年度採用者数(名)		0	2				2
	平成21年度受験者数(名)		15					15
	平成21年度採用者数(名)		3					3
	平成22年度受験者数(名)		6	17				23

山口県

対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・外国語(英語)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	34	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL PBT590点以上(CBT243点以上、iBT97点以上)取得者、TOEIC860点以上取得者							
資格要件の確認方法	志願時に、証明書類の提出により確認。なお、写しの場合は、第一次試験当日に原本を持参させ確認する。							
免除される試験科目	英語における筆記試験のうち一部(教科指導法等に関する分野、リスニング及びスピーキングについては受験)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		2	10				12
	平成20年度採用者数(名)		1	4				5
	平成21年度受験者数(名)		2	10				12
	平成21年度採用者数(名)		2	3				5
	平成22年度受験者数(名)		3	6				9

徳島県

対象となる校種・教科	中・高 英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語能力検定1級合格者、TOEFL580点(CBT237点、iBT92点)以上取得者(ただしTPテストの結果を除く)、TOEIC816点以上取得者(ただし、IPテストの結果を除く)							
資格要件の確認方法	志願書に認定証の写しの提出(2次審査時に原本確認)							
免除される試験科目	英語実技審査免除							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		4	20				24
	平成20年度採用者数(名)		1	4				5
	平成21年度受験者数(名)		6	19				25
	平成21年度採用者数(名)		1	3				4
	平成22年度受験者数(名)		9	18				27

香川県

対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・英語、特別支援学校中 学部・英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級合格者 TOEFL580点(CBT237点、iBT92点)以上 TOEIC850点以上							
資格要件の確認方法	資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出させ、1次試験の際に原本を確認。							
免除される試験科目	英語専門教養試験							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		2	11	0			13
	平成20年度採用者数(名)		0	2	0			2
	平成21年度受験者数(名)		5	15	0			20
	平成21年度採用者数(名)		3	2	0			5
	平成22年度受験者数(名)		1	17	0			18

高知県

対象となる校種・教科	中学校・高等学校・特別支援学校中・高等部「英 語」	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級合格者 TOEFL PBT580点以上(CBT237点以上)取得者 TOEIC 800点以上取得者(ただしTOEFL・TOEICは平成19年7月以降に取得している人)							
資格要件の確認方法	出願時に合格書、証明書のコピーの提出、第1次審査当日原本の確認							
免除される試験科目	専門教養審査(英語:リスニングテスト含む)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		1	10	0			11
	平成20年度採用者数(名)		0	1	0			1
	平成21年度受験者数(名)		3	11	0			14
	平成21年度採用者数(名)		0	0	0			0
	平成22年度受験者数(名)		8	10	0			18

福岡県

対象となる校種・教科	中(英語)、高(英語)	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	35	歳以下				
資格要件	英検1級、TOEFL(PBT)600点以上、TOEFL(CBT)250点以上、TOEIC900点以上取得者、又はこれらと同等の資格を有する者							
資格要件の確認方法	出願時に資格証明書等を提出							
免除される試験科目	一次の専門教科(リスニングを除く)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		2	9				11
	平成20年度採用者数(名)		0	1				1
	平成21年度受験者数(名)		6	18				24
	平成21年度採用者数(名)		3	1				4
	平成22年度受験者数(名)		0	10				10

宮崎県

対象となる校種・教科	中学校・英語／高等学校・英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語検定試験1級合格者、TOFEL595点以上取得者、TOEIC(財団法人ビジネスコミュニケーション協会)860点以上取得者。							
資格要件の確認方法	合格証の写し又は認定証の写し等、その資格を証明するものを提出。							
免除される試験科目	教科専門、リスニング実技							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)		1	2				3
	平成21年度受験者数(名)		2	11				13
	平成21年度採用者数(名)		2	2				4
	平成22年度受験者数(名)		8	11				19

鹿児島県

対象となる校種・教科	中学校英語、高等学校英語	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語検定1級、準1級、TOEFL550(PBT)、213(CBT)、79(iBT)点以上取得者、TOEIC730点以上取得者							
資格要件の確認方法	出願時に証明できる資格の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
免除される試験科目	1次試験の英語実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		31	29				60
	平成20年度採用者数(名)		7	2				9
	平成21年度受験者数(名)		31	40				71
	平成21年度採用者数(名)		9	5				14
	平成22年度受験者数(名)		30	38				68

札幌市

対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校 中学部・高等学校の英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	中:39 高:49	歳以下				
資格要件	一般選考の受検資格を満たすこと。 ①実用英語技能検定1級又は準1級の合格者②国連英検特A級又はA級の合格者③TOEFL－PBT550点(iBTの場合は79点)以上取得者④TOEIC－730点以上取得者。							
資格要件の確認方法	該当実施団体の発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出。(写しを提出した場合は第1次検査時に原本確認をする。)							
免除される試験科目	第1次検査－英語専門検査(I) 第2次検査－英語実技検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		30					30
	平成20年度採用者数(名)		8					8
	平成21年度受験者数(名)		29					29
	平成21年度採用者数(名)		7					7
	平成22年度受験者数(名)		33					33

※実施状況については受検区分で計上。高等学校については北海道と共同登録のため計上していない。

仙台市

対象となる校種・教科	中学校英語・高等学校英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	①英検1級 ②TOEIC 920点以上 ③TOEFL(－PBT) 615点以上 ④TOEFL(－CBT) 260点以上 ⑤TOEFL(－iBT) 105点以上 ※英検以外の資格については、平成19年5月8日以降に取得したものに限る。							
資格要件の確認方法	資格取得証明書(開封無効)または資格を証明できる書類の写しを提出させて確認。							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験2の専門教養を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)		4	9				13
	平成21年度採用者数(名)		0	2				2
	平成22年度受験者数(名)		3	7				10

千葉市

対象となる校種・教科	中・高共通英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL590点(CBTの場合240点、iBTの場合95点、ITPテストは不可)以上取得者又はTOEIC860点以上取得者のうちいずれかに該当する者							
資格要件の確認方法	出願時に合格証書・公開テスト公式認定証の写し(コピー)を提出							
免除される試験科目	専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	小論文が1題多くなり、2題となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		24					24
	平成20年度採用者数(名)		3	3				6
	平成21年度受験者数(名)		28					28
	平成21年度採用者数(名)		3	5				8
	平成22年度受験者数(名)		34					34

※採用者数は千葉県のみ(千葉市採用はなし)。受験者数は中高共通の募集。

名古屋市

対象となる校種・教科	全校種	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級 TOEFL PBT600点以上 または CBT240点以上 TOEIC900点以上							
資格要件の確認方法	実績等を証明するもののコピー							
免除される試験科目	専門試験 実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	2	9	19				30
	平成20年度採用者数(名)	1	1	5				7
	平成21年度受験者数(名)	1	11	11				23
	平成21年度採用者数(名)	1	5	1				7
	平成22年度受験者数(名)	1	8	13				22

京都市

対象となる校種・教科	小学校, 中学校・英語, 高等学校・英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	小:47 中・高:44	歳以下				
資格要件	小: 実用英語技能検定準1級以上, TOEFL550点以上 (ITPを含む。CBTの場合は213点以上。), TOEIC730点以上 (TOEIC IPテストを含む) のいずれか 中・高: 実用英語技能検定1級, TOEFL580点以上 (ITPを含む。CBTの場合は237点以上), TOEIC860点以上 (TOEIC IPテストを含む) のいずれか							
資格要件の確認方法	各種実施団体が発行する証明書の写しを志願書提出時に提出							
免除される試験科目	小: 一般・教職教養筆記試験 中・高英語: 第1次試験の専門試験							
免除された試験に代わり課される試験	小: リスニング 中・高: なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	17	15	7				39
	平成20年度採用者数(名)	1	4	0				5
	平成21年度受験者数(名)	14	12	11				37
	平成21年度採用者数(名)	1	4	2				7
	平成22年度受験者数(名)	18	6	7				31

福岡市

対象となる校種・教科	中学校及び特別支援学校中学部の英語	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(PBT)610点以上、TOEFL(CBT)253点以上、TOEIC860点以上、またはこれらと同等の資格を有する人							
資格要件の確認方法	資格を証明できる書類の原本及び写しの提出							
免除される試験科目	1次試験における専門教科の筆記試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		4		0			4
	平成20年度採用者数(名)		1		0			1
	平成21年度受験者数(名)		4		0			4
	平成21年度採用者数(名)		2		0			2
	平成22年度受験者数(名)		3		0			3

※高等学校の試験については、福岡県と共同で実施している。

1(2) 情報処理に係る資格による免除

北海道

対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校高等部の工業・商業	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	特:39 高:49	歳以下				
資格要件	情報処理技術者試験による基本情報技術者試験合格者							
資格要件の確認方法	資格証明書(開封無効)による確認、又は出願時に資格を証明できる書類の写しを提出した場合は第一次検査時に持参した当該資料の原本を確認。							
免除される試験科目	第一次検査:工業・商業専門検査(I)							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			20				20
	平成20年度採用者数(名)			7				7
	平成21年度受験者数(名)			15	1			16
	平成21年度採用者数(名)			3				3
	平成22年度受験者数(名)			17	2			19

三重県

対象となる校種・教科	高等学校教諭「商業」	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	日商簿記検定(日本商工会議所)2級以上かつ基本情報技術者試験(FE)((財)日本情報処理開発協会)合格者 公認会計士資格取得者 税理士資格取得者							
資格要件の確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出し、1次選考試験当日に原本確認							
免除される試験科目	第1次試験の筆答試験(専門)							
免除された試験に代わり課される試験	該当なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			2				2
	平成21年度採用者数(名)			1				1
	平成22年度受験者数(名)			3				3

福岡県

対象となる校種・教科	高校工業(電気・電子)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	第一種情報処理技術者試験合格者、ソフトウェア開発技術者試験合格者、又はこれと同等以上の資格を有する者							
資格要件の確認方法	出願時に資格証明書等を提出							
免除される試験科目	一次の専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			1				1
	平成20年度採用者数(名)			0				0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)			2				2

札幌市

対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校高等部の工業・商業	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	特:39 高:49	歳以下				
資格要件	一般選考の受検資格を満たすこと。 情報処理技術者試験((財)日本情報処理開発協会)基本情報技術者試験合格者(第2種情報処理技術者試験合格者)又は同協会が認定するこの資格と同等以上の資格取得者。							
資格要件の確認方法	該当実施団体の発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出。(写しを提出した場合は第1次検査時に原本確認をする。)							
免除される試験科目	第1次検査－工業・商業専門検査(Ⅰ)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0

福岡市

対象となる校種・教科	高等学校 工業(電気・電子)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	第一種情報処理技術者試験合格者、ソフトウェア開発技術者試験合格者、又はこれらと同等以上の資格を有する者							
資格要件の確認方法	資格証明書又は資格を証明できる書類の写し(写しの提出者は指定された日に原本を提出)							
免除される試験科目	専門教科							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)			0				0

1(3)スポーツ・芸術での技能や実績による免除

茨城県

対象となる校種・教科	中学校・高等学校の保健体育	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	<p>一般選考の受験資格の要件を満たし、次のいずれかの要件を満たす者</p> <p>① オリンピック競技大会、アジア競技大会、世界選手権大会又はユニバーシアード競技大会に日本代表として出場した者。ただし、ジュニア選手権等、参加年齢制限を加えた大会は除く。</p> <p>② 全日本選手権大会、国民体育大会(成年の部)又は全日本学生選手権大会において、団体又は個人で優勝もしくは準優勝の成績を収めた者(団体競技の場合、正選手として大会に出場した者)。ただし、国民体育大会少年の部等、参加年齢制限を加えた大会を除く。</p>							
資格要件の確認方法	競技団体責任者等による「スポーツの実績一覧」及び賞状等、業績を証明できる書類の写しの提出							
免除される試験科目	第1次試験のうち、保健体育の専門教科試験及び実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		9	10				19
	平成20年度採用者数(名)		3	4				7
	平成21年度受験者数(名)		10	12				22
	平成21年度採用者数(名)		5	2				7
	平成22年度受験者数(名)		7	8				15

福井県

対象となる校種・教科	第2次選考の専門教科試験を保健体育(スポーツ)、音楽または美術(芸術)で受験する者	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	<p>スポーツ…一般選考の受験資格を満たす保健体育免許状の所有者で、平成16年4月1日以降に、国際レベルの大会に日本代表として出場した者、または全国レベルの大会で優秀な成績を収めた者でそれ以後も引き続き活動を続け全国大会等に出場している者。</p> <p>芸術…一般選考の受験資格を満たす音楽または美術免許状の所有者で、平成16年4月1日以降に、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な実績を収めた者、または、全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を収めた者でそれ以後も引き続き活動を続け全国レベルのコンクール、展覧会等に出場している者。</p>							
資格要件の確認方法	大会やコンクールの賞状、または主催団体が発行する成績証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							19
	平成20年度採用者数(名)							1
	平成21年度受験者数(名)							6
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							6

長崎県

対象となる校種・教科	中学校・高等学校の保健体育	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場した者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた者。							
資格要件の確認方法	要件にかかる大会の賞状の写し(A4判に縮小)又は競技団体が発行する成績証明書、あるいは日本代表として出場したことを証明する書類を提出すること。							
免除される試験科目	第1次試験のすべて(教職・一般教養試験、専門教科・科目試験)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名) ※		4	22				26
	平成20年度採用者数(名)		1	4				5
	平成21年度受験者数(名) ※		4	29				33
	平成21年度採用者数(名)		1	4	1			6
	平成22年度受験者数(名) ※		2	24				26

※は受験者数ではなく、志願者数である。

鹿児島県

対象となる校種・教科	中学校保健体育, 高等学校保健体育, 中学校音楽, 高等学校音楽, 中学校美術, 高等学校美術, 高等学校書道	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	保健体育: 過去3年間に出場した全国レベルの大会における実績で, 原則として次の基準を満たす者 (個人種目)8位以内の入賞及びそれと同等の記録等 (団体種目)4位以内で正選手として出場した者 芸術: 過去4年間の全国レベルのコンクールや展覧会等で入賞以上の個人成績							
資格要件の確認方法	出願時に証明書の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
免除される試験科目	1次試験の体育実技又は音楽実技, 美術実技, 書道実技							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		1	11				12
	平成20年度採用者数(名)			4				4
	平成21年度受験者数(名)		2	5				7
	平成21年度採用者数(名)			1				1
	平成22年度受験者数(名)		1	9				10

沖縄県

対象となる校種・教科	中高保体、中高美術、中高音楽	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	<p>○スポーツ分野…中高保体の受験者で、秀でた技能実績を持ち、大学等に在学中または社会人として、国際的規模の競技会(オリンピック、世界選手権、アジア大会等)に日本代表として出場した者及び指導者。</p> <p>○芸術分野…中高美術、音楽の受験者で、音楽、美術の芸術分野において、秀でた技能・実績を持ち、大学等に在学中または社会人として、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を治めた者</p>							
資格要件の確認方法	国際レベルの大会に参加した証明書、大会結果の新聞記事、賞状の写し等、大会要項の写し、競技団体が発行する成績証明書など実績を証明するものを添付							
免除される試験科目	一次試験(一般教養、教職教養、専門教科、実技)							
免除された試験に代わり課される試験	スポーツ・芸術での技能や実績による選考課題作文の実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	0		3				3

名古屋市

対象となる校種・教科	全校種	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	<p>スポーツの分野において全国的規模以上の競技会で優秀な成績を有する人</p> <p>芸術等の分野において全国的規模以上のコンクール・展覧会等で優秀な成績を有する人</p>							
資格要件の確認方法	実績等を証明するもののコピー							
免除される試験科目	専門試験 実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	16	43	15				74
	平成20年度採用者数(名)	8	5	1				14
	平成21年度受験者数(名)	15	58	14		2		89
	平成21年度採用者数(名)	2	6	2	1			11
	平成22年度受験者数(名)	18	58	20		3		99

1(4) 国際貢献活動経験による免除

宮城県

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	青年海外協力隊(現独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する海外ボランティア派遣制度)として、平成11年4月1日から平成21年3月31日までの10年間において、2年以上の派遣経験。							
資格要件の確認方法	第2次選考時に証明書類を提出							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	3	1	3				7

茨城県

対象となる校種・教科	一般選考で採用を予定する全校種・教科・科目	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、さらに独立行政法人国際協力機構法に基づく青年海外協力隊員として、継続して2年以上の派遣実績を有する者							
資格要件の確認方法	青年海外協力隊員事務局長等による派遣実績証明書及び自己推薦書の提出による。							
免除される試験科目	第1次試験のうち、一般教養・教職専門の試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	0	1	1	0	0	0	2
	平成20年度採用者数(名)	0	1	0	0	0	0	1
	平成21年度受験者数(名)	1	5	1	0	0	0	7
	平成21年度採用者数(名)	1	4	0	0	0	0	5
	平成22年度受験者数(名)	0	1	2	0	0	0	3

福井県

対象となる校種・教科	すべての校種、教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員として平成16年4月1日から平成22年3月31日までの間に2年以上の派遣実績を有する者。							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							8
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							14
	平成21年度採用者数(名)							1
	平成22年度受験者数(名)							7

仙台市

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	青年海外協力隊(現独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する海外ボランティア派遣制度)として、平成11年4月1日から平成21年3月31日までの10年間に於いて、2年以上の派遣経験。							
資格要件の確認方法	第2次選考時に証明書類を提出							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	3	1	3				7

神戸市

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	平成21年3月31日現在、青年海外協力隊として2年以上の派遣経験を有する者。							
資格要件の確認方法	派遣されたことが分かるものの提出等。							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							3
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							5
	平成21年度採用者数(名)							2
	平成22年度受験者数(名)							9

1(5)教職経験による免除

北海道

対象となる校種・教科	高等学校の一般選考と同じ教科(科目)	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	一般選考(高等学校)の特例…昭和35年4月2日以降生まれの高等学校教諭で、国公立高等学校(北海道及び北海道内の市町村が設置する高等学校を除く。)又は私立高等学校における正規任用教員としての教職経験が、平成22年3月31日現在、引き続き4年以上のものに受検資格。							
資格要件の確認方法	出願時に現在勤務している学校の職歴証明書を提出させ確認。							
免除される試験科目	一般選考の第一次検査に実施する教養検査及び教科に関する専門検査を免除。							
免除された試験に代わり課される試験	専門検査(Ⅲ):指導案の作成(高等学校教育に係る専門的な知識や理解をみる。)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			41				41
	平成20年度採用者数(名)			16				16
	平成21年度受験者数(名)			23				23
	平成21年度採用者数(名)			3				3
	平成22年度受験者数(名)			19				19

青森県

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格(年齢制限を除く。)を満たし、現に本県公立学校の教諭及び養護教諭である者							
資格要件の確認方法	出願書類への記入、第二次試験における個人面接							
免除される試験科目	一般・教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	3	0	2	0	0		5
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成21年度受験者数(名)	2	0	3	0	0		5
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成22年度受験者数(名)	0	0	4	1	0		5

宮城県

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時に、学校教育法第1条に定められた学校の教諭又は養護教諭に就いている者。							
資格要件の確認方法	出願時における勤務実績報告書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	38	12	7		4		61
	平成20年度採用者数(名)	7	2	4		1		14
	平成21年度受験者数(名)	59	29	11		5		104
	平成21年度採用者数(名)	8	4	0		0		12
	平成22年度受験者数(名)	43	23	4		1		71

秋田県

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	他県で現在、教諭の資格を有している者							
資格要件の確認方法	志願書							
免除される試験科目	総合教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	1	0	1	0	0		2
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成21年度受験者数(名)	2	1	0	2	0		5
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成22年度受験者数(名)	3	2	0	1	0		6

茨城県

対象となる校種・教科	一般選考で採用を予定する全校種・教科・科目	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格の要件を満たし、さらに都道府県(茨城県は除く)又は指定都市が実施する教員採用選考に合格し、現在、正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭(いずれも、任期付き採用、臨時的任用及び市(指定都市は除く)区町村採用の場合を除く)として勤務し、平成21年4月1日現在、3年以上(休職・育児休業等の期間を除く)在職している者							
資格要件の確認方法	所属長等による勤務実績証明書及び本人の自己推薦書の提出による							
免除される試験科目	第1次試験のうち、一般教養・教職専門の試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	18	3	3	2	2	0	28
	平成20年度採用者数(名)	17	3	1	2	2	0	25
	平成21年度受験者数(名)	16	2	3	2	1	0	24
	平成21年度採用者数(名)	11	0	1	2	1	0	15
	平成22年度受験者数(名)	22	1	3	3	1	0	30

千葉県

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	<p>①他県等現職特例(ア・イの両方を満たすこと。)</p> <p>ア 他県等において、現に国公立学校(幼稚園を除く。以下において同じ。)の教諭又は養護教諭として平成21年4月1日現在で、2年以上の実務経験を有する方(任期付以外の正規採用の方に限る。)</p> <p>イ 現に勤務する学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)に志願すること。</p> <p>②本県元教諭特例(ア・イ・ウのすべてを満たすこと。)</p> <p>ア 平成12年4月1日以降に退職した方</p> <p>イ 本県の公立学校で教諭・養護教諭として過去に5年以上の実務経験(正規採用に限る。)を有する方</p> <p>ウ 勤務経験のある学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)に志願すること。</p> <p>③本県現職実習助手等特例A(本県公立特別支援学校に現に勤務する正規の実習助手又は寄宿舎指導員が特別支援学校に志願する場合)</p> <p>平成22年3月31日現在で、正規の実習助手又は寄宿舎指導員として3年以上の実務経験を有する方</p> <p>④本県現職実習助手等特例B(本県公立特別支援学校に現に勤務する正規の実習助手又は寄宿舎指導員が他校種に志願する場合及び本県公立高等学校に現に勤務する正規の実習助手が志願する場合)</p> <p>平成22年3月31日現在で、正規の実習助手又は寄宿舎指導員として3年以上の実務経験を有する方</p> <p>⑤ 講師等特例(ア・イの両方を満たすこと。)</p> <p>ア 本県の公立学校において千葉県・千葉市が任命する臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭(千葉県内の市町村教育委員会が任命するもので、千葉県教育委員会が指定するものを含む。)として、平成20年度勤務実績のある方又は平成21年5月1日現在勤務している方</p> <p>イ 下の(ア)又は(イ)に該当すること。</p> <p>(ア) 過去3年度(平成18年度から平成20年度)に本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭として、通算12か月以上の実務経験があること。</p> <p>(イ) 過去3年度(平成18年度から平成20年度)に下のa～dを合算して通算18か月以上の実務経験があること。</p> <p>a 本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭の実務経験</p> <p>b 千葉県教育委員会又は千葉市教育委員会が任命する週12時間以上の非常勤の講師又は養護教諭の実務経験</p> <p>c 千葉県内の市町村教育委員会が任命する非常勤講師・養護教諭で、千葉県教育委員会が指定するものの実務経験</p> <p>d 千葉県内の国立大学法人附属学校の臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭の実務経験</p>							
資格要件の確認方法	教職経験調書及び職歴証明又は辞令の写し等で確認する。							
免除される試験科目	①②④は教職教養と専門教科、③⑤は教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	①②④は小論文が1題多くなり2題となる。③⑤は、なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	416	527		53	58		1054
	平成20年度採用者数(名)	156	84	24	28	9		301
	平成21年度受験者数(名)	383	546		64	57		1050
	平成21年度採用者数(名)	80	41	36	17	4		178
	平成22年度受験者数(名)	440	653		101	92		1286

※受験者数千葉県・千葉市を合算したものであり、中・中高共通・高は中学校にまとめて記載。採用者は千葉県のものであり、千葉市は含まない。

東京都

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	①他県国公立現職(受験校種・教科経験3年以上)、都経験者(受験校種・教科経験3年以上)、都期限付任用経験者 ②都臨任経験者(受験校種・教科で過去3年に12ヶ月以上)、都準常勤講師(受験校種・教科で前年度認定及び現年度認定又は臨任任用中)、他県国公立臨任(受験校種・教科で過去3年に12ヶ月以上及び現年度も任用中)							
資格要件の確認方法	東京都以外の国公立学校に在職する者については、所定の様式を提出させる。都公立学校における勤務実績は、人事電算等により確認する。							
免除される試験科目	①別途個人面接のみ実施、②第一次選考・択一免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							1604
	平成20年度採用者数(名)							740
	平成21年度受験者数(名)							1630
	平成21年度採用者数(名)							1110
	平成22年度受験者数(名)							2500

福井県①

対象となる校種・教科	すべての校種、教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、現在、他の都道府県の国公立学校に勤務している教諭、または養護教諭。							
資格要件の確認方法	在職証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							40
	平成20年度採用者数(名)							1
	平成21年度受験者数(名)							52
	平成21年度採用者数(名)							1
	平成22年度受験者数(名)							57

福井県②

対象となる校種・教科	すべての校種、教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、次のいずれかの条件に該当する者。①平成21年度教員採用試験2次選考受験者のうち、当該試験後に福井県内の学校(学校教育法第1条に規定する学校)において、講師等の勤務実績がある者。②現在教職大学院(専門職大学院設置基準に基づき設置された教職大学院)在学2年次の者で、平成20年度または平成21年度教員採用選考試験を受験し、そのうち直近の試験において第2次選考試験を受験し、専修免許状を平成22年3月31日までに取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	在職(在学)証明書または講師等経験を証明できる辞令(写し)の提出							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							398
	平成20年度採用者数(名)							63
	平成21年度受験者数(名)							416
	平成21年度採用者数(名)							90
	平成22年度受験者数(名)							328

岐阜県①

対象となる校種・教科	全志願種別	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	他の都道府県の国立大学法人が設置する学校又は公立学校に勤務している本務教員で、3年以上の経験がある者。ただし、同じ校種で受験すること。							
資格要件の確認方法	・本人の申請による							
免除される試験科目	・第1次試験の筆記試験のみ免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	17	9	3	2	1		32
	平成20年度採用者数(名)	8	1	1	2	0		12
	平成21年度受験者数(名)	25	11	4	1	1		42
	平成21年度採用者数(名)	15	6	2	1	1		25
	平成22年度受験者数(名)	15	8	4	1	0	0	28

岐阜県②

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭 高等学校教諭、特別支援学校教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	県内の公立小中学校で任期付採用職員又は特任講師として勤務し、所属長や市町村教育委員会の推薦があった者							
資格要件の確認方法	市町村教育委員会より推薦書を提出							
免除される試験科目	第1次試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	2	1					3
	平成20年度採用者数(名)	1	1					2
	平成21年度受験者数(名)	16	14	10	5	0		45
	平成21年度採用者数(名)	10	9	6	5	0		30
	平成22年度受験者数(名)	60	27	30	22	0		139

滋賀県

対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	44	歳以下				
資格要件	平成22年3月31日現在において、国立大学法人附属学校または公立学校の教諭、養護教諭、栄養教諭または任用の期限を付さない常勤講師(日本国籍を有しないものに限る。)である者で、休職および育児休業の期間を除き、3年以上の勤務経験を有することとなるものは希望によりに第1次選考の一部を免除。ただし、3年以上の教職経験が受験する校種・職種、教科・科目と同一の場合に限る。							
資格要件の確認方法	一部免除を受けた受験者は、第一次選考合格後に、在職証明書等を提出							
免除される試験科目	小・中・養教・栄教：一般教養・教職教養、専門教科 高・特支：一般教養・教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	16	7	8	3	0		34
	平成20年度採用者数(名)	13	4	1	1	0		19
	平成21年度受験者数(名)	16	10	1	4	0	0	31
	平成21年度採用者数(名)	11	6	0	2	0	0	19
	平成22年度受験者数(名)	20	9	6	3	2	0	40

京都府①

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	他の都道府県及び指定都市の公立学校、国立大学法人が所管する学校並びに府内の私立高等学校の正規の現職教員の方で、昭和35年4月2日以降に生まれた方。 ※ただし、現職と同一の校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願時の書類で確認							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養と専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	13	8	15	4	1	0	41
	平成20年度採用者数(名)	6	2	3	1	0	0	12
	平成21年度受験者数(名)	25	6	21	5	3	0	60
	平成21年度採用者数(名)	6	1	2	0	1	0	10
	平成22年度受験者数(名)	22	11	19	5	2	2	61

京都府②

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	全国の都道府県及び指定都市の公立又は国立大学法人が所管する学校の常勤講師として又は週10時間以上の非常勤講師として、平成16年度から平成20年度の間に通算2年以上(実勤務月数として通算24月以上)勤務をした経験がある方。※ただし、講師経験と同一の校種等を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願書類として「勤務証明書」を提出させて確認する。							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	61	85	86	35	19	5	291
	平成21年度採用者数(名)	10	24	19	10	4	0	67
	平成22年度受験者数(名)	115	127	70	58	27	10	407

大阪府

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	<p>現職教諭：平成22.3.31までに公立学校で通算2年以上の在職経験かつ、H21.4.1現在在職していること。(S39.4.2以降に出生していること。)</p> <p>常勤講師：H20.4.1～H21.3.31までの間に大阪府内の公立学校において講師(非常勤除く)の勤務経験がある人で、H21.3.31までに通算5年以上の勤務経験があること。</p> <p>実習助手・寄宿舎指導員：大阪府内の公立学校における実習助手又は寄宿舎指導員として、平成21年4月1日現在、在職しているとともに、平成21年3月31日までに同職の勤務経験が通算5年以上あること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時は、願書により確認。合格後は、在職証明書提出にて確認。							
免除される試験科目	現職教諭：1次択一式テスト、2次筆答テスト							
免除された試験に代わり課される試験	常勤講師、実習助手・寄宿舎指導員：1次択一式テストに代えて小論文テストを課す							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	267	140	107	24	28	-	566
	平成20年度採用者数(名)							137
	平成21年度受験者数(名)	323	194	155	26	55	1	754
	平成21年度採用者数(名)							156
	平成22年度受験者数(名)	242	179	183	37	42	1	684

※小中共通の受験者は、中学校に算入。

兵庫県①

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	国立大学法人附属学校及び公立学校の現職の教諭、養護教諭、栄養教諭で、平成22年3月31日現在、受験校種・教科と同じ校種・教科を2年以上教えている現職教員。(臨時的任用者は除く。)							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第1次筆答試験							
免除された試験に代わり課される試験	教育に関するレポート提出に変えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	56	15	17	9	11	-	108
	平成20年度採用者数(名)	31	8	8	1	4	-	52
	平成21年度受験者数(名)	63	19	15	14	12	-	123
	平成21年度採用者数(名)	33	12	6	5	6	-	62
	平成22年度受験者数(名)	63	20	16	9	8	0	116

兵庫県②

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	平成19年4月1日から平成21年3月31日の間に、兵庫県の公立学校(ただし、神戸市立学校を除く)において、常勤の臨時講師として1年以上の勤務経験を有する平成18年度または19年度実施の本県教員採用試験において第1次筆答試験を受験し第1次試験に合格した者							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第1次筆答試験							
免除された試験に代わり課される試験	教育に関するレポート提出に代えることができる							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	44	46	29	12	14	-	145
	平成20年度採用者数(名)	26	19	9	3	9	-	66
	平成21年度受験者数(名)	96	73	40	7	13	-	229
	平成21年度採用者数(名)	37	32	14	2	4	-	89
	平成22年度受験者数(名)	130	60	56	13	18	-	277

和歌山県

対象となる校種・教科	小学校・特別支援学校	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	小学校・特別支援学校の志願者で、過去6年に48月(受検校種での講師経験を含む)の講師経験のある者							
資格要件の確認方法	人事異動通知書(辞令)の写し							
免除される試験科目	第一次検査の筆答検査(一般教養、校種・教科専門)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	111			21			132
	平成20年度採用者数(名)	41			6			47
	平成21年度受験者数(名)	88			22			110
	平成21年度採用者数(名)	30			12			42
	平成22年度受験者数(名)	87			16			103

島根県

対象となる校種・教科	①小・中・特支(小学部)の教諭(正式採用)で勤務地限定採用枠(区分V・Ⅷ) ②小・中・高(農業、工業、水産に限る)・特支養護教諭・栄養教諭(区分XI)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	①: 基本的年齢制限と同じ ②: 基本的年齢制限と異なる	満	①: 44 ②: 54	歳以下				
資格要件	①現に国公立の小・中・高・特支等の教諭(正式採用)として勤務中の者又は勤務したことのある者 ②国公立の小・中・高・特支等の教諭・助教諭・養護教諭(正式採用)、常勤講師(非常勤講師を除く)、養護助教諭として勤務中の者又は勤務したことのある者で、平成22年3月末現在で5年以上の勤務経験を有する者。							
資格要件の確認方法	在職証明書							
免除される試験科目	①1次試験の全て(一般教職教養試験、専門筆記試験、面接試験) ②1次試験のうち一般教職教養試験、面接試験							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	13	11	0	6	0	0	30
	平成20年度採用者数(名)	5	0	0	4	0	0	9
	平成21年度受験者数(名)	16	13	0	1	0	0	30
	平成21年度採用者数(名)	4	1	0	0	0	0	5
	平成22年度受験者数(名)	17	6	0	2	0	0	25

山口県

対象となる校種・教科	すべての校種・教科等	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	44	歳以下				
資格要件	現に他の都道府県において国公立学校(国公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)に在籍している教員(任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。)が、出願時の勤務と同一志願区分で出願した場合							
資格要件の確認方法	出願時に提出させる在職証明書により確認							
免除される試験科目	教職専門試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	28	7	9	3	3		50
	平成21年度採用者数(名)	7	2	4	2	0		15
	平成22年度受験者数(名)	36	11	5	1	1		54

福岡県

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	45	歳以下				
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・現職者の特例:現に小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の正規教員として勤務している者で、所定の証明書を提出するもの ・講師等経験者の特例:福岡県内の公立学校(北九州市及び福岡市立の小・中・特別支援学校(小・中学部)を除く)の常勤講師、非常勤講師、助教諭、養護助教諭として、過去6年間と受験年度の出願時までの期間に36月以上の勤務経験がある者で、所定の申請書を提出する者 							
資格要件の確認方法	現職者の特例:在職証明書、講師等経験者の特例:所定の申請書、辞令の写し							
免除される試験科目	一次の教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	201	180	314		39		734
	平成20年度採用者数(名)	24	17	26	4	7		78
	平成21年度受験者数(名)	205	233	281		44		763
	平成21年度採用者数(名)	14	22	21	0	1		58
	平成22年度受験者数(名)	253	233	332		54		872

佐賀県

対象となる校種・教科	選考試験を実施する全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	※59	歳以下				
資格要件	<p>下記の要件を満たす者で、「一般・教職教養試験免除申請書」を提出した者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現に都道府県、指定都市の公立学校で正規の教諭又は養護教諭の職にある者 ・平成21年6月12日(受付締め切り日)現在において、本県公立学校に講師又は養護助教諭として任用されている者(非常勤講師を含む)で、過去6年間(平成15年度～平成20年度)において、36月以上の在職期間を有する者。(非常勤講師としての期間は在職期間に1/2を乗じて算出する。) 							
資格要件の確認方法	所属校長の在職証明及び本人が申告した職歴を事務局で照合し確認を行う							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	35	71	40	12	4		162
	平成21年度採用者数(名)	4	10	5	1	2		22
	平成22年度受験者数(名)	50	62	51	15	3		181

※年齢制限については、正規教諭及び養護教諭は59歳以下、講師等経験者は39歳以下とする。

長崎県

対象となる校種・教科	小学校・中学校教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	平成21年度において、本県公立小・中学校に臨時的に任用されている者(非常勤講師を含む)で、過去5年間(平成16~20年度)において、3か年度以上臨時的任用等教員を経験し、優秀な成績を収めた者。(各年度の任用期間は、長短にかかわらず1年と算定する。)ただし、免除は2回までとする。							
資格要件の確認方法	免除申請書を、現在勤務する学校の校長あて提出							
免除される試験科目	1次試験の教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	21	20					41
	平成20年度採用者数(名)	13	7					20
	平成21年度受験者数(名)	21	13					34
	平成21年度採用者数(名)	2	2					4
	平成22年度受験者数(名)	21	17					38

熊本県

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	平成21年5月1日現在で、本県公立学校の臨時的任用教員等として任用されている者で、過去5年間に通算36月以上の本県公立学校の臨時的任用教員等の経験があり、校長等の推薦を受け、県教育委員会において選考された者。							
資格要件の確認方法	提出書類及び人事記録							
免除される試験科目	教職科目・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	13	8	16	2	4	0	43
	平成20年度採用者数(名)	9	4	7	0	1	0	21
	平成21年度受験者数(名)	11	9	17	4	6	0	47
	平成21年度採用者数(名)	7	6	5	2	1	0	21
	平成22年度受験者数(名)	14	10	16	4	5	0	49

宮崎県

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨時的任用講師等の経験(出願時の前の年度までの5年間のうち、通算24月以上、本県において、臨時的任用講師及び非常勤講師、または、養護助教諭としての勤務経験がある者) ・ 現職教員(現に公立の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭・養護教諭として勤務している者) ・ 元教員(本県の公立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭・養護教諭としての勤務実績が5年以上ある人。) 							
資格要件の確認方法	申請書と雇用証明書等の提出							
免除される試験科目	1次試験「教職教養」							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	22	13	6	14	8		63
	平成20年度採用者数(名)	22	13	6	11	8		60
	平成21年度受験者数(名)	203	178	138	90	36		645
	平成21年度採用者数(名)	43	27	16	19	6		111
	平成22年度受験者数(名)	196	171	151	87	36		641

沖縄県①

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	35	歳以下				
資格要件	本県国公立学校(幼稚園、大学を除く)の臨任 ○平成21年3月末までに、平成21年度の本県国公立学校臨任の登録申込をした者 ○本県国公立学校の臨任として平成20年度に勤務実績を有する者 ○本県国公立学校の臨任として、直近の過去4年間(H17年度からH20年度まで)で通算36月以上勤務した者 ○本県の選考で重視する視点に掲げた教員としての基本的な資質と専門性を有する者							
資格要件の確認方法	辞令または履歴書の写し勤務歴が証明できるもの提出							
免除される試験科目	一次試験(一般教養、教職教養、専門試験、実技試験)							
免除された試験に代わり課される試験	教職経験による選考教育実践報告書の提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	136	132	174	32	7		481

沖縄県②

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	他都道府県の本務教員(教諭、養護教諭) ○他都道府県の国公立学校の正規の現職教員で、7年以上(休職・育児休業等の期間を除く)勤務している者。但し受験する場合は、同一の校種・教科に限る。 勤務経験年数は平成21年3月31日までに7年以上有していること。							
資格要件の確認方法	○勤務記録カードまたは履歴書の写し等、勤務歴が証明できるもの(原本証明があるもの)を提出。							
免除される試験科目	一次試験(教職教養、専門科目、実技試験)							
免除された試験に代わり課される試験	「教職経験による選考教育実践報告書」の提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	2	3	5	1	1		12

札幌市

対象となる校種・教科	高等学校教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	一般選考(高等学校)の特例・・・昭和35年4月2日以降に生まれた現職の高等学校教諭で、国公立高等学校又は私立高等学校における正規任用教員としての教職経験が、平成22年3月31日現在において、引き続き4年以上となる者。							
資格要件の確認方法	願書の記載内容及び現在の勤務校の職歴証明書を提出。							
免除される試験科目	一般選考の第1次検査に実施する教養検査、教科に関する専門検査を免除。							
免除された試験に代わり課される試験	指導案の作成							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0

※高等学校については、北海道と共同登録のため、札幌市では計上していない。

仙台市

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時に、学校教育法第1条に定められた学校の教諭又は養護教諭に就いている者。							
資格要件の確認方法	出願時における勤務実績報告書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	38	12	7		4		61
	平成20年度採用者数(名)	7	2	4		1		14
	平成21年度受験者数(名)	59	29	11		5		104
	平成21年度採用者数(名)	8	4	0		0		12
	平成22年度受験者数(名)	43	23	4		1		71

千葉市

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	<p>①他県等現職特例(ア・イの両方を満たすこと。)</p> <p>ア 他県等において、現に国公立学校(幼稚園を除く。以下において同じ。)の教諭又は養護教諭として平成21年4月1日現在で、2年以上の実務経験を有する方(任期付以外の正規採用の方に限る。)</p> <p>イ 現に勤務する学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)に志願すること。</p> <p>②本県元教諭特例(ア・イ・ウのすべてを満たすこと。)</p> <p>ア 平成12年4月1日以降に退職した方</p> <p>イ 本県の公立学校で教諭・養護教諭として過去に5年以上の実務経験(正規採用に限る。)を有する方</p> <p>ウ 勤務経験のある学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)に志願すること。</p> <p>③本県現職実習助手等特例A(本県公立特別支援学校に現に勤務する正規の実習助手又は寄宿舎指導員が特別支援学校に志願する場合)</p> <p>平成22年3月31日現在で、正規の実習助手又は寄宿舎指導員として3年以上の実務経験を有する方</p> <p>④本県現職実習助手等特例B(本県公立特別支援学校に現に勤務する正規の実習助手又は寄宿舎指導員が他校種に志願する場合及び本県公立高等学校に現に勤務する正規の実習助手が志願する場合)</p> <p>平成22年3月31日現在で、正規の実習助手又は寄宿舎指導員として3年以上の実務経験を有する方</p> <p>⑤ 講師等特例(ア・イの両方を満たすこと。)</p> <p>ア 本県の公立学校において千葉県・千葉市が任命する臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭(千葉県内の市町村教育委員会が任命するもので、千葉県教育委員会が指定するものを含む。)として、平成20年度勤務実績のある方又は平成21年5月1日現在勤務している方</p> <p>イ 下の(ア)又は(イ)に該当すること。</p> <p>(ア) 過去3年度(平成18年度から平成20年度)に本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭として、通算12か月以上の実務経験があること。</p> <p>(イ) 過去3年度(平成18年度から平成20年度)に下のa～dを合算して通算18か月以上の実務経験があること。</p> <p>a 本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭の実務経験</p> <p>b 千葉県教育委員会又は千葉市教育委員会が任命する週12時間以上の非常勤の講師又は養護教諭の実務経験</p> <p>c 千葉県内の市町村教育委員会が任命する非常勤講師・養護教諭で、千葉県教育委員会が指定するものの実務経験</p> <p>d 千葉県内の国立大学法人附属学校の臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭の実務経験</p>							
資格要件の確認方法	教職経験調書及び職歴証明又は辞令の写し等で確認する。							
免除される試験科目	①②④は教職教養と専門教科、③⑤は教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	①②④は小論文が1題多くなり2題となる。③⑤は、なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	416	527		53	58		1054
	平成20年度採用者数(名)	156	84	24	28	9		301
	平成21年度受験者数(名)	383	546		64	57		1050
	平成21年度採用者数(名)	80	41	36	17	4		178
	平成22年度受験者数(名)	440	653		101	92		1286

※受験者数千葉県・千葉市を合算したものであり、中・中高共通・高は中学校にまとめて記載。採用者は千葉県のものであり、千葉市は含まない。

浜松市

対象となる校種・教科	小学校、中学校、養護教諭	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	H20年度に勤務実績を有し、かつ、直近の2年間で通算12月以上勤務した者、又は本県元職（経験5年以上）又は、他県現職で経験2年以上の者							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校長が作成する勤務実績証明書(元職は体験調書)を提出する。							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	課題作文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	47	30			12		89
	平成20年度採用者数(名)	18	10			2		30
	平成21年度受験者数(名)	70	46			10		126
	平成21年度採用者数(名)	32	11			0		43
	平成22年度受験者数(名)	16	52			12		80

名古屋市

対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教員	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市の講師経験が過去5年間に通算2年以上ある人 ・現在名古屋市以外の国公立学校に本務教諭として勤務し、平成20年度末までに本務教員の任用期間が通算2年以上ある人 							
資格要件の確認方法	所属長の証明がある申請書							
免除される試験科目	総合教養 ※名古屋市の講師経験が過去10年間に通算5年以上の人は、さらに小学校全科を免除 ※本務教諭は、さらに専門試験・小論文を免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	124	153	0		10		287
	平成20年度採用者数(名)	54	32	0	13	4		103
	平成21年度受験者数(名)	143	186	0		15		344
	平成21年度採用者数(名)	36	41	0	13	2		92
	平成22年度受験者数(名)	129	149	0		12		290

京都市

対象となる校種・教科	募集を行う全区分(小, 中, 高, 総支, 養教)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	①(1次試験の一部免除)平成22年3月31日現在で常勤講師として勤務歴が連続して3年以上ある者 ②(1次試験の一部免除)平成22年3月31日現在で現職教員として在職し, かつ, 勤務歴が連続して1年以上ある者 ③(1次試験の免除)平成22年3月31日現在で現職教員として在職し, かつ, 勤務歴が連続して3年以上ある者が, 現在勤務する校種及び教科と同一の区分を専願で志願する場合							
資格要件の確認方法	内定時に在職証明書を提出							
免除される試験科目	資格要件の③, ④…一般・教職教養筆記試験 資格要件の⑤…第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	資格要件の⑤…個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	192	148	75		15		430
	平成20年度採用者数(名)	19	7	1		0		27
	平成21年度受験者数(名)	211	196	41		15		463
	平成21年度採用者数(名)	23	19	3		3		48
	平成22年度受験者数(名)	166	182	39	39	15		441

大阪市

対象となる校種・教科	全て	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	次の(1)(2)(3)の期間が、平成16年4月1日から平成21年4月30日までの間に通算1年以上あること。 (1)大阪市公立学校・幼稚園以外の学校幼稚園における教諭・養護教諭・栄養教諭としての勤務期間 (2)大阪市公立学校・幼稚園における常勤・非常勤講師としての勤務期間 (3)大阪市公立学校における正規職員の実習助手、寄宿舎指導員としての勤務期間							
資格要件の確認方法	在職・勤務証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆答テスト							
免除された試験に代わり課される試験	論文テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	225	262	103	71	61	0	722
	平成20年度採用者数(名)	47	59	8	24	13	0	151
	平成21年度受験者数(名)	192	251	94	83	52	2	674
	平成21年度採用者数(名)	56	63	4	28	2	0	153
	平成22年度受験者数(名)	225	243	82	79	63	2	694

神戸市

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	①平成22年3月31日現在、国立大学法人附属学校園及び公立学校園の現職の教諭又は養護教諭または栄養教諭で、継続して3年以上の勤務経験を有する者。 ②神戸市立学校園で臨時的任用教員又は養護担当教員として、平成18年4月1日から平成21年3月31日までに通算2年以上の勤務経験を有する者。							
資格要件の確認方法	①在職証明書等の提出 ②委嘱状の写しの提出							
免除される試験科目	①教職・一般教養、専門教科 ②教職教養、専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	①小論文 ②2次試験面接の際に模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)	35	38	0	0	0	0	73
	平成21年度受験者数(名)	139	152	0	0	10	0	301
	平成21年度採用者数(名)	41	37	0	0	0	0	78
	平成22年度受験者数(名)	121	158	0	0	15	5	299

福岡市

対象となる校種・教科	全校種、全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	①公立小学校、中学校及び特別支援学校の正規教諭として現に勤務している人 ②福岡市立学校に常勤及び非常勤講師(勤務日が週4日または週16時間以上ある場合に限る。)として任用された人のうち、平成16年4月1日～平成21年5月31日の間に良好に勤務した期間が通算24月以上ある人							
資格要件の確認方法	①については実績証明書(勤務先が記入)を提出。 ②については本市の講師発令データと突合せ確認。							
免除される試験科目	1次試験における教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	122	100		30	15		267
	平成20年度採用者数(名)	16	16		8	1		41
	平成21年度受験者数(名)	119	64		25	6		214
	平成21年度採用者数(名)	19	14		3	0		36
	平成22年度受験者数(名)	142	98		33	11		284

1(6)前年度の採用候補者名簿登載者であることによる免除

岩手県

対象となる校種・教科	全校種	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	前年度試験において、B合格となり今年度県内公立学校において臨時的任用教員として勤務し、前年度と同一校種同一教科を受験した場合							
資格要件の確認方法	履歴等で確認							
免除される試験科目	教職専門、論文							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	2	9	13	6	2	0	32

宮城県

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	採用候補者名簿登載者で、採用されなかった場合は、同一校種・教科(科目)を受験する場合に限り、次年度の教員採用候補者選考の第1次選考を免除する。							
資格要件の確認方法	前年度採用候補者登載名簿							
免除される試験科目	同一校種・教科(科目)を受験する場合に限り、第1次選考を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0

東京都

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	平成21年度東京都公立学校教員採用候補者選考名簿登載者							
資格要件の確認方法	名簿により確認							
免除される試験科目	第一次選考、第二次選考集団面接							
免除された試験に代わり課される試験	個人面接のみ別日程で実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							19
	平成20年度採用者数(名)							6
	平成21年度受験者数(名)							18
	平成21年度採用者数(名)							8
	平成22年度受験者数(名)							24

愛知県

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	「平成21年度愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「補欠」であった人が、「平成22年度愛知県公立学校教員採用選考試験」において、同一の受験区分・教科を受験する場合。							
資格要件の確認方法	志願書の指定欄に、平成21年度(前年度)の受験番号を記入する。							
免除される試験科目	1次試験免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	3	6	1	0	0	0	10
	平成20年度採用者数(名)	1	2	0	0	0	0	3
	平成21年度受験者数(名)	0	0	21	14	1	0	36
	平成21年度採用者数(名)	0	0	11	10	0	0	21
	平成22年度受験者数(名)	22	28	30	19	0	2	101

鳥取県

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	前年度の教員採用候補者選考試験第二次選考試験の結果、A登載(次年度教員として正式に採用)、B登載(次年度講師として1年間臨時的に任用(欠員の状況によっては教員として正式に採用))、C登載(次年度講師として臨時的に任用)として名簿登載しているが、このうち、B登載の者が本年度出願した場合							
資格要件の確認方法	教育委員会事務局担当課の内部資料による							
免除される試験科目	第一次選考試験 (一般教養・教職教養、集団面接、教育問題に関する討議等、志願する教科・科目の専門試験)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	5	3	3	0	1		12
	平成20年度採用者数(名)	5	3	2	0	1		11
	平成21年度受験者数(名)	3	2	1	1	0		7
	平成21年度採用者数(名)	3	2	1	1	0		7
	平成22年度受験者数(名)	2	1	0	1	0		4

徳島県

対象となる校種・教科	登載教科等	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	前年度採用候補者名簿に登載された者の中で、採用されていない者							
資格要件の確認方法	内定通知者名簿							
免除される試験科目	第1次審査免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	3	2	2	1			8
	平成21年度採用者数(名)	3	2	2	1			8
	平成22年度受験者数(名)	0	3	0	0			3

仙台市

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	採用候補者名簿登載者で、採用されなかった場合は、同一校種・教科(科目)を受験する場合に限り、次年度の教員採用候補者選考の第1次選考を免除する。							
資格要件の確認方法	前年度採用候補者登載名簿							
免除される試験科目	同一校種・教科(科目)を受験する場合に限り、第1次選考を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0

さいたま市

対象となる校種・教科	小・中・養教	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	50	歳以下				
資格要件	前年度の補欠者							
資格要件の確認方法	志願書による本人確認							
免除される試験科目	一次試験							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	6	10			1		17
	平成20年度採用者数(名)	1	6			0		7
	平成21年度受験者数(名)	1	9			1		11
	平成21年度採用者数(名)	1	2			1		4
	平成22年度受験者数(名)	7	8			1		16

浜松市

対象となる校種・教科	全校種	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	前年度試験において「採用候補者(補欠)」となった者							
資格要件の確認方法	名簿により確認							
免除される試験科目	1次試験全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	3	1					4

1(7)前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除

北海道

対象となる校種・教科	全学校種別、全教科(科目)	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39(高等学校、自立活動は49)	歳以下				
資格要件	前年度第一次(筆記)検査に合格し、登録にならなかった者で、一定水準の成績を取得した場合には、次年度選考検査で同一の受検区分、受検教科・科目及び採用希望区分で受検する場合に限り第一次検査を免除。							
資格要件の確認方法	前年度第一次(筆記)検査の成績							
免除される試験科目	第一次(筆記)検査							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況								合計
	平成22年度受験者数(名)			1	2		1	4

富山県

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	以下の条件①又は②のいずれかを満たす者 ①前年度または前々年度の第2次検査受検者で、本県での教職経験(臨時的任用講師、養護助教諭、週10時間以上の非常勤の講師もしくは養護助教諭)が通算12月以上 ②大学または大学院在籍中に、前年度の第2次検査受検者で、本県での教職経験(臨時的任用講師、養護助教諭、週10時間以上の非常勤の講師もしくは養護助教諭)が通算1月以上							
資格要件の確認方法	第1次検査一部免除調書と人事記録表等の写しを提出させている。							
免除される試験科目	第1次検査の教養Ⅰ、専門教科筆答検査Ⅰ、専門教科実技検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況								合計
	平成20年度受験者数(名)	21	21		3	5		50
	平成20年度採用者数(名)	9	11		2	2		24
	平成21年度受験者数(名)	31	30		5	3		69
	平成21年度採用者数(名)	16	16		2	2		36
	平成22年度受験者数(名)	32	31		6	0		69

滋賀県

対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	前年度第一次選考に合格し、第二次選考を有効に受験し不合格と判定された者のうち、平成20年9月1日から平成22年度滋賀県公立学校教員採用選考試験出願までの間に、本県の臨時講師として通算して1月以上の経験を有する者。ただし、免除できるのは、前年度合格した試験と同一の校種・職種・教科・科目を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	第一次選考合格後に、前年度第一次選考合格通知および勤務が確認できる辞令写しの提出							
免除される試験科目	一般教養・教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況								合計
	平成22年度受験者数(名)	44	26	6	9	7	0	92

京都府

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	平成21年度京都府公立学校教員採用選考試験第1次試験の一般教養を受験し、合格した方(第2次試験受験辞退者を除く。)*ただし、平成21年度試験において、受験した同一の選考区分、校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願書類と前年度データ(氏名、生年月日、試験合否等)により確認							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養と専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	101	44	47	13	6	2	213
	平成20年度採用者数(名)	44	14	10	8	2	2	80
	平成21年度受験者数(名)	73	47	38	14	11	2	185
	平成21年度採用者数(名)	20	9	9	6	5	2	51
	平成22年度受験者数(名)	73	34	41	18	8	2	176

大阪府

対象となる校種・教科	すべての校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	前年度採用選考について、第1次選考で合格と判定されたうえで、第2次選考を有効に受験し不合格と判定された人							
資格要件の確認方法	前年度決定通知書(不合格)の裏面に必要事項記入のうえ提出が必要。							
免除される試験科目	第1次選考の面接及び筆答テスト							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	314	252	135	15	28	-	744
	平成20年度採用者数(名)							373
	平成21年度受験者数(名)	327	277	184	25	19	0	832
	平成21年度採用者数(名)							290
	平成22年度受験者数(名)	331	239	182	15	24	4	795

兵庫県

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	平成20年度実施の本県教員採用試験において、第1次筆答試験を受験し第1次合格者に合格した者							
資格要件の確認方法	昨年度の合否資料							
免除される試験科目	第1次筆答試験							
免除された試験に代わり課される試験	教育に関するレポート提出に代えることができる							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	334	171	129	12	25	-	671
	平成20年度採用者数(名)	162	62	46	3	6	-	279
	平成21年度受験者数(名)	291	154	116	13	22	-	596
	平成21年度採用者数(名)	135	69	52	2	8	-	266
	平成22年度受験者数(名)	296	177	130	3	19	-	625

奈良県

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	次年度の第1次試験免除の通知を受けた者で、受験する校種等の普通免許状を所有する者 学校教育法第9条各号及び地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない者 県内どこにでも勤務できる者							
資格要件の確認方法	免許状・資格等のコピー提出							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験及び集団面接)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	68	23	3	6			100
	平成21年度採用者数(名)	37	9	0	4			50
	平成22年度受験者数(名)	53	44	7	6	2		112

和歌山県

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	前年度、本県教員採用検査の第二次検査を受検し、不合格となった者							
資格要件の確認方法	申請書(受験番号の確認)と前年度成績一覧							
免除される試験科目	第一次検査の筆答検査(一般教養)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	41	52	37	12	7		149
	平成20年度採用者数(名)	19	16	14	5	3		57
	平成21年度受験者数(名)	42	59	24	8	7		140
	平成21年度採用者数(名)	21	14	6	6	0		47
	平成22年度受験者数(名)	34	46	44	16	7		147

広島県

対象となる校種・教科	本年度募集の各職種、校種、教科、科目	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	昨年度、2次試験を受験した者で、本年度の選考試験を同一の職種、校種、教科、科目で受験する者							
資格要件の確認方法	昨年の受験番号と本人情報により確認							
免除される試験科目	1次試験のすべて							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	109	86	54	5	10		264
	平成21年度採用者数(名)	54	29	19	6	2		110
	平成22年度受験者数(名)	98	78	62	18	5		261

山口県

対象となる校種・教科	すべての校種・教科等	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	※	歳未満				
資格要件	前年度教員採用候補者選考試験第二次試験の不合格者のうち、総合評価ランクがAであるもの(同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)で志願する場合に限る。)							
資格要件の確認方法	昨年度の選考資料及び第二次試験における本人に宛てた発送文書で確認							
免除される試験科目	第一次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	24	19	12	0	3		58
	平成20年度採用者数(名)	15	7	5	0	1		28
	平成21年度受験者数(名)	17	11	7	0	2		37
	平成21年度採用者数(名)	10	3	5	0	1		19
	平成22年度受験者数(名)	15	16	12	2	3		48

※年齢制限については、出願資格を満たせば基本的年齢を超えている場合であっても受験を認める。

福岡県

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	前年度の第1次試験合格者で、前年度に受験した試験区分(高等学校教員については各設置者ごと)及び教科・科目と同一の試験を受験する場合							
資格要件の確認方法	県作成の対象者名簿で確認							
免除される試験科目	一次の教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	38	20	19		3		80
	平成21年度採用者数(名)	9	6	4		2		21
	平成22年度受験者数(名)	50	24	33		3		110

札幌市

対象となる校種・教科	全校種・全教科	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	小中特:39 高:49	歳以下				
資格要件	前年度の採用検査結果通知時に次年度の第1次検査を免除する旨通知があった者。(同一の受検区分、受検教科・科目及び採用希望区分で受検する場合に限る。)							
資格要件の確認方法	前年度(平成21年度(20年度実施))教員採用候補者選考検査の結果通知書の写しを出願時に提出。							
免除される試験科目	第1次検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	11	20		11	4		46

※高等学校については、北海道と共同登録のため、札幌市では計上しない。

京都市

対象となる校種・教科	募集を行う全区分(小, 中, 高, 総支, 養教)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	小:47 中・高・総支:44 養:34	歳以下				
資格要件	前年度第1次試験合格者であること。 (ただし, 第2次試験辞退者及び内定辞退者を除く)							
資格要件の確認方法	志願書提出時に昨年度第2次試験合格通知書の写しを提出							
免除される試験科目	第1次試験免除(ただし, 昨年度合格区分と同一区分のみを受験する場合)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	98	50	8		2		158
	平成20年度採用者数(名)	33	21	1		1		56
	平成21年度受験者数(名)	99	42	8		5		154
	平成21年度採用者数(名)	31	14	1		1		47
	平成22年度受験者数(名)	87	28	7		5		127

大阪市

対象となる校種・教科	全て	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	前年度第1次選考で「合格」と判定され、第2次選考で「不合格」と判定された人							
資格要件の確認方法	前年度第2次選考の結果通知書							
免除される試験科目	第1次選考							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	130	76	25	23	5	0	259
	平成20年度採用者数(名)	51	47	8	13	3	0	122
	平成21年度受験者数(名)	149	108	3	25	20	0	305
	平成21年度採用者数(名)	73	61	0	12	7	0	153
	平成22年度受験者数(名)							0

堺市

対象となる校種・教科	小学校・特別支援学校小学部、 中学校・特別支援学校中学部、 小学校・幼稚園共通	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成21年度大阪府・堺市公立学校教員採用選考テスト(以下、「H21テスト」という。)において、第1次選考で合格と判定(第1次選考免除の場合は除く。)されたうえで、第2次選考を有効に受験し、不合格と判定された人のうち、平成22年度堺市立学校教員採用選考試験の各選考区分の受験資格を有する場合は、H21テストにおいて受験された同一の選考区分及び校種等(教科)に出願する際に、所定の手続き(P.7『3. 出願方法等』参照。)を行うことにより、「一般選考」及び「身体障害者対象の選考」は一般・教職教養、「社会人経験者対象の選考」及び「講師等経験者対象の選考」は小論文が免除されます。 なお、H21テストの第2次選考を有効に受験しなかった場合又は第2次選考に合格した後、採用を辞退した場合は、一般・教職教養及び小論文の免除は受けられません。							
資格要件の確認方法	出願時に平成21年度大阪府・堺市公立学校教員採用選考テスト第2次選考結果通知書を提出							
免除される試験科目	一般選考及び身体障害者対象の選考は一般・教職教養が免除 社会人経験者対象の選考及び講師等経験者対象の選考は小論文が免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	57	36	-	小中に含む	3	0	99

広島市

対象となる校種・教科	本年度募集の各職種、校種、教科、科目	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	昨年度、2次試験を受験した者で、本年度の選考試験を同一の職種、校種、教科、科目で受験する者							
資格要件の確認方法	昨年の受験番号と本人情報により確認							
免除される試験科目	1次試験のすべて							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	109	86	54	5	10		264
	平成21年度採用者数(名)	54	29	19	6	2		110
	平成22年度受験者数(名)	98	78	62	18	5		261

福岡市

対象となる校種・教科	全校種、全教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	前年度実施した福岡市立教員採用候補者選考試験(一般選考)において、第1次試験に合格した人(受験する職種、校種、及び教科が同一の場合に限る。)							
資格要件の確認方法	本市での採用試験データと突合させて確認。							
免除される試験科目	第1次試験における教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	91	67		16	7		181
	平成20年度採用者数(名)	26	22		3	3		54
	平成21年度受験者数(名)	43	31		11	5		90
	平成21年度採用者数(名)	13	6		4	1		24
	平成22年度受験者数(名)	42	59		7	5		113

1(8)その他の資格や経歴等を持つことによる免除

北海道

対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校高等部の商業	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	①日商簿記検定1級合格者又は全経簿記検定上級合格者 ②税理士試験の財務諸表論又は簿記論科目合格者 ③公認会計士又は税理士の資格取得者							
資格要件の確認方法	資格証明書(開封無効)による確認、又は出願時に資格を証明できる書類の写しを提出した場合は第一次検査時に持参した当該資料の原本を確認。							
免除される試験科目	第一次検査:商業専門検査(I)							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			5				5
	平成20年度採用者数(名)			1				1
	平成21年度受験者数(名)			4				4
	平成21年度採用者数(名)			0				0
	平成22年度受験者数(名)			6				6

宮城県

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の正規職員(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く)にあり、平成21年4月1日現在において、5年以上継続して同一事業所(系列事業所も含む)に正規職員として勤務している者。							
資格要件の確認方法	第2次選考時における職歴証明書。							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	6	14	8		1		29
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0		0		0
	平成21年度受験者数(名)	6	10	8		0		24
	平成21年度採用者数(名)	0	1	0		0		1
	平成22年度受験者数(名)	6	6	7		0		19

東京都①

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	民間企業、官公庁、学校等において、平成21年3月31日までに、常勤の職としての勤務経験が、通算して5年以上、又は1つの職場で継続して3年以上ある者。ただし、勤務経験には休職等により勤務しなかった期間を含まない。							
資格要件の確認方法	名簿登載発表後に、受験資格に必要な職務経験を証明できる在職証明書等を提出する。							
免除される試験科目	第一次選考・択一免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							889
	平成20年度採用者数(名)							217
	平成21年度受験者数(名)							1278
	平成21年度採用者数(名)							270
	平成22年度受験者数(名)							1768

東京都②

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	前々年度名簿登載者							
資格要件の確認方法	名簿で確認							
免除される試験科目	第一次選考、第二次選考集団面接							
免除された試験に代わり課される試験	個人面接のみ別日程で実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							11
	平成20年度採用者数(名)							4
	平成21年度受験者数(名)							5
	平成21年度採用者数(名)							1
	平成22年度受験者数(名)							11

東京都③

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	関係教職課程を有する大学から推薦を受け、書類審査のうえ、所定の要件を満たした者							
資格要件の確認方法	推薦書							
免除される試験科目	第一次選考							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							185
	平成20年度採用者数(名)							95
	平成21年度受験者数(名)							190
	平成21年度採用者数(名)							85
	平成22年度受験者数(名)							333

福井県 (再掲:教職経験による免除)

対象となる校種・教科	すべての校種、教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、次のいずれかの条件に該当する者。①平成21年度教員採用試験2次選考受験者のうち、当該試験後に福井県内の学校(学校教育法第1条に規定する学校)において、講師等の勤務実績がある者。②現在教職大学院(専門職大学院設置基準に基づき設置された教職大学院)在学2年次の者で、平成20年度または平成21年度教員採用選考試験を受験し、そのうち直近の試験において第2次選考試験を受験し、専修免許状を平成22年3月31日までに取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	在職(在学)証明書または講師等経験を証明できる辞令(写し)の提出							
免除される試験科目	第1次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							398
	平成20年度採用者数(名)							63
	平成21年度受験者数(名)							416
	平成21年度採用者数(名)							90
	平成22年度受験者数(名)							328

岐阜県

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学級教諭	開始時期			本年度新規			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	現在岐阜大学教職大学院に在学中のもので、平成21年度末に修了見込みの者							
資格要件の確認方法	本人の申請による							
免除される試験科目	第1次試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	3						3

大阪府

対象となる校種・教科	すべての校種・教科	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度または平成21年度採用選考テストに合格後、大学院進学・在学を理由として申出書を大阪府教育委員会に提出し、採用を辞退していること。 平成21年度中に大学院修士課程を修了すること。 平成22年4月1日までにH20テストまたはH21テストで合格した校種教科の専修免許状が取得できること。							
資格要件の確認方法	辞退届け提出者に願書を送付							
免除される試験科目	第1次選考の面接及び筆答テスト 第2次選考の筆答テスト、実技テスト(対象教科のみ)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	7	8	3	0	0	-	18
	平成20年度採用者数(名)							17
	平成21年度受験者数(名)	9	6	3	5	0	0	23
	平成21年度採用者数(名)							21
	平成22年度受験者数(名)	14	11	8	0	1	0	34

兵庫県

対象となる校種・教科	高等学校・看護	開始時期			従来から			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	「高等学校・看護」の免許を有する者で、平成22年3月31日現在、休職、育児休業の期間を除き、国公立及び民間病院等において正規職員の看護師として5年以上の勤務経験を有する者(看護学校等の教官経験を含む)							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第1次筆答試験							
免除された試験に代わり課される試験	教育に関するレポート提出に代えることができる							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	-	-	0	-	-	-	0
	平成20年度採用者数(名)	-	-	0	-	-	-	0
	平成21年度受験者数(名)	-	-	0	-	-	-	0
	平成21年度採用者数(名)	-	-	0	-	-	-	0
	平成22年度受験者数(名)	-	-	0	-	-	-	0

沖縄県

対象となる校種・教科	中学理科、中学技術、高校水産	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		有				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	40	歳以下				
資格要件	志願する校種、教科に関する高度な専門的知識及び技能を有し、その分野で顕著な実績が有り、現時点において民間企業、官公庁等に正規職員として継続して5年以上勤務経験を有し、教員の職務を行うのに必要な素養と熱意がある者。勤務年数は、平成21年3月31日までに5年以上(休職、育休期間等を除く)有していること。							
資格要件の確認方法	○顕著な実績等を証明するもの(研究論文、賞状、新聞記事、資格証明書の写し等)							
免除される試験科目	一次試験(一般教養、教職教養、専門教科)							
免除された試験に代わり課される試験	社会人を対象とした選考課題作文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)		1	1				2

札幌市

対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校高等部の商業	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	特:39 高:49	歳以下				
資格要件	一般選考の受検資格を満たすこと。①日商簿記検定1級合格者又は全経簿記検定上級合格者②税理士試験の財務諸表論又は簿記論の科目合格者③公認会計士又は税理士の資格取得者							
資格要件の確認方法	該当実施団体の発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出。(写しを提出した場合は第1次検査時に原本確認をする。)							
免除される試験科目	第1次検査－商業専門検査(I)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)				1			1
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)				1			1
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0

※高等学校については、北海道と共同登録のため、札幌市では計上していない。

仙台市

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の正規職員(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く)にあり、平成21年4月1日現在において、5年以上継続して同一事業所(系列事業所も含む)に正規職員として勤務している者。							
資格要件の確認方法	第2次選考時における職歴証明書。							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験1において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	6	14	8		1		29
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0		0		0
	平成21年度受験者数(名)	6	10	8		0		24
	平成21年度採用者数(名)	0	1	0		0		1
	平成22年度受験者数(名)	6	6	7		0		19

名古屋市

対象となる校種・教科	小学校	開始時期		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	平成21年6月に、なごや教師養成塾卒塾見込の人							
資格要件の確認方法	卒業見込証明書							
免除される試験科目	総合教養 小論文 口述							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	64	0	0		0		64

京都市①

対象となる校種・教科	募集を行う全区分(小, 中, 高, 総支, 養教)	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	47	歳以下				
資格要件	平成21年3月31日現在, 同一の法人格を有する民間企業又は官公庁等で正社員又は正規職員として, 3年以上の勤務実績があること							
資格要件の確認方法	内定時に職歴証明書を提出							
免除される試験科目	一般・教職教養筆記試験							
免除された試験に代わり課される試験	論文試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	-	-	-	-	-	-	0
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	0
	平成21年度受験者数(名)	23	22	7		7		59
	平成21年度採用者数(名)	1				1		2
	平成22年度受験者数(名)	37	28	7	2	5		79

京都市②

対象となる校種・教科	中学校・数学, 中学校理科, 高等学校・数学	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	47	歳以下				
資格要件	平成21年3月31日現在, 博士号を取得している者							
資格要件の確認方法	志願書提出時に学位授与証明書を提出							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	個人面接, 論文試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	-	-	-	-	-	-	0
	平成20年度採用者数(名)	-	-	-	-	-	-	0
	平成21年度受験者数(名)			5				5
	平成21年度採用者数(名)			0				0
	平成22年度受験者数(名)		3	1				4

神戸市

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	開始時期		従来から				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	平成21年3月31日現在、法人格を有する同一の民間企業及び官公庁等において、正社員又は正規職員として継続して3年以上の勤務経験又は青年海外協力隊として2年以上の派遣経験を有する者。							
資格要件の確認方法	在職証明書等の提出							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)	13	3	0	0	4	0	20
	平成21年度受験者数(名)	111	135	0	0	39	0	285
	平成21年度採用者数(名)	9	5	0	0	1	0	15
	平成22年度受験者数(名)	61	82	0	0	28	3	174

1(9)特定の資格や経歴等を持つことによる加点制度

三重県

対象となる校種・教科	全校種・教科	開始時期				従来から		
資格要件	ア 要項に示した組み合わせの複数の教育職員免許状を有する人 イ 日常生活や学校現場に必要なポルトガル語またはスペイン語を理解し、特に口頭で表現できる人 ウ 中学校教諭または高等学校教諭の「英語」以外の受験者で要項に示した資格を有する人 エ スポーツで特に優れた実績をあげた人 オ 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭または特別支援学校教諭で司書教諭の資格を有する人 カ 養護教諭受験者で、看護師免許を現に有する人 キ 言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の資格を現に有する人							
資格要件の確認方法	申請時に資格を証明する書類の写しを提出(ア、ウ、エ、オ、カ、キ) 1次試験当日に原本確認(ウ、エ、カ、キ) 指定した日に面接試験を実施し確認(イ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							854
	平成20年度採用者数(名)							206
	平成21年度受験者数(名)							770
	平成21年度採用者数(名)							197
	平成22年度受験者数(名)							828

奈良県

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭	開始時期				従来から		
資格要件	①小学校または中学校を受験する者で、小学校及び中学校教諭普通免許状を共に有する者 ②中学校を受験する者で、中学校教諭の複数教科の教諭普通免許状を有する者、ただし、そのうちの音楽、美術、技術家庭とそれ以外の教科の免許状または音楽、美術、技術家庭における複数免許状のいずれかの免許状であること ③中・高英語以外を受験する者で、英検2級合格、TOEIC650点以上、TOEFLのPBT500点以上若しくはCBT173点以上、iBT61点以上取得のうちいずれかの資格を有する者 ④奈良県公立学校において、平成16年4月1日から平成21年3月31日までの5年間で通算36月以上常勤講師の経験がある者。							
資格要件の確認方法	免許状及び資格のコピーを提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	389	235	12	49			685
	平成20年度採用者数(名)	115	34	1	13			163
	平成21年度受験者数(名)	414	293	44	33	25		809
	平成21年度採用者数(名)	111	26	9	11	2		159
	平成22年度受験者数(名)	374	291	26	33	13		737

愛媛県

対象となる校種・教科	小(資格要件⑦以外)、中(⑥、⑦以外)、高(⑤、⑥以外)、特支(①、⑤、⑥、⑦以外)、養教(①～⑦以外)、栄教(①～⑦以外)	開始時期				従来から		
資格要件	①スポーツの分野(全国規模の大会出場以上)、②芸術・文化の分野(全国規模以上のコンクール・展覧会等で特に優秀な成績)、③高い英語力(英語検定1級合格者、TOEFL PBT600点以上、TOEIC 860点以上)、④司書教諭の有資格者、⑤特別支援学校教諭免許状取得者、⑥中学校外国語教諭又は高等学校外国語教諭、⑦情報の高等学校教諭免許状取得者、⑧青年海外協力隊派遣(2年間程度)、⑨臨床心理士の有資格者							
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しを提出させるとともに、試験当日に現物を確認する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	157	75	115		0	0	347
	平成20年度採用者数(名)	47	19	15	2	0	0	83
	平成21年度受験者数(名)	146	91	116	9	0	0	362
	平成21年度採用者数(名)	50	19	21		0	0	90
	平成22年度受験者数(名)	159	89	127		0	0	375

佐賀県

対象となる校種・教科	下記の資格要件参照(1の司書教諭のみ全校種・全教科)	開始時期	従来から					
資格要件	1 司書教諭の資格を有する者 2 小学校、中学校教諭等及び特別支援学校教諭等(小学部及び中学部)の受験者で小学校教諭と中学校教諭の免許状をともに有する者 3 中学校教諭等及び特別支援学校教諭等(中学部)の受験者で、中学校教諭の複数教科の免許を有する者 4 高等学校教諭等の受験者で、「福祉」又は「情報」の免許状を有する者(「家庭」については、「調理師」の免許状を有する者も対象とする) 5 高い英語力を有する者(実用英語検定1級又は準1級合格、TOEFL iBT92点以上、CBT237点以上又はPBT580点以上、TOEIC850点以上)							
資格要件の確認方法								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	194	89	51	5	-		339
	平成21年度採用者数(名)	45	9	9	0	-		63
平成22年度受験者数(名)	196	98	46	8	-		348	

2 特別選考

特別選考の種類	特別選考の実施														
	特別選考の実施状況	英語の資格による特別選考		スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考		社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)		教職経験による特別選考		国際貢献活動経験による特別選考		いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別選考		その他	
		134ページ参照	特免	140ページ参照	特免	151ページ参照	特免	167ページ参照	特免	180ページ参照	特免	186ページ参照	特免	188ページ参照	
1 北海道	○	○		○		○	○								
2 青森県	○	○	○	○	○	○	○								
3 岩手県	○	○		○	○	○	○							社会人特別選考(博士の学位を有する者)	○
4 宮城県															
5 秋田県	○	○	○	○	○	○	○							社会人特別選考(博士号所有者)	○
6 山形県	○	○				○	○								
7 福島県	○							○							
8 茨城県	○	—				—	—	○							
9 栃木県	○	○	○	○	○	○	○								
10 群馬県	○	○	○			○	○	○							
11 埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				情報処理に係る有資格者特別選考(高校) 家庭(科)に係る有資格者特別選考(高校) 特別支援教育に関する特別選考 教職大学院推薦特別選考試験	
12 千葉県	○													養護教諭特別選考	
13 東京都	○										○			調理師養成施設校における調理実習担当教員採用候補者特別選考	
14 神奈川県	○		○	○	○	○	○	○	○						
15 新潟県	○			○											
16 富山県	○	—	○			○	○	○	○					特別選考 特定資格	—
17 石川県	○	○	○			○	○	○							
18 福井県	○													大学院修士課程修了時特別選考	
19 山梨県	○		○	○				○							
20 長野県	○					○	○	○	○					発達障害児童生徒特別支援のための選考	
21 岐阜県	○		○	○											
22 静岡県	○	○						○						ポルトガル語・スペイン語が堪能な者を対象とした選考 博士号を取得した者を対象とした選考	○
23 愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)堪能者選考	
24 三重県	○	○		○		○	○	○							
25 滋賀県															
26 京都府	○	○		○	○	—	—				○			大学推薦特別選考	
27 大阪府	○					○	—	—	○					特別支援教育を推進するための選考	
28 兵庫県	○	○				○	○								
29 奈良県	○	○				○	○	○							
30 和歌山県	○	○		○	○										

		特別選考の実施														
特別選考の種類	特別選考の実施状況	英語の資格による特別選考		スポーツ・芸術での実績による特別選考		社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)		教職経験による特別選考		国際貢献活動経験による特別選考		いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別選考		その他		
		134ページ参照		140ページ参照		151ページ参照		167ページ参照		180ページ参照		186ページ参照		188ページ参照		
		特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	特免	
31 鳥取県	○			○												
32 島根県																
33 岡山県	○	○	○	○		○	○	○							特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]	
34 広島県	○							○								
35 山口県	○	○		○		○	○									
36 徳島県	○	○		○		○	○	○								
37 香川県	○	○				○	○	○							特別選考I④(実習助手)	
38 愛媛県																
39 高知県	○	○				○	○									
40 福岡県	○														平成22年度福岡県立学校工業教員採用候補者特別選考試験	
41 佐賀県	○			○		○										
42 長崎県	○	○		○		○	○									
43 熊本県	○		○													
44 大分県	○	○				○	○									
45 宮崎県	○			○		○										
46 鹿児島県	○														特別支援学校特別選考	
47 沖縄県																
48 札幌市	○	○		○		○	○									
49 仙台市																
50 さいたま市	○							○		○					小学校音楽専科特別選考 特別支援教育特別選考	
51 千葉市	○														養護教諭特別選考	
52 川崎市	○						○	○		○					大学推薦	
53 横浜市	○		○	○		○	○	○		○		○			特別選考V(大学推薦特別選考)	
54 新潟市	○			○		○	○	○								
55 静岡市	○							○								
56 浜松市	○														パイリンガル選考	
57 名古屋市																
58 京都市	○									○						
59 大阪市	○						○			○						
60 堺市	○						○	○		○					大学院進(在)学者対象の選考	
61 神戸市																
62 岡山市	○		○	○				○							特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]	
63 広島市	○							○								
64 北九州市	○							○								
65 福岡市	○			○		○		○		○					教職大学院修了者特別選考	
合計	57 (50)	24 (23)	15 (13)	2 (2)	26 (24)	4 (4)	33 (34)	21 (21)	27 (20)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	24 (15)	3 (2)

(注) 1 下線は前年度から変更のあった県市を表す。
2 () は前年度の数値である。

2(1) 英語の資格による特別選考

青森県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校 英語	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	50	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格に加え、 ①出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者 ②出願時に実用英語技能検定試験1級、TOEIC860点以上、TOEFL600点以上のいずれかの資格等を有する者 ③免許状を有しない場合は、5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること							
資格要件の確認方法	実用英語技能検定試験合格証明書、TOIECやTOEFLのスコアシートの写しを提出							
選考方法・試験内容	第一次試験: 個人面接 第二次試験: 面接(模擬授業・個人面接)、適性検査、小論文、実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			0				0
	平成21年度採用者数(名)			0				0
	平成22年度受験者数(名)			2				2

秋田県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	中学校教諭等・外国語(英語)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	32	歳以下			
資格要件	英語を母国語とする者で日本語による教科等の指導ができる者。または、長期留学経験者等、英語を母国語とする者と同じような環境で英語を学び、同等の指導ができる者							
資格要件の確認方法	志願書、所持資格の証明書							
選考方法・試験内容	第一次選考試験: 小論文、面接 第二次選考試験: 模擬授業、面接、適性検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)		4					4

栃木県

選考名称	英語の資格により一部試験を免除した選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	39	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、さらに、下記①～③のいずれかの資格を有する者。 ①TOEFL600点以上(CBT形式250点以上・iBT形式100点以上)取得者 ②TOEIC900点以上取得者 ③実用英語技能検定((財)日本英語協会)1級合格者 ※①②については平成17年4月1日以降に資格を得た者(今年度実施試験の場合)							
資格要件の確認方法	証明する書類の写しを提出させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	対象となった者については、第1次試験の学力試験のうち英語の専門科目を免除し、一般教養と面接のみを行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		1	5				6
	平成20年度採用者数(名)		1	0				1
	平成21年度受験者数(名)		0	6				6
	平成21年度採用者数(名)		0	2				2
	平成22年度受験者数(名)		1	9				10

群馬県

選考名称	英語科教員特別選考試験	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校及び高等学校の英語受験者	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFLPBT600点以上、CBT250点以上、iBT100点以上取得者又はTOEIC900点以上取得者(ただし、TOEFL及びTOEICについては、平成19年7月以降に取得している人)							
資格要件の確認方法	実用英語技能検定合格証の写し、TOEFL得点証明書またはTOEIC得点証明書を提出。							
選考方法・試験内容	「一般教養・教職に関する科目」のみ受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		3	4				7
	平成20年度採用者数(名)		1	2				3
	平成21年度受験者数(名)		2	3				5
	平成21年度採用者数(名)		1	1				2
	平成22年度受験者数(名)		2	4				6

埼玉県

選考名称	小学校得意特技特別選考(小学校) 英語に係る有資格者特別選考(高校)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校・高校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 50 歳以下					
資格要件	TOEIC730点以上、TOEFL550点以上、英語検定準1級以上等(小学校) 実用英語技能検定1級合格者、TOEFL PBT600点以上・CBT250点以上・iBT100点以上取得者、TOEIC 895点以上取得者のいずれかに該当する者。ただし、16年度選考以降、この特別選考を志願した者を除く。(高校)							
資格要件の確認方法	資格、免許状の写し							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち一般教養・教職科目のみ免除。他は一般選考と同様(小学校) 第1次試験を免除(高校)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			13				13
	平成20年度採用者数(名)			4				4
	平成21年度受験者数(名)	16		23				39
	平成21年度採用者数(名)	5		7				12
	平成22年度受験者数(名)	60		20				80

神奈川県

選考名称	英語資格所有者	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許を所有している人、又は、平成22年3月31日までに取得見込みの人で、TOEFL-PBT(ペーパー版TOEFL)550点以上、TOEFL-CBT(コンピュータ版TOEFL)213点以上、TOEFL-iBT(インターネット版TOEFL)79点以上、TOEIC(IPテストは除く)780点以上、または実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会)1級のいずれか1つのスコアや級の取得者							
資格要件の確認方法	資格の原本提示							
選考方法・試験内容	一次試験において筆記試験のうち専門教科試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		49	83				132
	平成20年度採用者数(名)		4	20				24
	平成21年度受験者数(名)		43	78				121
	平成21年度採用者数(名)		16	21				37
	平成22年度受験者数(名)		50	79				129

富山県

選考名称	特別選考 特定資格	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	受検種目・受験教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか平成22年3月31日までに取得見込みであり、以下の受検種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者。 全ての種目・・・臨床心理士、中高英語・・・TOEIC860点以上・TOEFL PBT600点以上 CBT250点以上・実用英語技能検定1級、理科(全科目)工業(薬業系)・・・薬剤師、中高情報・・・ソフトウェア開発技術者試験合格者等(他は実施要項参照)、中高工業(建築系)・・・1級建築士、特別支援教諭・・・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士							
資格要件の確認方法	出願時に要件をみたすことを証明する書類の写しを提出させている。							
選考方法・試験内容	1次検査・・・小論文、個人面接、集団面接 2次検査・・・教養、専門教科筆答検査、適性検査、個人面接、 選択実技検査(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		17		1			18
	平成20年度採用者数(名)		6		1			7
	平成21年度受験者数(名)	1	13		1			15
	平成21年度採用者数(名)	1	2					3
	平成22年度受験者数(名)	1	10					11

石川県

選考名称	英語に係る資格を有する英語受験者を対象とした選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中高 英語受験者	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	49	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格を全て満たす中学校教諭等及び高等学校教諭等の英語受験者のうち、平成19年4月1日以降に、次のいずれかを取得した者 ・実用英語技能検定 1級合格 ・TOEFL600点(iBT100点)以上 ・TOEIC900点以上							
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書と資格証明書の写しを提出し、試験初日には資格証明書の原本を提示							
選考方法・試験内容	一般選考の試験内容から、筆記試験における教科専門及び実技試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)		高に含む	3				3
	平成21年度採用者数(名)		1	1				2
	平成22年度受験者数(名)		高に含む	6				6

山梨県

選考名称	英語に関して特別な資格のある人を対象とした特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学英語 高校英語 特別支援学校中学部	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	TOEFL筆記テスト600点以上 iBT100点以上 TOEIC860点以上(平成19年7月以降のもの) 英検1級合格者であること。							
資格要件の確認方法	スコアや資格を証明する書類の写しを出願時に提出し、第二次検査日に実物を持参させ、確認する。							
選考方法・試験内容	第一次検査において、英語の専門教養検査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		0	0	0			0
	平成20年度採用者数(名)		0	0	0			0
	平成21年度受験者数(名)		1	3	0			4
	平成21年度採用者数(名)		1	1	0			2
	平成22年度受験者数(名)		3	3	0			6

岐阜県

選考名称	英語特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校教諭 英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 45 歳以下					
資格要件	高度の英語表現能力を有し、外国の社会・文化に造けいを有するもので、下記のいずれかの条件を満たすもの。 ・外国で5年以上の居住・活動経験を有する者 ・次のいずれかの検定試験で基準を満たす者(TOEIC860点以上 TOEFL600点以上(CBT250点以上)、文部科学省認定実用英語検定1級)							
資格要件の確認方法	・成績を証明するものを提出							
選考方法・試験内容	第1次試験の内、筆記試験を免除し代わりにスピーチ、ディスカッションによる口頭試験を行う 第2次試験は、一般受験者と同様に行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			11				11
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)			14				14
	平成21年度採用者数(名)			2				2
	平成22年度受験者数(名)			9				9

愛知県

選考名称	英語有資格者特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校・特別支援学校の英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 44 歳以下					
資格要件	次のいずれかの要件を満たすこと ア TOEFL(国際教育交換協議会)において、PBT580点以上又はiBT92点以上(平成19年7月以降の得点とする) イ TOEIC((財)国際ビジネスコミュニケーション協会)において、860点以上(平成19年7月以降の得点とする) ウ 実用英語検定((財)日本英語検定協会)1級							
資格要件の確認方法	出願資格を満たすことを証明する書類として、主催団体が発行する公式認定書又は合格証明書(いずれも原本にかぎる)を出願時に提出する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)		16	25	0			41

岡山県

選考名称	特別選考A[スポーツの実績・英語の資格による特別選考]	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の「英語」	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	39	歳以下			
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)中学校・高等学校の「英語」の志願者で、実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、又はTOEFL(国際教育交換協議会)600点以上(平成19年7月12日以降に受験した者。なお、Internet-basedで受験した者については、100点以上)取得者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び実施団体の発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写しを提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、実施団体の発行する資格証明書(開封無効)又は写しの原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		1	6				7
	平成20年度採用者数(名)		1	1				2
	平成21年度受験者数(名)		3	4				7
	平成21年度採用者数(名)		0	1				1
	平成22年度受験者数(名)		0	4				4

熊本県

選考名称	小学校A区分	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校教諭等	特別免許状の活用	無					
募集人員	採用予定数を明示する	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に) 11名		満	39	歳以下			
資格要件	小学校教諭の普通免許状と中学校教諭の英語または高等学校教諭の英語の普通免許状を現に所有している者または平成22年3月31日に取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	志願書、受考者カードで確認							
選考方法・試験内容	小学校教諭等の考查内容に加えて、一次考查に実技等(筆記、スピーキング、リスニング)を実施している。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	38						38
	平成20年度採用者数(名)	10						10
	平成21年度受験者数(名)	44						44
	平成21年度採用者数(名)	10						10
	平成22年度受験者数(名)	43						43

横浜市

選考名称	特別選考Ⅰ(スポーツ・学芸・英語力等特別選考)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	<p>受験資格を満たし、英語資格検定で、特別に優秀な実績を持つ人及びこれに準じる人。 実績・資格は、平成11年4月1日以降のもの。 英語資格検定については、次のいずれかに該当するもの。 a 小学校受験者 実用英語技能検定1級、TOEIC800点以上、TOEFL(PBT)550(CBT)213(iBT)79点以上 b 小学校受験者以外 実用英語技能検定1級、TOEIC900点以上、TOEFL(PBT)600(CBT)250(iBT)100点以上</p>							
資格要件の確認方法	実績の内容を客観的に示す書類の写し(成績証明書、認定証など)							
選考方法・試験内容	<p>実績の内容を客観的に示す書類の写し(成績証明書、認定証など)と、論作文「あなたが特別選考Ⅰに応募した経歴を、これからの教育活動にどのように生かしたいと考えますか。3つの具体的な実践案を述べなさい。」(1,200字以内)を申込時に提出。書類選考の結果、相当と認められた人は、特別選考Ⅰ合格者として一般教養・教職専門試験及び教科専門試験を免除。選考の結果は受験票の発送をもって通知。特別選考Ⅰに合格しなかった人は、一般選考第一次試験を受験することができる。</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	13	61	-	0	0	-	74
	平成20年度採用者数(名)	6	6	-	0	0	-	12
	平成21年度受験者数(名)	9	48	-	1	0	-	58
	平成21年度採用者数(名)	2	11	-	1	0	-	14
	平成22年度受験者数(名)	20	31	-	0	0	-	51

岡山市

選考名称	特別選考A[スポーツの実績・英語の資格による特別選考]	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校 英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	39	歳以下			
資格要件	<p>次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)中学校・高等学校の「英語」の志願者で、実用英語技能検定((財)日本英語検定協会)1級合格者、又はTOEFL(国際教育交換協議会)600点以上(平成19年7月12日以降に受験した者。なお、Internet-basedで受験した者については、100点以上)取得者。</p>							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び実施団体の発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写しを提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、実施団体の発行する資格証明書(開封無効)又は写しの原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)		0					0

2(2)スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考

北海道

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	養護教諭及び栄養教諭を除く	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	39(高等学校、自立活動は49)	歳以下			
資格要件	①スポーツの分野において、国際的規模の競技会に日本代表として出場した者又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた者 ②音楽、美術等の芸術の分野において、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者又は全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を収めた者 ③その他上記に準ずる程度の顕著な活動経験又は技能を有する者で、その経験等が児童生徒への教育効果の面で特に期待できるもの							
資格要件の確認方法	出願時に新聞記事、表彰状等の証明できる資料の写しを提出した場合は第二次検査時に持参した当該資料の原本を確認。							
選考方法・試験内容	第一次検査は免除。第二次検査は一般選考の受検者と同様に実施するが、技能・実績の内容に密接に関連する実技検査については免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	1	2	2	1			6
	平成20年度採用者数(名)	1		1	1			3
	平成21年度受験者数(名)		1	2				3
	平成21年度採用者数(名)		1	1				2
	平成22年度受験者数(名)		3	4				7

青森県

選考名称	スポーツ特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	50	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格に加え、スポーツの分野において、平成16年4月1日以降、国際的又は全国的規模の大会で、特別に優秀な実績を有する者							
資格要件の確認方法	賞状や新聞記事の写し、団体競技の場合はメンバー表等の写しを提出							
選考方法・試験内容	(1)書類審査、(2)面接審査、(3)最終選考(第二次試験と同じ内容(ただし、小学校受験者は体育実技を、中高保健体育受験者は実技試験の全部を免除する。))							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	1	3	8	1	0		13
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成21年度受験者数(名)	1	2	8	1	0		12
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成22年度受験者数(名)	2	3	8	0	0		13

岩手県

選考名称	スポーツ特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 44 歳以下					
資格要件	国民体育大会正式競技において、国際大会又は全国大会で、優秀な実績を有する者、又はその指導者。							
資格要件の確認方法	実績を証明する表彰状や新聞記事等の写しを提出。							
選考方法・試験内容	書類審査の結果選考された者について、面接試験(口頭試問を含む。)及び適性検査を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		17	41				58
	平成20年度採用者数(名)		1	1				2
	平成21年度受験者数(名)		12	34				46
	平成21年度採用者数(名)		0	0				0
	平成22年度受験者数(名)			22				22

秋田県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校教諭等・保健体育	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 49 歳以下					
資格要件	高等学校卒業後に、国際レベルの大会(オリンピック、世界選手権等)に日本代表として出場した者							
資格要件の確認方法	志願書、在職証明書、実績証明書、所持資格の証明書の写し							
選考方法・試験内容	第一次選考試験:総合教養、小論文、面接 第二次選考試験:模擬授業、小論文、面接、適性検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			4				4
	平成21年度採用者数(名)			1				1
	平成22年度受験者数(名)			3				3

栃木県

選考名称	スポーツの実績により一部試験を免除した選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の保健体育	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、さらにスポーツの世界大会レベルの競技大会に日本代表として出場した者、及び全国的な規模の大会(大学生以上)において特に優秀な成績を収めた者							
資格要件の確認方法	大会の成績調書及び大会要項、実績を証明できるものを提出させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	対象となった者については、1次試験の学力試験のうち、専門科目、及び実技試験を免除し、一般教養に関する試験と面接のみを行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		8	6				14
	平成20年度採用者数(名)		0	0				0
	平成21年度受験者数(名)		0	8				8
	平成21年度採用者数(名)		0	0				0
	平成22年度受験者数(名)		2	10				12

埼玉県

選考名称	小学校得意特技特別選考(小学校)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 50 歳以下					
資格要件	体育分野…剣道四段以上、柔道四段等 音楽分野…グレード検定4級以上等							
資格要件の確認方法	資格、免許状の写し							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち一般教養・教職科目のみ免除。他は一般選考と同様(小学校)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	40						40
	平成21年度採用者数(名)	13						13
	平成22年度受験者数(名)	70						70

神奈川県

選考名称	スポーツ・芸術実績者	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校(音楽、美術、保健体育)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下					
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人、又は、平成21年3月31日までに取得見込みの人で、国際的又は全国的規模の競技会、コンクール、展覧会等において特別優秀な実績(高等学校以降)があり、学校教育活動に活かされると神奈川県教育委員会が認める人							
資格要件の確認方法	賞状、新聞記事等の提示							
選考方法・試験内容	一次試験において筆記試験を免除し、論文を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		14	15				29
	平成20年度採用者数(名)		6	5				11
	平成21年度受験者数(名)		10	25				35
	平成21年度採用者数(名)		2	8				10
	平成22年度受験者数(名)		25	47				72

新潟県

選考名称	新潟県教員採用におけるスポーツ・芸術特別選考制度	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・養護・栄養 各教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	教育職員免許状等の教員採用における資格を満たしており、次のいずれかを満たす者 ア スポーツの分野において、世界大会レベル競技会出場経験があり、優秀な成績をおさめた者 イ 美術、音楽、演劇等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等において優秀な成績をおさめた者							
資格要件の確認方法	受験者本人の申し出による書類選考(表彰状、競技会の結果報告書、競技団体等の証明書等を含む)							
選考方法・試験内容	・応募者の出願書類の書類選考により、選ばれた者について面接を行い、審査を経て選考する。 ・出願の期間は設けず、随時募集する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	0	0	0		0		0
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0		0		0
	平成21年度受験者数(名)	0	0	0		0	0	0
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0		0	0	0
	平成22年度受験者数(名)	0	0	0		0	0	0

山梨県

選考名称	スポーツ実績による特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校保健体育 高校保健体育 特別支援学校中等部	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	世界大会レベルのスポーツの競技会に日本代表として出場した者。または、全国的な規模の大会で特に優秀な成績を収めた者。							
資格要件の確認方法	実績を証明する書類(賞状等)の写しを出願時に提出し、第二次検査日に実物を持参させ、確認する。							
選考方法・試験内容	第一次検査において、保健体育の専門教養検査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		2	7	0			9
	平成20年度採用者数(名)		0	2	0			2
	平成21年度受験者数(名)		0	8	0			8
	平成21年度採用者数(名)		0	3	0			3
	平成22年度受験者数(名)		1	6	0			7

岐阜県

選考名称	スポーツ特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校教諭(保健体育)高等学校教諭(保健体育)	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 45 歳以下					
資格要件	・高等学校卒業後に、スポーツの分野で、国際レベルの大会に日本代表として出場した者、又は全国レベルの大会でベスト4以上の成績を収めた者							
資格要件の確認方法	・実績調書とその根拠となる資料(賞状など)を提出させ、判定会議を実施する							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆記試験を免除し、面接試験のみを行う。2次試験は一般受験者と同様に実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		4	16				20
	平成20年度採用者数(名)		1	3				4
	平成21年度受験者数(名)		6	19				25
	平成21年度採用者数(名)		3	5				8
	平成22年度受験者数(名)		8	21				29

愛知県

選考名称	芸術(音楽・芸術)・スポーツ特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	44	歳以下			
資格要件	芸術(音楽・芸術)の分野又はスポーツの分野において次の要件を満たすこと ア 芸術分野 音楽又は美術の分野において、次のいずれかに該当する人(小・中学校における実績は除く) ① 国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた人 ② 全国レベルのコンクール、展覧会等で特に優秀な成績を収めた人 イ スポーツ分野 スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人(小・中学校における実績は除く) ① 国際規模の競技会等に日本代表として出場した人(オリンピック大会、世界選手権大会等、競技的内容をもつ世界レベルのスポーツ大会に日本代表として出場した人) ② 全国規模の競技会等において特に優秀な成績を収めた人(文部科学省、(財)日本体育協会又はその加盟団体の主催する全国規模の大会において登録選手として出場し、団体競技3位以内、個人競技8位以内の成績を収めた人)							
資格要件の確認方法	「芸術(音楽・美術)・スポーツ特別選考申告書」に実績を証明する書類(特別選考の出願資格を確認できる、賞状の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等)を添付して提出する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	22	67	80	12	2	0	183

三重県

選考名称	スポーツ特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校または高等学校教諭「保健体育」	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	29	歳以下			
資格要件	一般選考の申込資格(年齢要件を除く)を満たし、かつ高等学校卒業以後、次のいずれかの条件に該当する人 (1) オリンピック大会や世界選手権等、国際レベルの競技会で日本代表として試合に出場した人 (2) 国民体育大会や全日本選手権等、全国レベルの大会で試合に出場し、3位以上の成績を収めた人							
資格要件の確認方法	特別選考の対象になるか否かは、提出された書類をもとに審査する。							
選考方法・試験内容	(1) 特別選考の対象となった人は、第1次選考試験の筆答試験(専門)を免除する。他の筆答試験(教養)、集団面接は一般選考と同様に受験する。 (2) 第1次選考試験の合格者は、一般選考と同様、第2次選考試験のすべてを受験する。 (3) 書類審査でスポーツ特別選考の対象とならなかった人は一般選考として受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		6	7				13
	平成20年度採用者数(名)		3	3				6
	平成21年度受験者数(名)		2	8				10
	平成21年度採用者数(名)		0	0				0
	平成22年度受験者数(名)		5	9				14

京都府

選考名称	スペシャリスト特別選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	高等学校・保健体育		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	10名以内						
資格要件	①保健体育の分野における高度の専門的な知識・経験又は技能を有する方 ②選手として、国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた方 ③特別免許状の授与条件を満たす方							
資格要件の確認方法	志願書類として競技成績が確認できる書類(表彰状写し等)を提出させて確認している。							
選考方法・試験内容	第1次試験 … 小論文、個人面接(一般教養と専門教科を免除) 第2次試験 … 個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			3				3
	平成21年度採用者数(名)			2				2
平成22年度受験者数(名)			4				4	

和歌山県

選考名称	芸術・スポーツ特別選考		開始時期		本年度新規			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
								満
資格要件	芸術分野 : 音楽、美術、書道等の芸術分野で国際的又は全国規模のコンクール等において上位入賞するなど、優秀な実績を有する者又はその指導者であること。 スポーツ分野 : 国際大会に日本代表として出場した者又はその指導者であること。全国規模の大会で特に優秀な成績を収めた者又はその指導者であること。							
資格要件の確認方法	実績等を証明する書類							
選考方法・試験内容	教員免許状を持たない者(選考A)、芸術・スポーツ以外の教員免許状を有する者(選考B)、芸術・保健体育の教員免許状を有する者(選考C) 選考A (一次:校種・教科専門、作文、面接、二次:実技、論文、面接) 選考B(一次:校種・教科専門、作文、面接 二次:実技、論文、面接) 選考C (一次:作文、面接、 二次:実技、論文、面接)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	1	13	24	0	0		38

鳥取県

選考名称	スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	中学校・高等学校教諭、選考試験を実施するすべての教科・科目		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
								満
資格要件	受験資格を満たす者の内、高等学校卒業後にスポーツの分野で国際的な大会に日本代表として出場した者又は全国的な大会でベスト4以上に入賞した者並びに芸術の分野で国際的又は全国的なコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者							
資格要件の確認方法	実績内容を客観的に示す書類							
選考方法・試験内容	選考方法:スポーツ・芸術の分野での実績に応じて加点 試験内容:他の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)		4	25				29
	平成21年度採用者数(名)		0	0				0
平成22年度受験者数(名)		4	15				19	

岡山県

選考名称	特別選考A[スポーツの実績・英語の資格による特別選考]	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の「保健体育」	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)中学校・高等学校の「保健体育」の志願者で、平成18年4月1日以降、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場し、8位以上の成績を取った者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書(開封無効)を提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、競技団体の発行する成績証明書(開封無効)又は写しの原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		3	3				6
	平成20年度採用者数(名)		1	0				1
	平成21年度受験者数(名)		0	0				0
	平成21年度採用者数(名)		0	0				0
	平成22年度受験者数(名)		1	0				1

山口県

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校の保健体育、音楽、技術 高等学校の保健体育、芸術	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 34 歳以下					
資格要件	次の①又は②に該当する者で、かつ教員の職務を行うの必要な素養と熱意を有するもの ①スポーツの分野において、オリンピックや世界選手権等の国際的な大会に日本代表として出場した者、又は日本選手権等の全国的な大会でトップレベルの選手が参加する競技において、団体戦、個人戦ともに原則として、ベスト4以内に入賞し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者。ただし、団体戦の場合には、正選手であった者 ②芸術の分野において、国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めている者、又は全国的なコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めている者							
資格要件の確認方法	競技歴や入賞した大会・コンクール等の正式名称、主催者、開催年月日、開催場所、成績等(種目、階級、賞の種類)を記載したものを作成し提出。 また、実績が確認できる賞状や新聞記事、団体戦の場合にはメンバー表等の写しを提出。							
選考方法・試験内容	第一次試験:面接試験A、面接試験B 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接Ⅱ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		6	13				19
	平成20年度採用者数(名)		4	3				7
	平成21年度受験者数(名)		7	21				28
	平成21年度採用者数(名)		5	4				9
	平成22年度受験者数(名)		3	11				14

徳島県

選考名称	スポーツ特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	すべての校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	日本選手権大会又はこれに準ずる全国レベルの大会，個人種目：8位以内に入賞したもの，団体種目：4位以内に入賞（登録選手のみ）							
資格要件の確認方法	実績等の概要及び現在の活動状況をまとめたものと大会要項，実績を証明できるもの。（たとえば，表彰状，新聞記事等の写しなど。）							
選考方法・試験内容	第1次審査免除，第2次審査は一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	1	30	3				34
	平成20年度採用者数(名)	0	2	0				2
	平成21年度受験者数(名)	1	33	3				37
	平成21年度採用者数(名)	0	2	0				2
	平成22年度受験者数(名)	2	36	6				44

※中・高等学校教諭は、中に含む。

佐賀県

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下					
資格要件	スポーツ・芸術の分野において下記に次に示す「特に秀でた技能・実績」を有する者。 1 スポーツの分野において、世界レベルの競技会（国内大会を除く）で優秀な成績を収めた者 2 美術・音楽等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等（国内コンクールを除く）で優秀な成績を収めた者							
資格要件の確認方法	大会等の新聞記事、賞状等、実績を証明するもの（実績調書）を提出させ、事務局で照合し確認を行う。							
選考方法・試験内容	一次選考…書類選考 二次選考…小論文、適性検査、面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成21年度受験者数(名)	0	1	1	0	0		2
	平成21年度採用者数(名)	0	1	0	0	0		1
	平成22年度受験者数(名)	0	0	0	0	0		0

長崎県

選考名称	スポーツ指導者特別採用選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名 (具体的に) 採用予定数の1割以内	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 44 歳以下					
資格要件	平成14年4月1日以降平成21年5月31日までにおいて、国際レベルの大会（オリンピック大会、アジア大会等）に日本代表として出場した選手の指導者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた選手の指導者。							
資格要件の確認方法	指導者と指導した選手の要件にかかる関係を明らかにする書類（大会要項の写し、賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書等）							
選考方法・試験内容	1次試験の教職・一般教養を免除する以外は、一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			3				3
	平成21年度採用者数(名)			0				0
	平成22年度受験者数(名)			1				1

宮崎県

選考名称	スポーツ・芸術の分野に係る特別選考試験	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	59	歳以下			
資格要件	○ スポーツ・芸術の分野において特に秀でた技能・実績を有する人(条件) ・ スポーツ(22年度はソフトボール)の分野において、大学等に在学中又は社会人として、全国レベルの大会以上の競技会で優秀な成績を収めた人(指導者を含む) ・ 美術、音楽、演劇等の芸術の分野において、大学等に在学中又は社会人として、世界レベルのコンクール、全国レベルの展覧会等において優秀な成績を収めた人(指導者を含む)							
資格要件の確認方法	スポーツ・芸術特別選考の技能・実績調書、ほか参考資料							
選考方法・試験内容	論文及び面接。合格者は一般試験の合格者と共に2次試験を受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)			1				1
	平成21年度受験者数(名)		1	6	1			8
	平成21年度採用者数(名)				1			1
	平成22年度受験者数(名)			2				2

札幌市

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科(ただし養護教諭を除く)	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	小中特:39	高:49			歳以下
資格要件	①スポーツの分野において、国際的規模の競技会に日本代表として出場した者又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた者 ②音楽、美術等の芸術の分野において、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な実績を収めた者又は全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を収めた者 ③その他上記に準ずる程度の顕著な活動経験又は技能を有する者で、その経験等が児童生徒への教育効果の面で特に期待できるもの							
資格要件の確認方法	「自己推薦書」に顕著な技能・実績等の概要及び現在の活動状況を記入し、新聞記事、表彰状等の証明になる資料の写しを出願時に提出する。特別選考対象者として決定された者は第二次検査の会場に当該資料の原本を持参する。							
選考方法・試験内容	①申請のあった志願者について出願書類により、対象者を決定し、一次検査を免除。 ②第二次検査は一般選考の受検者と同様に実施するが、技能・実績の内容に密接に関連する実技検査については免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		3					3
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)		2					2
	平成21年度採用者数(名)		1					1
	平成22年度受験者数(名)							0

横浜市

選考名称	特別選考Ⅰ(スポーツ・学芸・英語力等特別選考)	開始時期	従来から						
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ						
			満	59	歳以下				
資格要件	受験資格を満たし、スポーツ・学芸・学芸等の分野において、国際的又は全国的規模の大会等(競技会・コンクール・展覧会等)で、特別に優秀な実績・資格を持つ人及びこれに準じる人実績・資格は、平成11年4月1日以降のもの。指導者としての実績は対象外。スポーツに係る実績については、加盟競技団体等として財団法人日本体育協会に承認を受けている種目であり、かつ、当該実績内容が横浜市公立学校における部活動指導等の学校教育活動に資すると認められる種目の実績。								
資格要件の確認方法	実績・資格の内容を客観的に示す書類の写し(例:表彰状・新聞・雑誌記事・認定証など)								
選考方法・試験内容	実績・資格の内容を客観的に示す書類の写し(例:表彰状・新聞・雑誌記事・認定証など)と、論作文「あなたが特別選考Ⅰに応募した経歴を、これからの教育活動にどのように生かしたいと考えますか。3つの具体的な実践案を述べなさい。」(1,200字以内)を申込時に提出。書類選考の結果、相当と認められた人は、特別選考Ⅰ合格者として一般教養・教職専門試験及び教科専門試験を免除。選考の結果は受験票の発送をもって通知。特別選考Ⅰに合格しなかった人は、一般選考第一次試験を受験することができる。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度受験者数(名)	55	156	-	3	5	-	219	
	平成20年度採用者数(名)	4	15	-	0	0	-	19	
	平成21年度受験者数(名)	27	82	-	1	3	-	113	
	平成21年度採用者数(名)	4	6	-	0	1	-	11	
	平成22年度受験者数(名)	16	82	-	2	0	-	100	

新潟市

選考名称	スペシャリスト特別選考	開始時期	従来から						
対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教諭	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ						
	(具体的に)		満	59	歳以下				
資格要件	スポーツの分野において、世界大会レベルの競技会出場経験があり、優秀な成績を収めた人。音楽、演劇等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール等において優秀な成績を収めた人。								
資格要件の確認方法	実績の内容を客観的に示す書類の写し(表彰状・新聞・雑誌記事・認定証など)、団体競技の場合には、本人が特定できる書類を提出。								
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(Ⅰ・Ⅱ)を免除。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度受験者数(名)	0	0			0		0	
	平成20年度採用者数(名)	0	0			0		0	
	平成21年度受験者数(名)	0	0			0		0	
	平成21年度採用者数(名)	0	0			0		0	
	平成22年度受験者数(名)	0	1			0		1	

岡山市

選考名称	特別選考A[スポーツの実績・英語の資格による特別選考]	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校 保健体育	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	39	歳以下			
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)中学校・高等学校の「保健体育」の志願者で、平成18年4月1日以降、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場し、8位以上の成績を取った者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書(開封無効)を提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、競技団体の発行する成績証明書(開封無効)又は写しの原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
			1					1

福岡市

選考名称	スポーツ・芸術特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校及び特別支援学校中学部の保健体育、音楽	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	40	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、かつ次の①または②のいずれかの要件を満たす者 ①スポーツ：国際的規模の競技会に日本代表として出場した人、又は日本選手権大会、これに準ずる全国的規模の競技会で特に優秀な成績を取った人(高校生以下のみを対象とした競技会、大会等を除く) ②芸術：音楽の分野において国際レベルのコンクール等で優秀な成績を取った人、又は全国レベルのコンクール等で特に優秀な成績を取った人(高校生以下のみを対象とした競技会、大会等を除く)							
資格要件の確認方法	実績を客観的に証明できるものを提出させる(志願書提出と同時に提出)							
選考方法・試験内容	選考は一般選考と別枠で行う。 試験内容は、第1次試験で一般教養・論文を実施。第2次試験では一般選考と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)		8					8
	平成21年度採用者数(名)		3					3
			10					10

※受験者数は、書類選考で特別選考での受験を認めた者の数。

2(3) 社会人特別選考(民間企業等経験による特別選考)

北海道

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校(工業、商業、英語、看護、水産)又は特別支援学校自立活動(視覚障害教育、肢体不自由教育)	特別免許状の活用	有					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	49	歳以下			
資格要件	<p>上記対象となる教科の教育職員免許状を有しない者で、教科に関する専門的知識や技能(資格)を有し、実務経験のある者</p> <p>1 高等学校の募集する教科又は自立活動に関する専門的知識や技能(資格)を有する者</p> <p>2 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者</p> <p>3 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者</p>							
資格要件の確認方法	実務経験に係る職歴証明書及び証明機関の発行する資格(技能)証明書(開封無効)による確認、又は出願時に資格(技能)を証明できる書類の写しを提出した場合は第一次検査時に持参した当該資料の原本を確認。							
選考方法・試験内容	第一次検査の専門検査を免除(英語の場合は、第二次検査の実技検査を含む。)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			6	3			9
	平成20年度採用者数(名)			4				4
	平成21年度受験者数(名)			4	4			8
	平成21年度採用者数(名)			1				1
	平成22年度受験者数(名)			4	3			7

青森県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校英語、水産(海洋生産)、水産(水産工学)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	50	歳以下			
資格要件	<p>一般選考の受験資格に加え、</p> <p>①出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者</p> <p>②出願時に以下の資格等を有する者</p> <p>英語:実用英語技能検定試験1級、TOEIC860点以上、TOEFL600点以上のいずれか</p> <p>水産(海洋生産):二級海技士(航海)の海技免状</p> <p>水産(水産工学):二級海技士(機関)の海技免状</p> <p>③免許状を有しない場合は、上記に加え、</p> <p>英語:5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること</p> <p>水産:5年間以上漁船又は商船の乗船履歴を有すること</p>							
資格要件の確認方法	実用英語技能検定試験合格証明書、TOIECやTOEFLのスコアシート、二級海技士の海技免状の写しを提出							
選考方法・試験内容	<p>第一次試験:個人面接</p> <p>第二次試験:面接(模擬授業・個人面接)、適性検査、小論文、実技試験(英語のみ)</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			1				1
	平成21年度採用者数(名)			1				1
	平成22年度受験者数(名)			2				2

岩手県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校:数学、物理、工業(機械、電気)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 44 歳以下					
資格要件	民間企業等の従事者で、同一企業等で3年以上の勤務経験がある者、又は博士の学位を有する者で、数学・物理・工業(機械・電気)に関する高度な専門的知識や技能を有する者。							
資格要件の確認方法	高度の専門的な知識又は技能を修得したことを証明できるものを提出。例えば、勤務先の所属長等による推薦書、取得している資格、論文等。							
選考方法・試験内容	書類審査の結果選考された者について、面接試験(口頭試問を含む。)及び適性検査を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		0	0				0
	平成20年度採用者数(名)		0	0				0
	平成21年度受験者数(名)		1	17				18
	平成22年度受験者数(名)		0	2				2

秋田県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校教諭等・外国語	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 49 歳以下					
資格要件	英語、韓国朝鮮語、中国語、ロシア語について専門的知識及び技能を有し、民間企業・官公庁等での該当言語を使用した実務経験が10年以上であり、かつ、英語の場合は次のいずれかの資格を有する者 ・実用英語技能検定1級合格者 ・通訳検定2級合格者 ・TOEIC900点以上 ・TOEFL(PBT)600点以上 ・TOEFL(CBT)250点以上							
資格要件の確認方法	志願書、在職証明書、実績証明書、所持資格の証明書の写し							
選考方法・試験内容	第一次選考試験:総合教養、小論文、面接 第二次選考試験:模擬授業、小論文、面接、適性検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			6				6
	平成22年度受験者数(名)			0				0

山形県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校英語、高校英語・電気・機械・看護・福祉、特別支援学校中学部英語	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	免許状を所持する者又は取得見込みの者(看護を除く。)で、志望する教科・科目と関連する実務経験(学校教育に直接携わる業務を除く。)を5年以上継続して有する者又は有する見込みの者							
資格要件の確認方法	免許状の写し又は免許状取得見込証明書及び履歴書の提出							
選考方法・試験内容	教職教養・一般教養の代わりに、小論文を課す。それ以外は、一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		2	12				14
	平成20年度採用者数(名)		1	3				4
	平成21年度受験者数(名)			5				5
	平成22年度受験者数(名)			1				1

栃木県

選考名称	特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	高等学校の福祉	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	44	歳以下			
資格要件	次の各号すべてに該当する者 ア 昭和40年4月2日以降に生まれた者 イ 介護福祉資格を有し、介護福祉士として5年以上の実務経験のある者、または、看護師等(医師・保健師・助産師及び看護師)の資格を有し、看護師等として5年以上の実務経験のある者(実務経験は平成22年3月31日までに公立学校以外の事業所に常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。) ウ 採用後、介護福祉士及び看護師資格のうち有していない資格に代わる講習の受講及び県が指定する実務研修の受講が可能な者。 エ 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者。							
資格要件の確認方法	介護福祉士または看護師等の資格取得を証明する書類(写し可)及び5年以上の実務経験を証明する書類(A4版様式自由)を提出させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、第1次試験の学力試験のうち一般教養試験を免除し、集団面接の代わりに個人面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)			35				35

群馬県

選考名称	社会人特別選考試験	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教員	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	49	歳以下			
資格要件	次の(1)~(3)のすべてに該当する人 (1) 昭和35年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた人 ただし、高等学校の農業、工業、商業に出願する人は、昭和35年4月2日から昭和55年4月1日までに生まれた人 (2) 平成22年3月31日までに、正規職員として、同一の民間企業又は官公庁等(ただし、いずれも教育に関する事業を除く。)に継続して5年以上勤務した経験があり、出願する教科等に関する高度の専門的な知識若しくは技能又は勤務経験等を通して身に付けた優れた経営的能力を有する人 (3) 年齢を除き、受験する種別の出願資格を満たしている人 ただし、高等学校の農業、工業、商業に出願する人については、特別免許状の取得条件を満たす人。							
資格要件の確認方法	出願時に、資格証明書、論文が掲載された学術誌、表彰状の写しなどを添付した人は、資格確認のため、第1次選考の当日にその原本を持参し、試験会場で係員が確認する。							
選考方法・試験内容	第1次選考のうち筆記試験の「教科教育法に関する科目(小)」、「教科に関する科目(中・高)」、「特別支援教育に関する科目(特支)」又は「養護に関する科目(養)」のみの受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	1	1	2				4
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0				0
	平成21年度受験者数(名)	2	2	10	2	0		16
	平成21年度採用者数(名)	0	0	1	0	0		1
	平成22年度受験者数(名)	2	4	21	1	1		29

※高等学校(農業・工業・商業)に出願する者の年齢制限は、30歳以上49歳以下。その他の社会人特別選考受験者の年齢制限は、40歳以上49歳以下。

埼玉県

選考名称	社会人特別選考(高校・H22年度採用は「看護」「自立活動」、H21・20年度採用は「看護」)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高校	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 50 歳以下					
資格要件	<p>○看護を希望する者のうち、次のア、イ、ウの要件をすべて満たす者。</p> <p>ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。</p> <p>イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。</p> <p>ウ 次の①または②のいずれかの経験を有し、その勤務経験により看護に関する専門的な知識経験又は技能を有すると認められ、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者。</p> <p>①国公立及び民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む)として通算5年以上の勤務経歴</p> <p>②国公立及び民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む)として通算3年以上の経験を有し、かつ、看護に関する教職としての経験を通算して5年以上の勤務経歴</p> <p>○自立活動を希望する者のうち、次のア、イ、ウの要件を全て満たす者。</p> <p>ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。</p> <p>イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。</p> <p>ウ 国公立及び民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む)として通算3年以上の勤務経験を有し、その勤務経験により自立活動に関する専門的な知識経験又は技能を有すると認められ、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者。</p> <p>※勤務期間については、志願する日までに常勤または常勤に準ずる職員として勤務した期間をもって通算するものとする。</p>							
資格要件の確認方法	経験期間を証明する書類							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			7				7
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)			2				2
	平成21年度採用者数(名)			1				1
	平成22年度受験者数(名)			10				10

神奈川県

選考名称	社会人経験者 ア	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種等・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下					
資格要件	<p>受験する校種等・教科の教員普通免許を所有している人、又は、平成22年3月31日までに取得見込みの人で、法人格を有する民間企業、官公庁(神奈川県教育委員会を除く)等で常勤社員・職員(教員を除く)として平成14年4月1日から平成21年3月31日までの7年間に通算5年以上の勤務経験</p>							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。第2次試験合格後、職歴証明の提出。							
選考方法・試験内容	一次試験において一般教養・教職教養試験を免除し、論文を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	44	62	93				199
	平成20年度採用者数(名)	6	4	5				15
	平成21年度受験者数(名)	31	56	92	23	6		208
	平成21年度採用者数(名)	4	2	11	2			19
	平成22年度受験者数(名)	49	62	113	15	7		246

※実施状況については、国際貢献活動経験による特別選考(社会人経験者イ)の数も含まれる。

富山県

選考名称	特別選考 社会人経験		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	「社会人経験」「教職経験」を合わせて10名程度			満	59	歳以下	
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか平成22年3月31日までに取得見込みであり、法人格を有する同一の民間企業、官公庁等において正社員又は正規職員として、平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に継続して5年以上の勤務経験を有する者。							
資格要件の確認方法	第2次検査の結果通知後、任用候補者名簿に登載された者のみに在職・勤務証明書等を提出させる。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、個人面接、集団面接 2次検査…教養、専門教科筆答検査、適性検査、個人面接、 選択実技検査(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	25	44		3	2		74
	平成20年度採用者数(名)	10	3					13
	平成21年度受験者数(名)	20	42		4	3		69
	平成21年度採用者数(名)	6	9			1		16
	平成22年度受験者数(名)	10	41		2			53

※中高の人数を中の欄に記載。

石川県

選考名称	教育職員普通免許状(看護)を有しない看護受験者を対象とした選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	高 看護受験者		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
					満	49	歳以下	
資格要件	一般選考の受験資格(教員免許に関する条件を除く)を満たす中学校教諭等及び高等学校教諭等の看護受験者のうち、看護師免許証を有し、かつ、看護師、保健師又は助産師として、平成21年3月31日現在、5年以上業務に従事した者							
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書と看護師免許証の写しを提出し、採用候補者となった者は、受験資格に該当する職歴証明を提出							
選考方法・試験内容	一般選考の試験内容と同じとする							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			0				0
	平成21年度採用者数(名)			0				0
	平成22年度受験者数(名)			5				5

長野県

選考名称	民間企業等経験者を対象とした選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・高校		特別免許状の活用		無			
募集人員	その他		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	民間企業等経験者全体で採用予定者の1割程度			満	59	歳以下	
資格要件	民間企業・教職以外の公務員・NPO等の経験が平成22年3月31日までで3年以上ある者							
資格要件の確認方法	履歴書(小・中・特支)又は申込書の履歴欄(高)の記入による							
選考方法・試験内容	筆記試験(専門)、小論文、面接(集団・個人―複数回実施)、教科により実技あり なお、筆記試験(一般教養)は免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	44	72	66	7	11		200
	平成20年度採用者数(名)	3	0	4	1	0		8
	平成21年度受験者数(名)	31	55	39	9	12		146
	平成21年度採用者数(名)	2	2	1	1	1		7
	平成22年度受験者数(名)	22	46	54	6	10		138

愛知県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校と中学校の全教科 高等学校の数学・理科・工業 高等学校の看護 高等学校の福祉	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	44	歳以下			
資格要件	<p>ア 「小学校」及び「中学校」の受験区分 「一般選考」の受験資格に加えて、次の(ア)又は(イ)の要件を満たすことが必要。 (ア) 出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成21年4月1日現在において、常勤の職として通算して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 (イ) 青年海外協力隊として、平成16年4月1日から平成21年3月31日までの5年間に於いて、2年以上の派遣実績を有する人。</p> <p>イ 「高等学校」の受験区分 次の(ア)から(ウ)に示す教科について、それぞれの要件を満たすことが必要。 (ア) 「高等学校・数学」、「高等学校・理科」及び「高等学校・工業」 「一般選考」の受験資格に加えて、次の要件を満たすことが必要。ただし、免許状については下の※参照。 出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成21年4月1日現在において、常勤の職として通算して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 (イ) 「高等学校・看護」(看護師・看護教員経験者) 「一般選考」の受験資格に加えて、次の要件をすべて満たすことが必要。ただし、免許状については下の※参照。 a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ看護師免許を所有する人。 b 次の①又は②の勤務実績を有する人。 ① 出願時に、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)又は、看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)において教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成21年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)として通算5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 ② 出願時に、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)又は看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成21年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(保健師、助産師を含む。)として通算3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)、かつ、看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手を含む。)として通算5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 (ウ) 「高等学校・福祉」(介護福祉士・福祉教員経験者) 「一般選考」の受験資格に加えて、次の要件をすべて満たすことが必要。ただし、免許状については下の※参照。 a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ介護福祉士の資格を有する人。 b 出願時に、社会福祉施設において常勤の介護福祉士又は介護福祉士養成機関(福祉科を設置する高等学校を含む。)の教員(福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成21年4月1日現在において、常勤の介護福祉士として通算5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。</p> <p>※ 特別免許状について 高等学校の受験区分の社会人特別選考においては、出願時点で受験区分・教科に対応する普通免許状を所有しなくても受験できる、合格した後、その教科の特別免許状の申請をし、取得することが必要。</p>							
資格要件の確認方法	「社会人特別選考申告書」に証明書類を添付する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験は論文試験と口述試験を行う。第2次試験は、「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	45	67	18				130
	平成20年度採用者数(名)	10	7	3				20
	平成21年度受験者数(名)	39	71	20				130
	平成21年度採用者数(名)	6	12	0				18
	平成22年度受験者数(名)	28	47	24				99

三重県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	[I]教育職員免許状を有しない人は、高等学校教諭「福祉」 [II]申し込む校種・教科等に応じた教育職員免許状を有する人は、全校種・教科	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	[I]: 基本的年齢制限と異なる [II]: 基本的年齢制限と同じ					
			満	[I]: 59	[II]: 39	歳以下		
資格要件	[I]教育職員免許状を有しない人(高等学校教諭「福祉」)については、次の(1)～(6) [II]申し込む校種・教科等に応じた教育職員免許状を有する人については、次の(1)～(4) (1)学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当しない人 (2)[I]は昭和25年4月2日以降に生まれた人、[II]は昭和45年4月2日以降に生まれた人 (3)申込時に勤務している民間企業・官公庁等(国公立私立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等において教育に従事する人を除く)に継続して5年以上常勤の職として従事している人 (4)社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている人 (5)勤務経験により、福祉に関する専門的な知識経験または技能を有する人 (6)介護福祉士の資格を現に有する人							
資格要件の確認方法	申請時に在職を証明する書類、履歴書を提出する。 [I]教育職員免許状を有しない人(高等学校教諭「福祉」)については、介護福祉士登録証の写しも上記書類と合わせて提出し、1次試験当日に原本確認。							
選考方法・試験内容	(1)特別選考の対象となるか否かは、提出された書類をもとに審査する。 (2)第1次選考試験の「筆答試験(教養)」を「小論文」に代えて実施する。 他の「筆答試験(専門)」、集団面接は一般選考と同様に受験する。 (3)第1次選考試験の合格者は、一般選考と同様、第2次選考試験のすべてを受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	0	0	0	0			0
	平成20年度採用者数(名)	0	0	0	0			0
	平成21年度受験者数(名)	1	2	2	0			5
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0			0
	平成22年度受験者数(名)	3	3	6	0			12

大阪府

選考名称	社会人経験者対象の選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全ての校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	45	歳以下			
資格要件	法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験が平成11年4月1日から平成21年3月31日までに通算5年以上あること。 勤務経験には、独立法人国際協力機構法に規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができる。ただし、「教育学習支援業」における勤務期間は含まない。							
資格要件の確認方法	出願時は、願書により確認。合格後は、在職証明書提出にて確認。							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ(1次:面接、択一式テスト、2次:面接、筆答テスト、実技テスト(対象教科のみ))							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	72	127	91	10	20	-	320
	平成20年度採用者数(名)							31
	平成21年度受験者数(名)	49	77	86	12	19	4	247
	平成21年度採用者数(名)							19
	平成22年度受験者数(名)	40	51	79	6	11	4	191

兵庫県

選考名称	特別免許状授与を前提とした社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校・看護	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	45	歳以下			
資格要件	「高等学校・看護」の免許を有する者で、平成22年3月31日現在、休職、育児休業の期間を除き、国公立及び民間病院等において正規職員の看護師として5年以上の勤務経験を有する者（看護学校等の教官経験を含む）							
資格要件の確認方法	職歴証明書（任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要）							
選考方法・試験内容	一般の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	-	-	5	-	-	-	5
	平成20年度採用者数(名)	-	-	2	-	-	-	2
	平成21年度受験者数(名)	-	-	2	-	-	-	2
	平成21年度採用者数(名)	-	-	1	-	-	-	1
	平成22年度受験者数(名)	-	-	4	-	-	-	4

奈良県

選考名称	社会人を対象とした特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校農業、高等学校工業(機械)・(建築)、特別支援学校自立活動	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	49	歳以下			
資格要件	教諭普通免許状の有無は問わない。 高等学校農業、高等学校工業(機械)・(建築)を志望する人は、3年以上の実務経験を有する人。特別支援学校自立活動(肢体不自由教育)を志望する人は、看護師免許取得後、3年以上の実務経験を有する人。							
資格要件の確認方法	在職・勤務証明書の提出							
選考方法・試験内容	教職教養試験に替えて、個人面接を実施。その他は一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			6				6
	平成20年度採用者数(名)			3				3
	平成21年度受験者数(名)			12				12
	平成21年度採用者数(名)			2				2
	平成22年度受験者数(名)			8				8

岡山県

選考名称	特別選考D[社会人を対象とした特別選考(高等学校・工業(電気, デザイン), 看護)]	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校の「工業(電気, デザイン)」 高等学校の「看護」	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 44 歳以下					
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。ただし、志望する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は取得見込みでない者も出願することができる。 (イ)次のいずれかの要件を満たす者。 ①高等学校の「工業(電気, デザイン)」の志願者で、民間企業、官公庁(教職以外)において、出願する教科(科目)と関連する5年以上の職務経験を有し、かつ出願する教科(科目)に関する高度の専門的な知識・技能を有する者。※「職務経験」の期間とは、常勤(パートタイム労働者、アルバイトは除く。)として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。 ②高等学校の「看護」の志願者で、看護師免許証を有し、かつ看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)として5年以上の実務経験を有する者。							
資格要件の確認方法	①高等学校の「工業(電気, デザイン)」の志願者については、出願時に、特別選考調書を提出させるとともに、出願する教科(科目)に関する高度の専門的な知識・技能を有していることを証明できるもの(証明機関の発行する資格(技能)証明書(開封無効)又は資格(技能)を証明できる書類の写し)があれば提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、証明機関の発行する資格(技能)証明書(開封無効)又は写しの原本を持参させる。 ②高等学校の「看護」の志願者については、出願時に、特別選考調書及び看護師免許証の写しを提出させる。ただし、第1次試験の面接時に、写しの原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)			9				9
	平成21年度採用者数(名)			2				2
				15				15

山口県①

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校並びに中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 39 歳以下					
資格要件	現に(出願時点で)民間企業等に5年以上継続勤務する者で、その勤務経験により、出願する校種・教科(科目等)に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められ、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの							
資格要件の確認方法	志願書類等							
選考方法・試験内容	第一次試験:面接試験A、面接試験B 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接Ⅱ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		8	12				20
	平成20年度採用者数(名)		0	0				0
	平成21年度受験者数(名)	2	7	5				14
	平成21年度採用者数(名)	1	0	0				1
		2	4	11				17

山口県②

選考名称	看護科・理療科教諭特別選考		開始時期		従来から				
対象となる校種・教科	高等学校・看護科、特別支援学校・理療科		特別免許状の活用		有				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)	平成22年度特別支援学校理療1名程度			満	39	歳以下		
資格要件	次の①又は②に該当する者 ①高等学校又は特別支援学校の受験教科の教諭の普通免許状を有する者 ②当該普通免許状の取得又は取得見込みはないが、次に示す実務経験等を有し、その実務経験により出願する教科に関する専門的な知識経験又は技術を有すると認められ、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者・看護科教諭の志願者にあつては、看護師免許証を有し、出願時点で、看護師、保健師又は助産師として5年以上の実務経験を有する者・理療科教諭の志願書にあつては、あん摩マッサージ指圧師免許証、はり師免許証及びきゆう師免許証をすべて有し、出願時点で、あん摩マッサージ指圧師、はり師又はきゆう師として通算5年以上の実務経験								
資格要件の確認方法	志願書類等								
選考方法・試験内容	第一次試験：面接試験A、面接試験B 第二次試験：適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接Ⅱ								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)				6	1			7
	平成20年度採用者数(名)				2	1			3
	平成21年度受験者数(名)				3	0			3
	平成21年度採用者数(名)				1	0			1
	平成22年度受験者数(名)					0			0

徳島県

選考名称	社会人を対象として選考		開始時期		従来から				
対象となる校種・教科	すべての校種・教科		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
					満	49	歳以下		
資格要件	民間企業等(ただし、教育に関する事業を除く)で平成21年3月末現在、通算して5年以上勤務し、その勤務経験により、出願する教科等に関する高度な専門的知識又は技能を有する者。また、高等学校教諭の農業、工業、商業、又は看護に出願を希望する者のうち、特別免許状の取得条件を満たす者。								
資格要件の確認方法	勤務先の所属長等による推薦書、取得している資格、勤務に関連して執筆し、学術雑誌等に掲載した論文、など								
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除、特別選考面接審査あり、他は一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)				7		1		8
	平成20年度採用者数(名)				2				2
	平成21年度受験者数(名)				11		1		12
	平成21年度採用者数(名)				1		1		2
	平成22年度受験者数(名)		1	6	8	2			17

※中・高等学校教諭は、中に含む。

香川県

選考名称	特別選考 I ①	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	中学校、高等学校及び特別支援学校	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 49 歳以下					
資格要件	中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭志願者のうち民間企業等(教育の事業を除く。)において通算3年以上の勤務経験を有する者で、その勤務経験により、出願する教科・科目等に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められ、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者。							
資格要件の確認方法	第2次選考試験の際に、出願教科・科目に関連する勤務先の所属長等による推薦書を提出させる。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		8	11	1			20
	平成20年度採用者数(名)		0	1	0			1
	平成21年度受験者数(名)		3	15	1			19
	平成21年度採用者数(名)		1	1	0			2
	平成22年度受験者数(名)		5	10	1			16

高知県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校「工業」(電気・電子)(機械)(建築) 高等学校「水産」(機関) 高等学校「看護」	特別免許状の活用	有					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 49 歳以下					
資格要件	高等学校「工業」:平成22年3月31日現在で出願する教科科目と関する職務経験が通算10年以上ある人。 高等学校「水産」:平成22年3月31日現在で出願する教科科目と関する職務経験が通算10年以上ある人。(ただし、3級海技士(機関)の免許を有し、出願する教科科目と関する職務経験が通算7年以上ある人。 高等学校「看護」:平成22年3月31日現在で、看護師又は保健師のいずれかの免許を有し、病院等における職務経験が通算5年以上ある人。							
資格要件の確認方法	出願時に実績調書の提出を求め、確認。							
選考方法・試験内容	第1次審査筆記審査のうち、教職・一般教養を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			21				21
	平成20年度採用者数(名)			3				3
	平成21年度受験者数(名)			2				2
	平成21年度採用者数(名)			0				0
	平成22年度受験者数(名)			4				4

佐賀県

選考名称	社会人特別選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	中学校(理科、英語、保健体育、技術、家庭) 高等学校(理科(物理・生物)、英語、保健体育、 家庭、農業(食品化学)、工業(機械、建築))		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下			
資格要件	選考試験科目教科(科目)について、特に秀でた知識・技能を有する者で、官公庁、法人格を有する民間企業(教職以外)において、一つの職場で正社員又は正規職員として5年以上の勤務経験があり(平成21年3月31日現在)、かつ教員としての職務を行うのに必要な資質と熱意を有する者。							
資格要件の確認方法	取得資格や実績を証明するものを提出させ、事務局で照合し確認を行う							
選考方法・試験内容	第一次試験における一般・教職教養試験を免除する。第一次試験における他の試験や実技等及び第二次試験については、原則一般選考と同様に行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)	0	0	1	0	0		1
	平成21年度受験者数(名)	0	0	3	0	0		3
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
平成22年度受験者数(名)	0	1	3	0	0		4	

長崎県

選考名称	社会人特別採用選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	募集する全ての校種・教科		特別免許状の活用		有			
募集人員	若干名	(具体的に) 採用予定数の1割以内	年齢制限		基本的年齢制限と異なる 満 44 歳以下			
資格要件	民間企業等(私立の小・中・高・特別支援学校を除く)において、平成14年4月1日以降平成21年5月31日までに、通算5年以上の勤務経験を有する者。ただし、高等学校看護教諭志願者においては、学校等の教育機関での実務経験も勤務経験とみなす。							
資格要件の確認方法	第2次選考の合格者には、職歴確認のため就職証明書の提出を求める。							
選考方法・試験内容	1次試験の教職・一般教養を免除する以外は、一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	5	9	8	6	4		32
	平成20年度採用者数(名)	1		1	1			3
	平成21年度受験者数(名)	9	13	10	7	2		41
	平成21年度採用者数(名)			1				1
平成22年度受験者数(名)	8	9	15	9	3		44	

大分県

選考名称	特別選考Ⅱ(社会人特別選考)		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	小・中		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)	2名			満	49	歳以下	
資格要件	(1) 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者 (2) 県内のどこにでも赴任できる者 ※(1)(2)は一般選考と共通 (3) 次のア又はイに該当する者 ア 志望種別に応ずる教諭普通免許状を現に有している者又は平成22年3月31日までに取得見込みの者 イ 継続的な社会教育等の研究・活動経験を有する者で、上記アに準ずると認められるもの (4) 昭和35年4月2日以降に生まれた者 (5) 民間企業・官公庁等において常勤の職(国公立学校・学習塾・予備校等の教育職を除く。)として平成21年6月1日現在5年以上継続して勤務している者							
資格要件の確認方法	上記(5)については、最終合格者に、勤務先が発行する在職証明書の提出を求める。							
選考方法・試験内容	第1次試験の教養試験及び専門試験に代えて、小論文を実施する。(他は一般選考と同様)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	3	6					9
	平成21年度採用者数(名)		2					2
	平成22年度受験者数(名)	4	6					10

宮崎県

選考名称	社会人を対象とした特別選考試験		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	特別支援学校教諭等(知的他)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
					満	59	歳以下	
資格要件	現に民間企業(私立学校・学習塾・予備校等を除く)・官公庁等に正規職員として継続して5年以上勤務経験を有する人で、その勤務経験により「特別支援教育教諭等(知的他)」に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている人							
資格要件の確認方法	平成22年度社会人を対象とした特別選考申請書(※必要に応じて、実績を証明する書類)							
選考方法・試験内容	論文及び面接。合格者は一般試験の合格者と共に2次試験を受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)				1			1
	平成21年度採用者数(名)				1			1
	平成22年度受験者数(名)				3			3

札幌市

選考名称	特別免許状の取得を前提とした社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校(工業、商業、英語、看護、水産) 特別支援学校自立活動(視覚障害教育、肢体不自由教育)	特別免許状の活用	有					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	49	歳以下			
資格要件	①昭和35年4月2日以降に生まれた者②高等学校の募集する教科又は自立活動に関する専門的な知識や技能(資格)を有する者③社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者④教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者							
資格要件の確認方法	申請のあった志願者について、証明機関の発行する資格(技能)証明書及び実務経験に係る職歴証明書等により確認							
選考方法・試験内容	第1次検査の専門検査を免除(英語の場合は実技検査を含む。)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0

※高等学校については、北海道と共同登録のため、札幌市では計上していない。

川崎市

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員特別選考)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	59	歳以下			
資格要件	昭和25年4月2日以降に出生した人で、民間企業又は官公庁等において常勤社員、職員として、平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に通算3年以上勤務した経験(国公立学校の教員経験を除く)を有し(休職期間等勤務実態がない期間を除く)、必要とする職歴証明を提出できる人。地方公務員法第16条及び学校教育法第9条に該当しない人。免許の所持必要。							
資格要件の確認方法	任命権者の証明した職歴証明書による。							
選考方法・試験内容	1次試験 小論文・教科専門試験(筆記)・集団面接 2次試験 小論文・場面指導・個人面接 (ただし実技試験のある科目は実技試験も)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	10	22	3		1		36
	平成20年度採用者数(名)	3	4			1		8
	平成21年度受験者数(名)	26	43			7		76
	平成21年度採用者数(名)	7	3			1		11
	平成22年度受験者数(名)	36	39	10		7		92

※実施状況については、国際貢献活動経験による特別選考の数も含まれている。

横浜市

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員特別選考)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	受験資格を満たし、法人格を有する同一の民間企業の正社員又は同一の官公庁等の正規職員としての継続勤務歴が、平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に5年以上(受験区分が中学校数学及び理科の場合は3年以上)の人で、必要とする職歴証明書を期限までに提出できる人							
資格要件の確認方法	職歴証明書または在職証明書の提出							
選考方法・試験内容	一次試験の内容が、①指導案作成60分 ②論文試験60分 になる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	65	57	-	8	2	-	132
	平成20年度採用者数(名)	15	17	-	3	1	-	36
	平成21年度受験者数(名)	39	79	-	3	7	-	128
	平成21年度採用者数(名)	8	4	-	1	0	-	13
	平成22年度受験者数(名)	43	110	-	7	7	-	167

※平成20年度の実施状況は、民間企業等経験及び国際貢献活動の合計数である。

新潟市

選考名称	スペシャリスト特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	受検資格を満たしている人で、民間企業、官公庁、大学又は研究機関等の正規職員として、5年以上(原則1か所)の勤務経験がある人。							
資格要件の確認方法	職歴証明書のほかに、実績を証明する文書の提出による。							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	2	7			0		9
	平成20年度採用者数(名)	0	3			0		3
	平成21年度受験者数(名)	1	4			1		6
	平成21年度採用者数(名)	1				1		2
	平成22年度受験者数(名)	1	3			0		4

大阪市

選考名称	社会人経験者等対象選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全て	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 45 歳以下					
資格要件	平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に、法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員または正規職員としての勤務経験が通算5年以上ある人。または、平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に、独立行政法人国際機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験が通算5年以上ある人。							
資格要件の確認方法	第2次選考後に、合格者のみ在职・勤務証明書で確認する。							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	13	32	10	2	5	0	62
	平成20年度採用者数(名)	4	5	1	0	0	0	10
	平成21年度受験者数(名)	17	24	5	12	6	0	64
	平成21年度採用者数(名)	6	0	0	3	1	0	10
	平成22年度受験者数(名)	25	19	5	13	8	1	71

堺市

選考名称	社会人経験者対象の選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校・特別支援小学部、中学校・特別支援中学部 小学校・幼稚園共通、養護教諭、栄養教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験※1が平成11年4月1日から平成21年3月31日までに通算して5年以上(休職期間等勤務実態がない期間は含まない。)あること。 なお、勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法(平成14年法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができます(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく活動経験を含む。)							
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。 選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出。							
選考方法・試験内容	小論文・専門教養(実技含む)・面接(集団討論・個人面接)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	32	42	-	小中に含む	3	5	82

福岡市

選考名称	社会人等特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種, 全教科(高等学校を除く)	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	40	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、かつ平成11年4月1日～平成21年5月31日の間に法人格を有する同一の民間企業の正社員、又は同一の官公庁等の正規職員として、継続して5年以上の勤務経験がある人。							
資格要件の確認方法	職歴証明書を提出させる(第2次試験の合格者のみ)							
選考方法・試験内容	選考は一般選考と別枠で行うが、選考区分は「(5)国際貢献活動経験による特別選考」と同一枠で募集。 試験内容は、第1次試験で一般教養・論文を実施。第2次試験では一般選考と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	10	19		2	3		34
	平成21年度採用者数(名)	0	2		1	0		3
	平成22年度受験者数(名)	8	24		2	2		36

2(4)教職経験による特別選考

福島県

選考名称	特別選考Ⅰ(教職経験者特別選考)		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
					満	49	歳以下	
資格要件	教諭(臨時的任用によらない採用者)として現職にある者又は教諭として1年以上の教職経験のある者。免許状の所有等は一般選考に同じ。							
資格要件の確認方法	職歴証明							
選考方法・試験内容	一次:出願書類、小論文、筆答試験等(学習指導案作成・模擬授業等。実技試験を含む)、個人面接。二次:模擬授業等、小論文、個人面接、集団面接及び適性検査。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	11	9	20	4	2		46
	平成20年度採用者数(名)	1	1	1	1	0		4
	平成21年度受験者数(名)	14	15	22	12	4		67
	平成21年度採用者数(名)	3	1	4	2	0		10
	平成22年度受験者数(名)	18	8	28	13	5		72

茨城県

選考名称	講師経験者特別選考		開始時期		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校、中学校(国語・数学・理科・英語) 高等学校(農業、工業)、特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	小学校18名程度 中学校12名程度 (国語、数学、理科、英語 各3) 高等学校 2名程度 (農業、工業各1) 特別支援学校 4名程度			満	39	歳以下	
資格要件	受験する学校種において、本県内の臨時的任用講師(非常勤は除く)として勤務し、かつ直近5年で36月以上の勤務経験を有すること							
資格要件の確認方法	出願時に提出される最終勤務校の校長や教育事務所長が証明した志願校種勤務実績証明書による							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、対象となった者は特別選考単願希望者のみ、第1次試験のうち一般教養・教職専門の試験を免除。一般選考との併願希望者は、すべて受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	97	47	22	38			204

群馬県①

選考名称	現職教員特別選考試験		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	小・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
					満	39	歳以下	
資格要件	出願する校種と同じ校種の国公立学校の正規教員として現に勤務し、平成21年3月31日現在、休職及び育児休業の期間を除き、3年以上在職する人							
資格要件の確認方法	自己申告による							
選考方法・試験内容	第1次選考のうち「一般教養・教職に関する科目」を免除し、「教科教育法に関する科目(小)」 「教科に関する科目(中・高)」 「特別支援教育に関する科目(特支)」 「養護に関する科目(養)」、「実技(中・高)」及び「小論文」の受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	15	7	6	3	0		31
	平成21年度採用者数(名)	9	6	3	1	0		19
	平成22年度受験者数(名)	17	2	4	2	1		26

群馬県②

選考名称	臨時的任用教員経験者特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教員	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	39	歳以下			
資格要件	平成16年4月1日から平成21年3月31日までの間に群馬県の公立学校で臨時的任用教員として、36か月以上勤務した経験を有する人 ただし、 ア 臨時的任用教員とは、欠員地公臨、産・育休補助教員等であり、非常勤講師等(さくらプラン非常勤講師、わかばプラン非常勤講師、マイタウンティーチャー等)は該当しない。 イ 経験月数の数え方は、発令期間が1月の中に1日でも存在すれば当該月は経験月とする。 ウ 経験期間は連続している必要はない。また、異校種の経験を合算することができる。							
資格要件の確認方法	出願時に要項Ⅲ2(1)の提出書類に加え、経験月数を証明する辞令の写し(無い場合は在職証明書)を提出する。							
選考方法・試験内容	第1次選考のうち「一般教養・教職に関する科目」を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	64	94	89	16	17		280

埼玉県

選考名称	経験者特別選考(小、中、養護教員)、臨時的任用教員経験者特別選考(全志願区分:小、中、高、養護教員)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高校、養護教員	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	59	歳以下			
資格要件	本採用教員としての教職歴が平成21年3月31日現在通算3年以上(経験者特別選考)埼玉県内の公立学校(さいたま市立小・中・特別支援学校(小・中学部)を除く)及び同県内国立大学法人が設置する学校における常勤の臨時的任用教員経験が、直近3年間で12か月以上ある者。但し、次の各号に掲げる要件に留意すること。 ①上記の臨時的任用教員経験期間は、公立小・中・高・特別支援学校での経験とする。なお、埼玉県内の市町村で単独に採用する常勤の教員経験期間も対象とする。 ②直近3年間とは、平成18年4月1日から平成21年3月31日の期間とする。 ③経験月数の数え方は、発令期間が1月の中に1日でも存在すれば、当該月は経験月とする。 ④経験期間は連続している必要はない。また、異校種の経験も合算することができる。(臨時的任用教員経験者特別選考)							
資格要件の確認方法	経験期間を証明する辞令の写し又は在職証明書							
選考方法・試験内容	経験者特別選考(小、中、養護教員)・・・1次試験免除 臨時的任用教員経験者特別選考(小、中、高、養護教員)・・・第1次試験のうち一般教養・教職科目のみ免除。他は一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	776	688	335				1799
	平成21年度採用者数(名)	219	163	50				432
	平成22年度受験者数(名)	810	769	383				1962

神奈川県

選考名称	①正規教員経験者 ②臨時的任用職員経験者	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種等・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下					
資格要件	①公立学校の正規教員として平成21年3月31日までに2年以上(休職、育児休業等の期間を除く)の勤務経験。②神奈川県内の公立学校において臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として平成14年4月1日から平成21年3月31日までの4年間に通算2年以上の勤務経験。いずれも受験する校種等・教科の同一の教職経験と教員普通免許の所有が必要。							
資格要件の確認方法	職歴を証明する書類の提出							
選考方法・試験内容	一次試験において筆記試験を免除し、論文を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	200	186	160		44		590
	平成20年度採用者数(名)	80	74	35		16		205
	平成21年度受験者数(名)	246	203	189	85	44		767
	平成21年度採用者数(名)	79	61	51	22	16		229
	平成22年度受験者数(名)	275	234	224	81	48		862

富山県

選考名称	特別選考 教職経験	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	採用予定数を明示する (具体的に) 「社会人経験」「教職経験」を合わせて10名程度	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか平成22年3月31日までに取得見込みであり、国立大学法人又は地方公共団体が設置する学校(幼稚園を除く)の主幹教諭、指導教諭、教諭又は養護教諭として、平成21年3月31日まで継続して3年以上の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く)があり、かつ出願時も引き続き任用中の者。							
資格要件の確認方法	第2次検査の結果通知後、任用候補者名簿に登録された者のみに在職・勤務証明書等を提出させる。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、個人面接、集団面接 2次検査…教養、専門教科筆答検査、適性検査、個人面接、 選択実技検査(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	7	7		1			15

※中高の人数を中の欄に記載。

石川県

選考名称	正規教員としての勤務経験を有する受験者を対象とした選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小、中高、養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	その他 (具体的に) 採用見込み数全体の1割以内	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 49 歳以下					
資格要件	一般選考の受験資格を全て満たし、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)として、平成21年3月31日現在、3年以上(休職、育児休業の期間を除く)の勤務経験があり、かつ、次の①②いずれかに該当する者 ①現に、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)である者 ②過去に、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)であった者で、本県国公立学校の講師(臨時的任用又は非常勤)として、平成20年4月1日から平成22年3月末日までに、11ヵ月以上の勤務経験を有する者(見込みを含む) (注)・3年以上ある正規教員勤務経験と同一の受験区分での受験に限る ・講師勤務経験は、該当月に、1日でも勤務日数がある場合は、1月と数える							
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書を提出し、採用候補者となった者は、受験資格に該当する職歴証明を提出							
選考方法・試験内容	受験区分: 小学校教諭等→一般選考の試験内容から、筆記試験及び実技試験を免除 受験区分: 中学校教諭等及び高等学校教諭等、養護教諭→一般選考の試験内容から、筆記試験における総合教養を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	34	高に含む	18				52

山梨県

選考名称	教職経験者を対象とした特別選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	すべての校種		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
					満	39	歳以下	
資格要件	①過去において山梨県又は他の都道府県の公立の小・中・高・特支の教諭もしくは養護教諭として3年以上正規教員として勤務した経験を有する者。②現に他の都道府県・指定都市の公立の小・中・高・特支の教諭もしくは養護教諭の職に有る者。③平成16年4月1日以降、山梨県の公立の小・中・高・特支の臨時的任用教職員として平成21年3月31日現在で通算3年以上の勤務経験(見込も含む)がある者。①～③のどれかに該当する場合。							
資格要件の確認方法	県内の場合は在職経歴書で確認。県外の場合は任命権者の教育委員会発行の履歴証明書で確認。							
選考方法・試験内容	第一次検査において、一般教職教養検査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	56	62	32	18	4	0	172
	平成20年度採用者数(名)	16	25	10	7	2	0	60
	平成21年度受験者数(名)	56	49	39	12	5	0	161
	平成21年度採用者数(名)	14	13	11	8	3	0	49
	平成22年度受験者数(名)	42	48	25	8	3	0	126

長野県

選考名称	教職(含常勤・非常勤講師)経験者を対象とした選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・高校		特別免許状の活用		無			
募集人員	その他		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	採用予定者の3～5割程度			満	59	歳以下	
資格要件	学校・幼稚園で、教諭・講師の経験が平成22年3月31日までで3年以上ある者(講師は常勤・非常勤を問わない)							
資格要件の確認方法	履歴書(小・中・特支)又は申込書の履歴欄(高)の記入による							
選考方法・試験内容	筆記試験(専門)、小論文、面接(集団・個人複数回実施)、教科により実技あり なお、筆記試験(一般教養)は免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	275	258	279	31	49		892
	平成20年度採用者数(名)	30	22	28	3	4		87
	平成21年度受験者数(名)	313	252	294	46	50		955
	平成21年度採用者数(名)	41	20	40	7	3		111
	平成22年度受験者数(名)	316	284	287	53	62		1002

静岡県

選考名称	教職経験者を対象とした選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	全校種・教科、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
					満	59	歳以下	
資格要件	現職2年以上、元職5年以上、講師は直近の3年で2年以上の経験を有する							
資格要件の確認方法	最終勤務校の所属長による勤務歴証明による							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に替える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	122	109	112	130	32		505
	平成20年度採用者数(名)	39	25	12	45	5		126
	平成21年度受験者数(名)	115	100	108	138	34		495
	平成21年度採用者数(名)	33	34	15	35	6		123
	平成22年度受験者数(名)	118	75	115	131	34		473

愛知県①

選考名称	現職教諭を対象とした特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下					
資格要件	「一般選考」の受験資格に加えて、国立大学法人が設置する学校又は公立学校の正規任用の教諭又は養護教諭の職にあり、平成21年4月1日現在において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。							
資格要件の確認方法	出願資格を確認できる、任用の期間及び現職にあることなどがわかる在職期間証明書、職歴証明書又は履歴書の写し等を提出する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認めた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	50	18	50	9	3		130
	平成20年度採用者数(名)	26	8	15	6	3		58
	平成21年度受験者数(名)	57	22	41	11	3		134
	平成21年度採用者数(名)	25	17	10	8	0		60
	平成22年度受験者数(名)	54	14	32	9	3		112

愛知県②

選考名称	元教諭・講師経験者を対象とした特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下					
資格要件	<p>「一般選考」の受験資格に加えて、次の(1)及び(2)の要件を満たすことが必要。</p> <p>(1) 次の(ア)又は(イ)において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。ただし、(ア)の勤務実績と(イ)の勤務実績は合算することができる。</p> <p>(ア) 元教諭に対する勤務実績は、平成21年3月31日までに、国立大学法人が設置する学校又は公立学校で正規任用の教諭又は養護教諭として勤務実績を有すること。</p> <p>(イ) 講師経験者に対する勤務実績は、平成14年4月1日から平成21年3月31日までの7年間に、愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)で講師(非常勤を除く。)又は養護教諭として勤務実績を有すること。</p> <p>(2) 平成21年4月1日以降に、愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の職員(正規任用の教諭及び養護教諭を除き、非常勤講師等を含む。)として勤務し、出願時に勤務する学校において所属長の推薦が得られた人。</p>							
資格要件の確認方法	「元教諭・講師経験者特別選考推薦書」に必要事項を記入し、所属長は推薦書を作成して提出する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認めた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	164	74	69	60	38	0	405
	平成20年度採用者数(名)	71	31	20	23	18	0	163
	平成21年度受験者数(名)	168	89	78	72	39	0	446
	平成21年度採用者数(名)	71	33	29	25	20	0	178
	平成22年度受験者数(名)	159	105	66	53	40	0	423

三重県

選考名称	講師等経験者を対象とした特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭及び養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	(1)学校教育法第9条及び地方公務員法第16条に定める欠格条項に該当しない人 (2)要項に定める教育職員免許状を有する人または平成22年3月31日までに取得見込の人 (3)昭和45年4月2日以降に生まれた人 (4)平成16年4月1日から平成21年3月31日までの5年間のうち、36日以上三重県教育委員会により下記のアまたはイの職種で任用されていた人 ア 小学校、中学校、高等学校または特別支援学校教諭申込者においては、講師(非常勤講師を除く) イ 養護教諭申込者においては、養護助教諭(非常勤を除く)							
資格要件の確認方法	受験資格の有無は、「教職歴申告書」を参考に三重県教育委員会が教職経験年数を確認する。							
選考方法・試験内容	(1)第1次選考試験の「筆答試験(教養)」を「人物証明書」による選考に代えて実施する。他の筆答試験(専門)、集団面接は一般選考と同様に受験する。 (2)第1次選考試験の合格者は、一般選考と同様、第2次選考試験のすべてを受験する。 (3)講師等経験者を対象とする特別選考の対象とならなかった人は、一般選考として受験する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							355
	平成20年度採用者数(名)							55
	平成21年度受験者数(名)							341
	平成21年度採用者数(名)							59
	平成22年度受験者数(名)							326

奈良県

選考名称	現職教員特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 44 歳以下					
資格要件	国及び他都道府県市立学校教諭、私立学校の正規の現職教員として3年以上勤務している者							
資格要件の確認方法	在職証明を提出							
選考方法・試験内容	一般選考に準ずる							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	9	10	7	3	3		32

岡山県

選考名称	特別選考E[教職経験者を対象とした特別選考]	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39※ 歳以下					
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)本県又は県外の公立学校の教諭又は養護教諭(いずれも正規教員)として、5年以上の勤務経験(受験する校種・職種と同一な勤務経験に限る。)がある者で、かつ次のいずれかの要件を満たす者。 ①現に県外の公立学校の教諭又は養護教諭(いずれも正規教員)の職にある者。 ②かつて本県又は県外の公立学校の教諭又は養護教諭(いずれも正規教員)として勤務し、すでに退職した者で、退職日から5年を経過していない者。							
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	9	1	5		1		16
	平成21年度採用者数(名)	6	0	1	0	1		8
平成22年度受験者数(名)	15	3	7		0		25	

※年齢制限について、高(工業)・高(看護)の区分は昭和40年4月2日以降に生まれた者(44歳以下)。

広島県

選考名称	現職教員を対象とした特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	一般選考と同じ	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	・一般選考の要件をすべて満たす者。 ・国公立学校における正規教員(広島県、広島市を除く)として、H21.3.31までに通算して3年以上の勤務経験を有する者							
資格要件の確認方法	採用予定者から履歴事項証明を提出させ確認する							
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	32	15	11	1			59
	平成21年度採用者数(名)	23	13	6	1			43
平成22年度受験者数(名)	30	7	9	4			50	

徳島県①

選考名称	現職教員を対象とした選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	すべての校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 49 歳以下					
資格要件	現に他の都道府県に所在する国公立の小・中・高等学校・中等教育学校又は特別支援学校に平成21年3月現在3年以上在籍する者							
資格要件の確認方法	履歴書、2次審査受審時に公立学校共済組合員証などの写しの提出							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除、特別選考面接審査あり、他は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	35	7	1	3			46
	平成21年度採用者数(名)	7	1		1			9
平成22年度受験者数(名)	28	6	2	2			38	

徳島県②

選考名称	本県での教職経験を有する者を対象とした選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	すべての校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 49 歳以下					
資格要件	過去において本県に所在する公立の小・中・高等学校又は特別支援学校の教諭又は養護教諭の職にあった者							
資格要件の確認方法	履歴書等							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除, 特別選考面接審査あり, 他は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)							0

香川県

選考名称	特別選考Ⅰ②、特別選考Ⅰ③	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 49 歳以下					
資格要件	特別選考Ⅰ②:過去において本県又は他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者。 特別選考Ⅰ③:現に他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にある者。							
資格要件の確認方法	特別選考Ⅰ②については、当該都道府県・指定都市の教育委員会の発行する履歴証明書を出願時に提出させる。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	31	12	7	4	1		55
	平成20年度採用者数(名)	7	0	1	0	0		8
	平成21年度受験者数(名)	43	22	13	2	1		81
	平成21年度採用者数(名)	10	3	0	0	1		14
	平成22年度受験者数(名)	38	13	16	5	5	2	79

さいたま市①

選考名称	経験者特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小・中・養教	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 50 歳以下					
資格要件	国公立の小学校・中学校・特別支援学校(小学部・中学部)において、本採用教員として3年以上の勤務経験を有する者。ただし、養護教諭については、国公立高等学校経験者も含む。							
資格要件の確認方法	本採用最終勤務校の保管する履歴書の写しの提出							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	16	8			5		29
	平成20年度採用者数(名)	2	1			1		4
	平成21年度受験者数(名)	12	7			4		23
	平成21年度採用者数(名)	6	1			1		8
	平成22年度受験者数(名)	17	7			3		27

さいたま市②

選考名称	臨任教員勤務実績特別選考	開始時期	従来から						
対象となる校種・教科	小・中・養教	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ						
			満	50	歳以下				
資格要件	次のいずれかに該当する者 ①さいたま市立の小学校・中学校・特別支援学校の臨時的任用教員として、平成19年4月1日から平成21年3月31日までの2年間に於いて、通算6ヶ月以上(通算170日以上)の勤務期間を有する者 ②さいたま市少人数指導サポートプラン臨時教員補助員として、平成19年4月1日から平成21年3月31日までの2年間に於いて、通算12ヶ月以上(通算340日以上)の勤務期間を有する者 ③さいたま市立の小学校・中学校・特別支援学校の臨時的任用教員及びさいたま市少人数指導サポートプラン臨時教員補助員の両方の勤務実績を有する場合で、臨時的任用教員の勤務期間と教員補助員の採用期間を2で除して得た期間を加えた期間が、平成19年4月1日から平成21年3月31日までの2年間に於いて、通算6ヶ月以上(通算170日以上)の勤務期間を有する者								
資格要件の確認方法	人事管理データにより確認								
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験(教科等専門分野、一般教養及び教職教養)に替えて、論文試験を実施								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度受験者数(名)	108	148			21		277	
	平成20年度採用者数(名)	38	22			1		61	
	平成21年度受験者数(名)	122	155			15		292	
	平成21年度採用者数(名)	46	26			3		75	
	平成22年度受験者数(名)	135	189			16		340	

川崎市①

選考名称	特別選考Ⅰ(正規教員経験者特別選考)	開始時期	従来から						
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる						
			満	59	歳以下				
資格要件	昭和25年4月2日以降に出生した人で、国公立学校において正規教員として、平成21年3月31日現在、2年以上勤務した経験を有し(休職・育児休業等の期間を除く)、必要とする職歴証明を提出できる人。地方公務員法第16条及び学校教育法第9条による欠格事項に該当しない人。免許の所持必要。								
資格要件の確認方法	任命権者の証明した職歴証明書による。								
選考方法・試験内容	1次試験 小論文・集団面接 2次試験 小論文・場面指導・個人面接 (ただし実技試験のある科目は実技試験も)								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成20年度受験者数(名)	27	24	4		2		57	
	平成20年度採用者数(名)	11	4			1		16	
	平成21年度受験者数(名)	33	29			6		68	
	平成21年度採用者数(名)	11	4			1		16	
	平成22年度受験者数(名)	47	14	4		4		69	

川崎市②

選考名称	特別選考Ⅱ(臨時的任用職員・非常勤講師経験者特別選考)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下					
資格要件	昭和25年4月2日以降に出生した人で、川崎市立学校において臨時的任用職員又は非常勤講師(週24時間以上)として、平成18年4月1日から平成21年3月31日までの間に通算11月以上勤務した経験を有する人。地方公務員法第16条及び学校教育法第9条による欠格事項に該当しない人。免許の所持必要。							
資格要件の確認方法	教職員課で管理している任用情報による。							
選考方法・試験内容	1次試験 小論文・集団面接 2次試験 小論文・場面指導・個人面接 (ただし実技試験のある科目は実技試験も)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	69	100	4		7		180
	平成20年度採用者数(名)	28	32	2		2		64
	平成21年度受験者数(名)	98	112			13		223
	平成21年度採用者数(名)	42	19	2		1		64
	平成22年度受験者数(名)	85	125	4		16		230

横浜市

選考名称	特別選考Ⅱ(教職経験者特別選考)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	受験資格を満たし、受験区分に該当する国及び地方公共団体が設置する学校における正規教員又は臨時的任用職員、私立学校における正規教員の教職歴が、平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に通算2年以上(休職等により勤務しなかった期間は含みません。)の人で、必要とする職歴証明書を期限までに提出できる人。 (イ) 中学校応募者は、中学校における教職歴が2年以上必要。(ロ) 小学校応募者は、小学校における教職歴が2年以上必要。ただし、高等学校における教職歴を中学校の教職歴とみなし通算できる。(ハ) 特別支援学校の応募者は、特別支援学校(盲学校、ろう学校、養護学校を含む)における教職歴が通算して2年以上必要。(ニ) 養護教諭応募者は、校種に関係なく養護教諭としての教職歴が2年以上必要。(ホ) 非常勤講師の勤務歴は、特別選考Ⅱの受験資格とならない。							
資格要件の確認方法	職歴証明書または在職証明書の提出							
選考方法・試験内容	一次試験の内容が、①指導案作成60分 ②論文試験60分 になる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	319	184	-	37	11	-	551
	平成20年度採用者数(名)	147	104	-	23	9	-	283
	平成21年度受験者数(名)	268	342	-	30	42	-	682
	平成21年度採用者数(名)	104	83	-	14	10	-	211
	平成22年度受験者数(名)	228	322	-	49	42	-	641

新潟市

選考名称	教職経験者特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	受検資格と満たしている人で、国・公・私立小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の正規教員として5年以上の勤務経験がある人。							
資格要件の確認方法	職歴証明書の提出による。							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査（Ⅰ・Ⅱ）を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	14	6			2		22
	平成20年度採用者数(名)	3	3			0		6
	平成21年度受験者数(名)	8	9			3		20
	平成21年度採用者数(名)	2	1			2		5
	平成22年度受験者数(名)	12	5			1		18

静岡市

選考名称	教職経験者を対象とした選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	幼稚園、小学校、中学校、養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	以下の①～③のいずれかを満たす者 ①現に国公立学校の教諭又は養護教諭として平成21年4月1日現在、在職している者 ②国公立学校で教諭又は養護教諭として通算3年以上の勤務経験のある者 ③静岡市内の国公立学校で、臨時的任用の講師として平成20年度に勤務実績を有し、かつ平成18年度から平成20年度に通算18月以上勤務した者							
資格要件の確認方法	所属長証明の申請書による。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験で、教職・一般教養の筆記試験に代えて、課題作文を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	18	6			2		26
	平成20年度採用者数(名)	5	2			1		8
	平成21年度受験者数(名)	35	26			6		67
	平成21年度採用者数(名)	9	10			1		20
	平成22年度受験者数(名)	41	28			6		75

堺市

選考名称	①現職教諭対象の選考 ②講師等経験者対象の選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校・特別支援小学部、中学校・特別支援中学部 小学校・幼稚園共通、養護教諭、栄養教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	<p>①平成20年3月31日までに都道府県(大阪府を除く。)又は指定都市(堺市、大阪市を除く。)が実施する教員採用選考に合格し、正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を附さない常勤講師※2(いずれも、任期付き採用や臨時的任用の場合を除く。以下「教諭等」という。)として、平成21年4月1日現在、同都道府県又は指定都市の公立学校に在職(休職中である場合を除く。)しており、平成22年3月31日までに同都道府県又は指定都市の公立学校で通算して2年以上※3の在職経験(休職中である期間を除く。)がある(見込みを含む。)こと。 ※2「任用の期限を附さない常勤講師」とは、日本国籍を有しない人が正規の教員として任用された場合をいい、同様の任用であれば職名は問いません。 ※3 平成22年3月31日までに2年の在職経験に達する見込みで受験し合格した人が、中途退職などにより2年の在職経験を満たさなかった場合は、合格を取り消します。</p> <p>②講師等経験者対象の選考 次の1、2のいずれかの勤務経験があること。 1、平成19年4月1日から平成21年5月31日までの間に国公私立学校※4において、講師又は養護助教諭(私立学校は教諭としての勤務経験を含む。)としての勤務経験(非常勤としての勤務経験は除く。)が1年以上ある人で、その勤務経験が平成21年5月31日までに過去の勤務経験と通算して3年以上(休職中である期間を除く。)あること。 2、平成19年4月1日から平成21年5月31日までの間に堺市立学校園において、講師、養護助教諭又は実習助手(期限付任用を含む。)としての勤務経験(非常勤としての勤務経験を含む。)が1年以上ある人で、その勤務経験が平成21年5月31日までに過去の勤務経験と通算して1年以上(休職中である期間を除く。)あること。 ※4 私立学校は、学校教育法第1条及び第2条に該当する学校をいう。</p>							
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。 選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出。							
選考方法・試験内容	①現職教諭対象の選考 面接(集団討論個人面接) ②講師等経験者対象の選考 小論文・専門教養(実技試験を含む)・面接(集団討論・個人面接)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	147	170	-	小中に含む	19	0	336

岡山市

選考名称	特別選考E[教職経験者を対象とした特別選考]	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	<p>次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)本県又は県外の公立学校の教諭又は養護教諭(いずれも正規教員)として、5年以上の勤務経験(受験する校種・職種と同一な勤務経験に限る。)がある者で、かつ次のいずれかの要件を満たす者。 ①現に県外の公立学校の教諭又は養護教諭(いずれも正規教員)の職にある者。 ②かつて本県又は県外の公立学校の教諭又は養護教諭(いずれも正規教員)として勤務し、すでに退職した者で、退職日から5年を経過していない者。</p>							
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)	15	3			0		18

広島市

選考名称	現職教員を対象とした特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	一般選考と同じ	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	・一般選考の要件をすべて満たす者。 ・国公立学校における正規教員(広島県、広島市を除く)として、H21.3.31までに通算して3年以上の勤務経験を有する者							
資格要件の確認方法	採用予定者から履歴事項証明の提出させ確認する							
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	32	15	11	1			59
	平成21年度採用者数(名)	23	13	6	1			43
	平成22年度受験者数(名)	30	7	9	4			50

北九州市

選考名称	教職経験者特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 45 歳以下					
資格要件	(1) 現に小学校、中学校又は特別支援学校(国公立を問わない。)の正規教員として勤務している者(ただし、受験する校種、職及び教科と同一の場合に限る。) (2) 過去10年間(受験日の属する年度の前年度の3月31日まで)で、小学校、中学校又は特別支援学校(国公立を問わない。)の正規教員として、通算3年間以上の勤務経験がある者(ただし、受験する校種、職及び教科と同一の場合に限る。) (3) 過去10年間(受験日の属する年度の前年度の3月31日まで)で、北九州市立学校の常勤講師、非常勤講師又は養護助教諭として、通算5年間以上の勤務経験がある者							
資格要件の確認方法	志願書及び教職経験者特別選考志願書提出時に同時に提出される在職証明書にて確認							
選考方法・試験内容	一般選考と同じだが、試験内容の一部(教職教養)が免除となっている							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	46	40	-	10	4	-	100

福岡市

選考名称	教職経験者特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種、全教科(高等学校を除く)	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 40 歳以下					
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、かつ平成11年4月1日～平成21年5月31日の間に国又は地方公共団体が設置する小学校、中学校又は特別支援学校において、正規教員として3年以上又は常勤講師として通算5年以上の勤務経験がある人。							
資格要件の確認方法	職歴証明書を提出させる(第2次試験の合格者のみ)							
選考方法・試験内容	選考は一般選考と別枠で行う。一般選考との併願が可能。 試験内容は、第1次試験で一般教養・論文を実施。第2次試験では一般選考と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	66	51		19	6		142
	平成21年度採用者数(名)	2	2		0	0		4
	平成22年度受験者数(名)	54	61		31	5		151

2(5) 国際貢献活動経験による特別選考

埼玉県

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高校、養護教員	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	50	歳以下			
資格要件	青年海外協力隊または日系社会青年ボランティアとして2年以上の国際貢献活動経験を有する							
資格要件の確認方法	経験期間を証明する書類							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち一般教養・教職科目のみ免除。他は一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	6	8	10				24
	平成21年度採用者数(名)	3	1	3				7
	平成22年度受験者数(名)	4	4	11				19

神奈川県

選考名称	社会人経験者 イ	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種等・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	59	歳以下			
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許を所有している人、又は、平成22年3月31日までに取得見込みの人で、青年海外協力隊等、海外での2年以上の国際貢献活動経験							
資格要件の確認方法	派遣活動を証明する書類の提出							
選考方法・試験内容	一次試験において一般教養・教職教養試験を免除し、論文を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	44	62	93				199
	平成20年度採用者数(名)	6	4	5				15
	平成21年度受験者数(名)	31	56	92	23	6		208
	平成21年度採用者数(名)	4	2	11	2			19
	平成22年度受験者数(名)	49	62	113	15	7		246

※実施状況については、民間企業等経験による特別選考(社会人経験者ア)の数も含まれる。

富山県

選考名称	特別選考 国際貢献	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか平成22年3月31日までに取得見込みであり、青年海外協力隊として、継続して2年以上の派遣実績を有する者。							
資格要件の確認方法	出願時に要件をみたすことを証明する書類の写しを提出させている。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、個人面接、集団面接 2次検査…教養、専門教科筆答検査、適性検査、個人面接、 選択実技検査(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		8		1			9
	平成20年度採用者数(名)		2		1			3
	平成21年度受験者数(名)	1	5					6
	平成21年度採用者数(名)		1					1
	平成22年度受験者数(名)	1	2			2		5

※中高の人数を中の欄に記載。

長野県

選考名称	民間企業等経験者を対象とした選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・高校		特別免許状の活用		無			
募集人員	その他		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	民間企業等経験者全体で採用予定者の1割程度			満	59	歳以下	
資格要件	青年海外協力隊などの国際貢献活動を平成22年3月31日までで2年以上経験している者							
資格要件の確認方法	履歴書(小・中・特支)又は申込書の履歴欄(高)の記入による							
選考方法・試験内容	筆記試験(専門)、小論文、面接(集団・個人―複数回実施)、教科により実技あり なお、筆記試験(一般教養)は免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	4	3	5	0	1		13
	平成20年度採用者数(名)	1	0	0	0	0		1
	平成21年度受験者数(名)	2	4	5	0	1		12
	平成21年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成22年度受験者数(名)	5	0	5	0	0		10

愛知県 (再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校と中学校の全教科 高等学校の数学・理科・工業 高等学校の看護 高等学校の福祉	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 44 歳以下					
資格要件	<p>ア 「小学校」及び「中学校」の受験区分 「一般選考」の受験資格に加えて、次の(ア)又は(イ)の要件を満たすことが必要。 (ア) 出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成21年4月1日現在において、常勤の職として通算して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 (イ) 青年海外協力隊として、平成16年4月1日から平成21年3月31日までの5年間に於いて、2年以上の派遣実績を有する人。</p> <p>イ 「高等学校」の受験区分 次の(ア)から(ウ)に示す教科について、それぞれの要件を満たすことが必要。 (ア) 「高等学校・数学」、「高等学校・理科」及び「高等学校・工業」 「一般選考」の受験資格に加えて、次の要件を満たすことが必要。ただし、免許状については下の※参照。 出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職(小・中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。)にあり、平成21年4月1日現在において、常勤の職として通算して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 (イ) 「高等学校・看護」(看護師・看護教員経験者) 「一般選考」の受験資格に加えて、次の要件をすべて満たすことが必要。ただし、免許状については下の※参照。 a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ看護師免許を所有する人。 b 次の①又は②の勤務実績を有する人。 ① 出願時に、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)又は、看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)において教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成21年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)として通算5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 ② 出願時に、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。)又は看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成21年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(保健師、助産師を含む。)として通算3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)、かつ、看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手を含む。)として通算5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。 (ウ) 「高等学校・福祉」(介護福祉士・福祉教員経験者) 「一般選考」の受験資格に加えて、次の要件をすべて満たすことが必要。ただし、免許状については下の※参照。 a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ介護福祉士の資格を有する人。 b 出願時に、社会福祉施設において常勤の介護福祉士又は介護福祉士養成機関(福祉科を設置する高等学校を含む。)の教員(福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成21年4月1日現在において、常勤の介護福祉士として通算5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人。</p> <p>※ 特別免許状について 高等学校の受験区分の社会人特別選考においては、出願時点で受験区分・教科に対応する普通免許状を所有しなくても受験できる、合格した後、その教科の特別免許状の申請をし、取得することが必要。</p>							
資格要件の確認方法	「社会人特別選考申告書」に証明書類を添付する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験は論文試験と口述試験を行う。第2次試験は、「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	45	67	18				130
	平成20年度採用者数(名)	10	7	3				20
	平成21年度受験者数(名)	39	71	20				130
	平成21年度採用者数(名)	6	12	0				18
	平成22年度受験者数(名)	28	47	24				99

大阪府 (再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人経験者対象の選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全ての校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 45 歳以下					
資格要件	法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験が平成11年4月1日から平成21年3月31日までに通算5年以上あること。勤務経験には、独立法人国際協力機構法に規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができる。ただし、「教育学習支援業」における勤務期間は含まない。							
資格要件の確認方法	出願時は、願書により確認。合格後は、在職証明書提出にて確認。							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ(1次:面接、択一式テスト、2次:面接、筆答テスト、実技テスト(対象教科のみ))							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	72	127	91	10	20	-	320
	平成20年度採用者数(名)							31
	平成21年度受験者数(名)	49	77	86	12	19	4	247
	平成21年度採用者数(名)							19
	平成22年度受験者数(名)	40	51	79	6	11	4	191

さいたま市

選考名称	青年海外協力隊等派遣特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小・中・養護	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 50 歳以下					
資格要件	青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアの国際貢献活動に従事したことがある者で、平成16年4月1日から平成21年3月31日までの5年間に於いて、通算2年以上の派遣経験を有する者							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構発行の派遣証明書の提出							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験(教科等専門分野、一般教養及び教職教養)に替えて、論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	1	1			0		2
	平成21年度採用者数(名)	1	0			0		1
	平成22年度受験者数(名)	0	0			0		0

川崎市

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員経験者特別選考)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下					
資格要件	昭和25年4月2日以降に出生した人で、独立行政法人国際協力機構法に基づく青年海外協力隊員として、平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に2年以上の派遣実績(派遣期間)を有し(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく派遣を含む)、派遣の証明を提出できる人。地方公務員法第16条及び学校教育法第9条による欠格事項に該当しない人。免許の所持必要。							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構からの証明による。							
選考方法・試験内容	1次試験 小論文・教科専門試験(筆記)・集団面接 2次試験 小論文・場面指導・個人面接 (ただし実技試験のある科目は実技試験も)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	10	22	3		1		36
	平成20年度採用者数(名)	3	4			1		8
	平成21年度受験者数(名)	26	43			7		76
	平成21年度採用者数(名)	7	3			1		11
	平成22年度受験者数(名)	36	39	10		7		92

※実施状況については、民間企業等経験による特別選考の数も含まれている。

横浜市

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員特別選考)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	受験資格を満たし、独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員として平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に2年以上の派遣期間のある人で、派遣の証明書を期限までに提出できる人(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく派遣を含む)							
資格要件の確認方法	派遣証明書の提出							
選考方法・試験内容	一次試験の内容が、①指導案作成60分 ②論文試験60分 になる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	65	57	-	8	2	-	132
	平成20年度採用者数(名)	15	17	-	3	1	-	36
	平成21年度受験者数(名)	7	19	-	2	1	-	29
	平成21年度採用者数(名)	6	7	-	2	1	-	16
	平成22年度受験者数(名)	13	23	-	1	1	-	38

※平成20年度の実施状況は、国際貢献活動及び民間企業等経験の合計数である。

京都市

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	募集を行う全区分(小, 中, 高, 総支, 養教)	特別免許状の活用	無					
募集人員	採用予定数を明示する (具体的に) 5名以内	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 47 歳以下					
資格要件	①一般選考の各校種の年齢制限に該当すること ②希望する校種・教科の普通免許状を有すること, 又は平成22年4月1日までに取得見込であること ③地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者 ④独立行政法人国際協力機構法に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして派遣実績を有する者							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局による派遣証明書を志願書提出時に提出							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般・教職教養試験に替えて、論文試験を実施。その他は一般選考と共通。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	7	20	6				33
	平成20年度採用者数(名)	2	2	0				4
	平成21年度受験者数(名)	2	10	7				19
	平成21年度採用者数(名)	0	1	1				2
	平成22年度受験者数(名)	3	6		2			11

大阪市 (再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人経験者等対象選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全て	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 45 歳以下					
資格要件	平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に、法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員または正規職員としての勤務経験が通算5年以上ある人。または、平成11年4月1日から平成21年3月31日までの間に、独立行政法人国際機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験が通算5年以上ある人。							
資格要件の確認方法	第2次選考後に、合格者のみ在职・勤務証明書で確認する。							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	13	32	10	2	5	0	62
	平成20年度採用者数(名)	4	5	1	0	0	0	10
	平成21年度受験者数(名)	17	24	5	12	6	0	64
	平成21年度採用者数(名)	6	0	0	3	1	0	10
	平成22年度受験者数(名)	25	19	5	13	8	1	71

堺市 (再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人経験者対象の選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校・特別支援小学部、中学校・特別支援中学部 小学校・幼稚園共通、養護教諭、栄養教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験※1が平成11年4月1日から平成21年3月31日までに通算して5年以上(休職期間等勤務実態がない期間は含まない。)あること。 なお、勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法(平成14年法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができます(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく活動経験を含む。)							
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。 選考試験合格後、在职・勤務証明書等を提出。							
選考方法・試験内容	小論文・専門教養(実技含む)・面接(集団討論・個人面接)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	32	42	-	小中に含む	3	5	82

福岡市

選考名称	社会人等特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種、全教科(高等学校を除く)	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 40 歳以下					
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、かつ平成11年4月1日～平成21年5月31日の間に独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員として、2年以上の派遣実績がある人							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構交付の派遣証明書を提出させる(志願書提出と同時に提出)							
選考方法・試験内容	選考は一般選考と別枠で行うが、選考区分は「(3)民間企業等経験による特別選考」と同一枠で募集。 試験内容は、第1次試験で一般教養・論文を実施。第2次試験では一般選考と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	3	8		0	0		11
	平成21年度採用者数(名)	0	1		0	0		1
	平成22年度受験者数(名)	2	10		1	0		13

2(6)いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別選考

埼玉県

選考名称	埼玉教員養成セミナー受講生を対象とした特別選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ 満 50 歳以下			
資格要件	埼玉県教員養成セミナー受講生							
資格要件の確認方法	出願時、提出書類により確認							
選考方法・試験内容	面接試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	60						60
	平成20年度採用者数(名)	60						60
	平成21年度受験者数(名)	60						60
	平成21年度採用者数(名)	60						60
	平成22年度受験者数(名)	60						60

東京都

選考名称	東京教師養成塾生を対象とした特別選考		開始時期		従来から			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する (具体的に)	150名程度	年齢制限		基本的年齢制限と異なる 満 ※ 歳未満			
資格要件	申込日現在、東京教師養成塾に在籍し、平成22年3月31日までに確実に修了できる見込みの者。養成塾の資格については、小学校教諭一種免許状課程認定大学(大学院を含む。)で東京都教育委員会が連携する大学に在籍し、東京教師養成塾の講座等に参加でき、平成22年3月に卒業又は修了見込みで、推薦基準に基づき学長が推薦する者。							
資格要件の確認方法	東京教師養成塾に確認。							
選考方法・試験内容	一般選考とは別の日程で、個人面接のみ実施する。 東京教師養成塾の作成した「講座の履修状況報告書」を徴し、総合的に判定する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	97						97
	平成20年度採用者数(名)	94						94
	平成21年度受験者数(名)	142						142
	平成21年度採用者数(名)	138						138
	平成22年度受験者数(名)	148						148

※年齢制限については、特段定めていない。

京都府

選考名称	京都府「教師力養成講座」修了者に係る大学推薦特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 49 歳以下					
資格要件	次に掲げる事項のすべてに該当する者 ①平成21年度実施の京都府「教師力養成講座」を良好な成績で修了した者 ②平成22年3月において、大学を卒業見込み若しくは修了見込みの者 ③小学校教諭の普通免許状を現に有する者又は平成22年3月31日までに確実に取得できる見込みの者 ④昭和35年4月2日以降に生まれた者 ⑤京都府公立小学校(京都市立学校を除く。)の教員を志望する者 ⑥京都府内どこにでも勤務できる者 ⑦地方公務員法第16条各号(欠格条項)、学校教育法第9条各号(欠格事由)及び教育職員免許法第5条(授与)第1項ただし書きの各号に該当しない者							
資格要件の確認方法	大学からの推薦書類及び志願書類により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験 … 全部免除 第2次試験 … 個人面接、教育実践力テスト(一般選考に同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	32	/	/	/	/	/	32
	平成21年度採用者数(名)	29	/	/	/	/	/	29
	平成22年度受験者数(名)	56	/	/	/	/	/	56

横浜市

選考名称	特別選考Ⅳ(よこはま教師塾特別選考)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	横浜市教育委員会が設置及び運営等を行う「よこはま教師塾」の第3期生							
資格要件の確認方法	塾生番号の確認							
選考方法・試験内容	①よこはま教師塾における学習状況 ②論文試験 ③個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	105	-	-	-	-	-	105
	平成20年度採用者数(名)	91	-	-	-	-	-	91
	平成21年度受験者数(名)	103	-	-	-	-	-	103
	平成21年度採用者数(名)	99	-	-	-	-	-	99
	平成22年度受験者数(名)	101	-	-	-	-	-	101

2(7)その他の資格や経歴等による特別選考

岩手県 (再掲:社会人特別選考)

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校:数学、物理、工業(機械、電気)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	44	歳以下			
資格要件	民間企業等の従事者で、同一企業等で3年以上の勤務経験がある者、又は博士の学位を有する者で、数学・物理・工業(機械・電気)に関する高度な専門的知識や技能を有する者。							
資格要件の確認方法	高度の専門的知識又は技能を修得したことを証明できるものを提出。例えば、勤務先の所属長等による推薦書、取得している資格、論文等。							
選考方法・試験内容	書類審査の結果選考された者について、面接試験(口頭試問を含む。)及び適性検査を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		0	0				0
	平成20年度採用者数(名)		0	0				0
	平成21年度受験者数(名)		1	17				18
	平成21年度採用者数(名)		0	2				2
	平成22年度受験者数(名)			5				5

秋田県

選考名称	社会人特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校教諭等	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	49	歳以下			
資格要件	理学、農学、工学における博士の学位を有する者で、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者							
資格要件の確認方法	志願書、博士号の学位を証明するもの							
選考方法・試験内容	第一次選考は書類選考、第二次選考は個別面接と論文。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			57				57
	平成20年度採用者数(名)			5				5
	平成21年度受験者数(名)			12				12
	平成21年度採用者数(名)			1				1
	平成22年度受験者数(名)			12				12

埼玉県①

選考名称	情報処理に係る有資格者特別選考(高校)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	50	歳以下			
資格要件	商業、情報を希望する者のうち、情報処理技術者試験((独)情報処理推進機構)第1種情報処理技術者試験合格者または、ソフトウェア開発技術者試験合格者。16年度選考以降、この特別選考を志願した者を除く。							
資格要件の確認方法	資格証明書類の写し							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			1				1
	平成20年度採用者数(名)			1				1
	平成21年度受験者数(名)			1				1
	平成21年度採用者数(名)			0				0
	平成22年度受験者数(名)			2				2

埼玉県②

選考名称	家庭(科)に係る有資格者特別選考(高校)	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	50	歳以下			
資格要件	家庭(科)を希望する者のうち、調理師免許取得者							
資格要件の確認方法	資格証明書類の写し							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			-				0
	平成20年度採用者数(名)			-				0
	平成21年度受験者数(名)			17				17
	平成21年度採用者数(名)			3				3
	平成22年度受験者数(名)			12				12

埼玉県③

選考名称	特別支援教育に関する特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	50	歳以下			
資格要件	特別支援学校教諭1(専)種免許状及び小学校、中学校、または高等学校教諭1(専)種普通免許状を所有している者、または平成22年3月31日までに取得見込みの者。なお、特別支援学校教諭1(専)種免許状は、「視覚障害」「聴覚障害」「知的障害かつ肢体不自由」のいずれかとする。							
資格要件の確認方法	免許状の写し、または取得見込証明書							
選考方法・試験内容	第1次試験の専門教科試験を免除する							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)				94			94
	平成20年度採用者数(名)				30			30
	平成21年度受験者数(名)				157			157
	平成21年度採用者数(名)				43			43
	平成22年度受験者数(名)				169			169

埼玉県④

選考名称	教職大学院推薦特別選考試験	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小・中・高校・養教	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	50	歳以下			
資格要件	平成22年3月31日までに教職大学院を修了又は終了見込みで、教職大学院の推薦を受けた者。							
資格要件の確認方法	教職大学院が作成した推薦書及び教職大学院修了(見込)証明書							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除する							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	0	2	2		0		4

千葉県

選考名称	養護教諭特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	59	歳以下			
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・教育職員免許法に規定する養護教諭普通免許状を有する者又は平成22年3月31日までに取得見込みの者 ・昭和25年4月2日以降に生まれた者(60歳未満) ・看護師免許を有しており、平成21年4月1日現在で、正規採用の看護師として3年以上の実務経験を有する方(現在、看護師として勤務していなくても可。) 							
資格要件の確認方法	職歴証明で確認する。							
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養、専門教科を免除し、小論文のみを課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)					31		31
	平成20年度採用者数(名)					4		4
	平成21年度受験者数(名)					22		22
	平成21年度採用者数(名)					1		1
	平成22年度受験者数(名)					27		27

※採用者は千葉県のみである(千葉市は採用なし)。

東京都

選考名称	調理師養成施設校における調理実習担当教員採用候補者特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校共通 家庭	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	59	歳以下			
資格要件	<p>家庭の中学校と高等学校の両方の教諭普通免許状を取得済み(又は平成22年4月1日までに取得見込み)の者で、なおかつ調理師免許を取得済みの者のうち、以下のいずれかの要件を満たす者</p> <p>①調理師であり、10年以上の調理の業務又は調理理論について教育、研究又は実施指導の経験を有する者</p> <p>②調理師であり、5年以上の調理の業務又は調理理論について教育、研究又は実施指導の経験を有する者で、厚生労働省の講習を受講し、修了した者。</p> <p>③専門調理師の資格を有する者。</p>							
資格要件の確認方法	在職証明書等により確認							
選考方法・試験内容	一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)							1

富山県 (再掲:英語の資格による特別選考)

選考名称	特別選考 特定資格	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	受験種目・受験教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか平成22年3月31日までに取得見込みであり、以下の受験種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者。 全ての種目・・・臨床心理士、中高英語・・・TOEIC860点以上・TOEFL PBT600点以上 CBT250点以上・実用英語技能検定1級、理科(全科目)工業(薬業系)・・・薬剤師、中高情報・・・ソフトウェア開発技術者試験合格者等(他は実施要項参照)、中高工業(建築系)・・・1級建築士、特別支援教諭・・・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士							
資格要件の確認方法	出願時に要件をみたすことを証明する書類の写しを提出させている。							
選考方法・試験内容	1次検査・・・小論文、個人面接、集団面接 2次検査・・・教養、専門教科筆答検査、適性検査、個人面接、 選択実技検査(小学校、特別支援(小)の受験者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		17		1			18
	平成20年度採用者数(名)		6		1			7
	平成21年度受験者数(名)	1	13		1			15
	平成21年度採用者数(名)	1	2					3
	平成22年度受験者数(名)	1	10					11

福井県

選考名称	大学院修士課程修了時特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	すべての校種、教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、次の①および②のいずれにも該当する者。 ①平成21年度教員採用選考試験において、平成22年度大学院修士課程修了時特別選考受験を認められた者。②平成22年3月31日までに、選択して受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	平成21年度教員採用選考試験関係公文書および大学院修士課程の成績証明書							
選考方法・試験内容	・個人面接 ・適性検査 ・レポート ・大学院修士課程の履修状況(成績証明書)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)							2

長野県

選考名称	発達障害児童生徒特別支援のための選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校・中学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	LD(学習障害)・ADHD(注意欠陥多動性障害)・高機能自閉症等発達障害に関する専門の知識を有し、NPOや学校などで当該児童生徒に関わった経験が平成22年3月31日までに3年以上ある者							
資格要件の確認方法	所属長の推薦書の内容による							
選考方法・試験内容	①「一般選考」または②「社会人を対象とした選考」のどちらかの区分で選考。 ①筆記試験(一般教養・専門)、小論文、面接(集団・個人)、教科により実技あり ②筆記試験(専門)、小論文、面接(集団・個人一複数回実施)、教科により実技あり							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	13	7					20
	平成20年度採用者数(名)	1	1					2
	平成21年度受験者数(名)	5	4					9
	平成21年度採用者数(名)	1	1					2
	平成22年度受験者数(名)	4	6					10

静岡県①

選考名称	ポルトガル語・スペイン語が堪能な者を対象とした選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校教員、中学校教員	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	日常生活や学校で必要なポルトガル語またはスペイン語を理解し、口頭で表現できる。							
資格要件の確認方法	ポルトガル語・スペイン語を母国語とする試験委員と口頭面接を実施し、その語学力・表現力を確認する。							
選考方法・試験内容	ポルトガル語・スペイン語を母国語とする試験委員と口頭面接を実施する他は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	3	6					9

静岡県②

選考名称	博士号を取得した者を対象とした選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	高等学校教員・理科	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 59 歳以下					
資格要件	○大学院の課程に学んだ経験があり、平成21年4月1日現在において、「理学博士」の学位を取得済みである者 ○観察、実験等を通じて科学的な考え方を養い、「理科好きの生徒」を育て、日本若しくは世界の科学の発展に寄与する人材を育てる意欲がある者							
資格要件の確認方法	博士号取得に関する証明書							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に替える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)			5				5

愛知県

選考名称	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)堪能者選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校の受験区分	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 44 歳以下					
資格要件	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)が堪能(児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを図り、文化や生活習慣の違いを説明できる語学力を有すること)である人。							
資格要件の確認方法	願書の外国語堪能者への出願の欄に外国語名を記入する。							
選考方法・試験内容	第1次試験の口述試験に加えて、当該外国語による面接を行い、面接結果を成績に加味。それ以外については「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	21	30		0	0	0	51
	平成20年度採用者数(名)	11	10		0	0	0	21
	平成21年度受験者数(名)	9	19		0	0	0	28
	平成21年度採用者数(名)	5	5		0	0	0	10
	平成22年度受験者数(名)	11	33		4	0	0	48

京都府

選考名称	大学推薦特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校、中学校数学、中学校理科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 49 歳以下					
資格要件	次に掲げる事項のすべてに該当する者 (1)平成22年3月において、上記免許状取得のための対象となる大学等を卒業見込み若しくは修了見込みの者 (2)小学校教諭一種(専修)免許状又は中学校(数学)教諭一種(専修)免許状若しくは中学校(理科)教諭一種(専修)免許状を現に有する者又は平成22年3月31日までに確実に取得できる見込みの者 (3)昭和35年4月2日以降に生まれた者 (4)京都府公立学校(京都市立学校を除く。)教員(小学校、中学校(数学)または中学校(理科))となることを強く志望し、京都府が求める教員像にふさわしい資質と能力を備えた者 (5)公立学校教員としての適性を有し、健康かつ学業成績が優秀な者 (6)京都府内どこにでも勤務できる者 (7)地方公務員法第16条各号(欠格条項)、学校教育法第9条各号(欠格事由)及び教育職員免許法第5条(授与)第1項ただし書きの各号に該当しない者							
資格要件の確認方法	大学からの推薦書類及び志願書類により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験 … 全部免除 第2次試験 … 個人面接、教育実践力テスト(一般選考に同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成21年度受験者数(名)	64	42					106
	平成21年度採用者数(名)	43	11					54
	平成22年度受験者数(名)	86	44					130

大阪府

選考名称	特別支援教育を推進するための選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	「中学校・中学部」、「高校、高等部」、「特別支援学校(幼稚部・小学部共通、小学部)」、「養護教諭」、「栄養教諭」、「自立活動教諭(肢体不自由教育)」、府立視覚支援学校教諭(理療、理学療法)」	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める (具体的に)	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 45 歳以下					
資格要件	出願に必要な免許状に加えて、特別支援学校教諭の普通免許状を所有すること。							
資格要件の確認方法	合格後、免許状で確認							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ(1次:面接、択一式テスト、2次:面接、筆答テスト、実技テスト(対象教科のみ))							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	-	-	-	-	-	-	0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	0	50	10	74	0	0	134
	平成21年度採用者数(名)							26
平成22年度受験者数(名)	0	29	19	78	0	0	126	

岡山県

選考名称	特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 39 歳以下					
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)次の要件をすべて満たす者。 ①平成21年度(平成20年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]で受験した者を除く。 ②平成21年度、常勤講師等として岡山県の公立学校で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書、所属長の推薦書及び平成21年度(平成20年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格が得られた証明(写し)を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	107	77	40		17		241
	平成21年度採用者数(名)	47	28	19	13	10		117
	平成22年度受験者数(名)	63	44	25		10		142

※年齢制限について、高(工業)・高(看護)の区分は昭和40年4月2日以降に生まれた者(44歳以下)。

香川県

選考名称	特別選考I④	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 49 歳以下					
資格要件	現に本県県立学校において10年以上実習助手の職(臨時又は非常勤の者を除く。)にある者。							
資格要件の確認方法	願書に記入された職歴内容で確認する。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			3	0			3
	平成20年度採用者数(名)			0	0			0
	平成21年度受験者数(名)			3	0			3
	平成21年度採用者数(名)			2	0			2
	平成22年度受験者数(名)			1	0			1

福岡県

選考名称	平成22年度福岡県立学校工業教員採用候補者特別選考試験	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	高校工業(電気・電子)	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と異なる 満 59 歳以下					
資格要件	県立学校において、工業の実習に従事している実習助手のうち、所属長の推薦する者であつて、工業(工業実習を除く。)の高等学校普通免許状を有する者(平成22年3月31日までに取得見込みの者を含む。)							
資格要件の確認方法	履歴書等で確認							
選考方法・試験内容	一般選考と相違なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)			4				4
	平成20年度採用者数(名)			2				2
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)			0				0

※年齢制限については、満41歳以上満59歳以下。実施状況については、平成21年度は実施なし。

鹿児島県

選考名称	特別支援学校特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	特別支援学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 40 歳以下					
資格要件	特別支援学校教員免許状(盲・聾・養護学校の各教員免許状も可)を有する者(平成22年3月31日までに取得見込みの者も可)							
資格要件の確認方法	2次試験当日に免許状の写しを提出							
選考方法・試験内容	特別支援の小学部、中学部、高等部は、特別支援学校特別選考に申請のあった者の中から選考する。ただし、採用数に満たない場合は、小・中・高等学校の各受験校種に受験した者から選考する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)		38	25				63
	平成20年度採用者数(名)		2	3				5
	平成21年度受験者数(名)		44	14				58
	平成21年度採用者数(名)		2					2
	平成22年度受験者数(名)	48	34	24				106

さいたま市①

選考名称	小学校音楽専科特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ 満 50 歳以下					
資格要件	小学校で主に音楽の授業を行う教員を希望する者で、小学校普通教員免許状及び中学校音楽の普通教員免許状を所有している者又は平成22年3月31日までに取得見込みの者							
資格要件の確認方法	教員免許状の写し又は教員免許取得見込証明書の提出							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験(教科等専門分野、一般教養及び教職教養)に替えて、論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)	39						39
	平成21年度採用者数(名)	4						4
	平成22年度受験者数(名)	37						37

さいたま市②

選考名称	特別支援教育特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小・中	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	50	歳以下			
資格要件	主にさいたま市立小学校・中学校の特別支援学級又は特別支援学校において、特別支援教育担当教員を希望し、小学校普通教員免許状及び特別支援学校普通教員免許状(領域を問わない。)又は中学校普通教員免許状及び特別支援学校普通教員免許状(領域を問わない。)を所有している者又は平成22年3月31日までに取得見込の者							
資格要件の確認方法	教員免許状の写し又は教員免許取得見込証明書の提出							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験(教科等専門分野、一般教養及び教職教養)に替えて、論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	16	12					28

千葉市

選考名称	養護教諭特別選考	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	59	歳以下			
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・教育職員免許法に規定する養護教諭普通免許状を有する者又は平成22年3月31日までに取得見込みの者 ・昭和25年4月2日以降に生まれた者(60歳未満) ・看護師免許を有しており、平成21年4月1日現在で、正規採用の看護師として3年以上の実務経験を有する方(現在、看護師として勤務していなくても可。) 							
資格要件の確認方法	職歴証明で確認する。							
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養、専門教科を免除し、小論文のみを課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)					31		31
	平成20年度採用者数(名)					4		4
	平成21年度受験者数(名)					22		22
	平成22年度受験者数(名)					27		27

※採用者数は千葉県のみである(千葉市は採用なし)。

川崎市

選考名称	大学推薦	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	小学校・数学・理科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
			満	24	歳以下			
資格要件	<p>受験区分の1種免許状を平成22年3月31日までに取得見込みの人。 川崎市教育委員会が求める教師像にふさわしい資質と力量を備え、教員志望の動機が明確であり、市立学校において優れた実践力の発揮が期待できる人。 心身ともに健康で学業成績の優秀な人。 地方公務員法第16条(欠格条項)、学校教育法第9条(欠格事由)及び教育職員免許法第5条(授与)第1項ただし書きの各号に該当しない人。</p>							
資格要件の確認方法	大学から提出される書類による。							
選考方法・試験内容	1次試験 小論文 2次試験 小論文・場面指導・個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)	25						25
	平成20年度採用者数(名)	25						25
	平成21年度受験者数(名)	28	3					31
	平成22年度受験者数(名)	60	12					72

横浜市

選考名称	特別選考Ⅴ(大学推薦特別選考)	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	<p>受験資格を満たし、小学校教諭一種(専修)普通免許状取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受け、横浜市公立学校小学校教員を第一希望とし、学校教育法第1条及び第2条第2項に定める学校において、教育ボランティア活動を通し、子どもの教育指導に直接関わった実績が、以下の要件を満たし、小学校教員として優れた実践力を発揮することが期待できる者。ただし、教職大学院の在籍者は除く。</p> <p>ア 平成18年4月～平成21年3月の間に、子どもの教育指導に直接関わった実績が通算40時間以上あり、当該学校長の証明書が提出できる者</p> <p>イ 子どもの教育指導に直接関わった実績が、児童への教育効果の面で優れていると認められる者</p>							
資格要件の確認方法	学長の推薦書							
選考方法・試験内容	書類選考。合格者は、一次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	56						56

浜松市

選考名称	パイリンガル選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校教員・中学校教員	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	日常生活や学校で必要なポルトガル語又はスペイン語を理解し、口頭で表現できる者							
資格要件の確認方法	ポルトガル語・スペイン語を母国語とする試験委員と面接を実施し、その語学力・表現力等を確認する。							
選考方法・試験内容	ポルトガル語・スペイン語を母国語とする試験委員と面接を実施する他は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	2	2					4

堺市

選考名称	大学院進(在)学者対象の選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校・特別支援小学部、中学校・特別支援中学部 幼稚園・小学校共通	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	59	歳以下			
資格要件	<p>次の①～③のすべてを満たし、平成22年度堺市立学校教員採用選考試験の受験資格を満たしていること。</p> <p>① 平成20年度又は平成21年度大阪府・堺市公立学校教員採用選考テスト(以下、それぞれ「H20テスト」、「H21テスト」という。)に合格後、大学院進学又は大学院在学中を理由として堺市教育委員会又は大阪府教育委員会に申請書を提出し、採用を辞退していること。</p> <p>② 平成21年度中に大学院修士課程を修了すること。※5</p> <p>③ 平成22年4月1日までに、「H20テスト」又は「H21テスト」で合格した校種等(教科)の専修免許状が取得できること。※6</p> <p>※5、6 平成21年4月1日から平成22年3月31日までの間に大学院を修了できなかった場合又は平成22年4月1日までに自願に必要な専修免許状を取得できなかった場合は、合格を取り消します。</p>							
資格要件の確認方法	<p>平成22年度堺市立学校採用選考試験に合格後以下の書類を提出</p> <p>①平成20年度または平成21年度の教員採用選考テストの合格通知書</p> <p>②大学院卒業証明書</p> <p>③校種等(教科)の専修免許状の写し又は取得見込証明書</p>							
選考方法・試験内容	面接試験(集団討論・個人面接)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	3	1	-	0	0	0	4

岡山市

選考名称	特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]	開始時期	従来から					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	39	歳以下			
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)次の要件をすべて満たす者。 ①平成21年度(平成20年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]で受験した者を除く。 ②平成21年度、常勤講師等として岡山県の公立学校で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書、所属長の推薦書及び平成21年度(平成20年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格が得られた証明(写し)を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成20年度受験者数(名)							0
	平成20年度採用者数(名)							0
	平成21年度受験者数(名)							0
	平成21年度採用者数(名)							0
	平成22年度受験者数(名)	63	44			10		117

福岡市

選考名称	教職大学院修了者特別選考	開始時期	本年度新規					
対象となる校種・教科	全校種、全教科(高等学校を除く)	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
			満	40	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、かつ学校教育法の規定に基づく教職大学院を平成22年3月31日までに終了見込みの人。							
資格要件の確認方法	教職大学院修了証明書を提出させる(第2次試験の合格者のみ)							
選考方法・試験内容	選考は一般選考と別枠で行う。一般選考との併願が可能。 試験内容は、第1次試験で一般教養・論文を実施。第2次試験では一般選考と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成22年度受験者数(名)	1	1		0	0		2

3 特別免許状を活用した選考

	特別選考 の種類	特別免許状を活用した選考						
			特別選考				一般選考	
			英語の資格	スポーツ・芸 術での技能 や実績	社会人特別 選考	その他		
1	北海道	○	○			○		
2	青森県	○	○	○		○		
3	岩手県	○	○		○	○	○	
4	宮城県							
5	秋田県	○	○	○	○	○	○	
6	山形県	○	○			○		
7	福島県							
8	茨城県	—	—			—		
9	栃木県	○	○			○		
10	群馬県	○	○			○		
11	埼玉県	○	○			○		
12	千葉県							
13	東京都							
14	神奈川県							
15	新潟県							
16	富山県	—	—				—	
17	石川県	○	○			○		
18	福井県							
19	山梨県							
20	長野県							
21	岐阜県							
22	静岡県	○	○				○	
23	愛知県	○	○			○	○	
24	三重県	○	○			○		
25	滋賀県							
26	京都府	○	○		○	—		
27	大阪府							
28	兵庫県	○	○			○		
29	奈良県	○	○			○		
30	和歌山県	○	○		○			—
31	鳥取県							
32	島根県	○						○
33	岡山県	○	○			○		
34	広島県							
35	山口県	○	○			○		
36	徳島県	○	○			○		
37	香川県	○	○			○		
38	愛媛県							
39	高知県	○	○			○		○
40	福岡県							
41	佐賀県							
42	長崎県	○	○			○		
43	熊本県							
44	大分県	○	○			○		
45	宮崎県							
46	鹿児島県							
47	沖縄県	○						○

		特別免許状を活用した選考					
特別選考 の種類	特別選考					一般選考	
	英語の資格	スポーツ・芸 術での技能 や実績	社会人特別 選考	その他			
48 札幌市	○	○			○		
49 仙台市							
50 さいたま市							
51 千葉市							
52 川崎市							
53 横浜市							
54 新潟市							
55 静岡市							
56 浜松市							
57 名古屋市							
58 京都市	○						○
59 大阪市							
60 堺市							
61 神戸市							
62 岡山市							
63 広島市							
64 北九州市							
65 福岡市							
	27 (25)	24 (23)	2 (2)	4 (4)	21 (21)	4 (2)	4 (3)

(注) 1 下線は前年度から変更のあった県市を表す。

2 ()内は前年度の数値。

3 特別免許状を活用した選考

(1) 特別免許状を活用した特別選考

※ 実施縣市一覧は、前々ページを参照。
資格要件等の詳細は「Ⅲ. 試験免除・特別選考等 2特別選考」を参照。

(2) 特別免許状を活用した一般選考

県市名	対象とする校種・教科	資格要件	選考方法・試験内容
島根県	高等学校(農業(食品)・工業(電気)、商業、水産(機関))	高等学校教諭の普通免許状を有しない者で、志望する教科に関する社会的実務経験を有する者。特別免許状を授与し、教諭で採用。 水産(機関)については、高等学校教諭の普通免許状「工業」所有者で、「水産(機関)」に関する社会的実務経験を有する者。	一般の受験者と同様。
高知県	高等学校「工業」(電気・電子)(機械)(建築)高等学校「水産」(機関)高等学校「看護」	高等学校「工業」:平成22年3月31日現在で出願する教科科目と関する職務経験が通算10年以上ある人。 高等学校「水産」:平成22年3月31日現在で出願する教科科目と関する職務経験が通算10年以上ある人。(ただし、3級海技士(機関)の免許を有し、出願する教科科目と関する職務経験が通算7年以上ある人。 高等学校「看護」:平成22年3月31日現在で、看護師又は保健師のいずれかの免許を有し、病院等における職務経験が通算5年以上ある人。	第1次審査筆記審査のうち、教職・一般教養を免除。 上記以外の審査については、一般選考と同様に実施。
沖縄県	中学理科 中学技術 高校水産	○ 昭和44年4月2日以降に出生した者 ○ 志願する校種・教科に関しての高度な専門的知識及び技能を有し、その分野で顕著な実績があり、現時点において民間企業、官公庁等に正規職員として継続して5年以上勤務経験を有し、教員の職務を行うのに必要な素養と熱意がある者 ※勤務経験年数は、平成21年3月31日までに5年以上(休職、育児休業期間等を除く)有していること。	○ 「社会人[民間企業等経験]を対象とした選考申請書(様式5-1)」、「社会人[民間企業等経験]を対象とした選考課題作文(様式5-2)」 ○ 顕著な実績等を証明するもの(研究論文、賞状、新聞記事、資格証明書の写しなど) ○ 選考された者は一次試験を免除し、二次試験は一般選考試験受験者と同様に受験する。
京都市	中学校・数学, 中学校・理科, 高等学校・数学	一般選考・特別選考に関わらず、その区分の要件を満たし、短期大学士の学位又は準学士の称号以上の資格を有する者は、普通免許状を有しなくても(取得見込みがなくても)受験を認める。 (補足事項) ○合格後は、特別免許状が授与されれば教諭として正式採用する。 ○特別免許状が授与されない場合には、臨時免許状の所得を条件として、臨時的任用の常勤講師として任用し、平成27年4月1日までに教育職員免許条を取得すれば、教諭として正式採用する。	一般選考と同様